

関市
高齢者の生活と介護に関する調査

調査結果報告書

令和8年5月

- 目 次 -

I. 調査概要	1
調査の目的	1
調査対象及び調査方法	1
回収結果	1
報告書の見方	1
II. 調査結果	2
1 対象者の属性	2
1-1 調査票の記入者	2
1-2 性別	2
1-3 年齢	3
1-4 日常生活圏域	3
1-5 要介護状態区分	3
2 対象者の家族や生活状況について	4
2-1 家族構成	4
2-2 主観的な介護・介助の必要度	5
2-3 介護・介助が必要になった原因	6
2-4 現在の介護・介助者	7
2-5 主観的な経済状態	8
2-6 住宅の形態	8
3 からだを動かすことについて	9
3-1 運動器機能について	9
3-2 軽い運動・スポーツの実施状況	9
3-3 転倒について	10
3-4 外出について	11
4 食べることについて	14
4-1 BMI判定	14
4-2 口腔機能について	14
4-3 歯の健康管理について	15
4-4 急な体重減少の有無	16
4-5 共食の機会の有無	17
5 毎日の生活について	18
5-1 認知機能について	18
5-2 手段的日常生活動作（IADL）について	19
5-3 知的能動性や社会的役割等について	20
5-4 趣味・生きがいについて	22
5-5 市の情報の入手先	23
6 地域での活動について	24
6-1 社会参加活動への参加頻度	24
6-2 地域づくりへの参加意向	25
7 就労について	26

7-1	現在の就労状態	26
7-2	引退した時期	26
8	たすけあいについて	27
8-1	たすけあえる人の有無	27
8-2	地域でのたすけあいの状況	29
8-3	地域の相談相手	31
8-4	地域包括支援センターの認知度	31
8-5	友人関係について	32
8-6	たすけあいについての考え方	34
9	健康について	35
9-1	主観的健康感	35
9-2	主観的幸福感	36
9-3	うつ傾向について	37
9-4	飲酒の習慣の状況	38
9-5	喫煙の習慣の状況	38
9-6	現在治療中の病気等	39
10	認知症にかかる相談窓口の把握について	40
10-1	家族を含めた認知症の有無	40
10-2	認知症の人の地域での生活に対する考え方	40
10-4	認知症施策の認知度	42
10-5	「新しい認知症観」の実現の可否	45
11	これからの生活などについて	46
11-1	自身に介護が必要となった場合に期待する介護	46
11-2	人生の最期の迎え方について	47
11-3	もしもの場合の備えについて	50
12	防災・減災について	53
12-1	災害発生時の自主避難の可否	53
12-2	避難行動要支援者名簿登録制度の認知度	53
13	関市の高齢者施策などについて	55
13-1	関市の高齢者施策の満足度	55
13-2	関市の高齢者施策で特に望むこと	56
13-3	関市の高齢者福祉施策等についての意見・要望	57
14	コグニチェックリストの判定結果	75
14-1	コグニチェックリストの判定結果	75
15	老研式活動能力指標の判定結果	77
15-1	手段的日常生活動作（IADL）の自立度	77
15-2	知的能動性	78
15-3	社会的役割	79

I. 調査概要

調査の目的

この調査は、65 歳以上の市民の日常生活の様子や健康状態、介護や認知症についての考え方等を把握し、「第 10 期せき高齢者プラン 21」策定のための基礎資料を得る目的で実施しました。

調査対象及び調査方法

対象者	実施時期	調査方法
65 歳以上で要介護認定を受けていない市民から無作為抽出した 3,000 人	令和 8 年 1 月 27 日～2 月 13 日	郵送配布、 郵送回収・Web 回収

回収結果

配布数	回収数	無効※	有効回収数	有効回収率
3,000	2,023 (214)	4 (1)	2,019 (213)	67.3% (7.1%)

※（ ）内は Web 回収

※白紙回答、紙調査と Web 調査の重複回答等を無効としました。

報告書の見方

- ・ グラフ・表中の「n」「件数」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100.0％にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が 100.0％を超える場合があります。
- ・ 本文中で、回答率等の割合（％）については「高い」「低い」、件数等の実数については「多い」「少ない」の表現を使用しています。
- ・ グラフ・表として示したもののうち、回答数が 0 の場合は表示を省略している場合があります。また、選択肢の文言を簡略化してある場合があります。

II. 調査結果

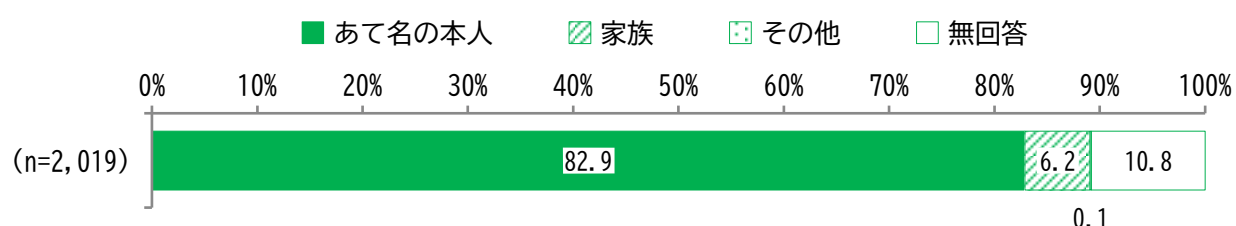
1 対象者の属性

1-1 調査票の記入者……………

調査票を記入されたのはどなたですか。(○は1つ)

➤ 「あて名の本人」が82.9%、「家族」が6.2%となっています。

図表 1-1 調査票の記入者

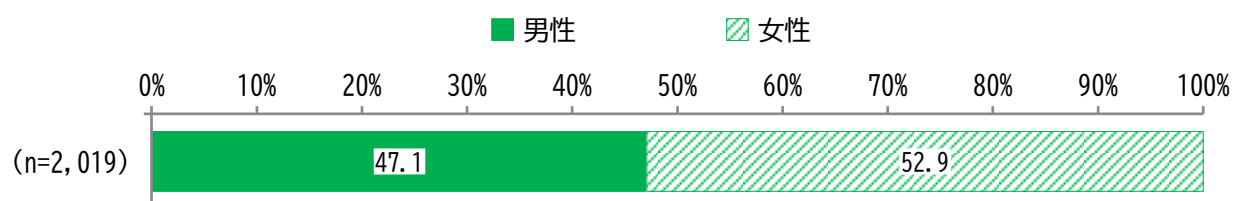


1-2 性別……………

対象者の性別（認定データより）

➤ 「女性」が52.9%、「男性」が47.1%となっています。

図表 1-2 性別

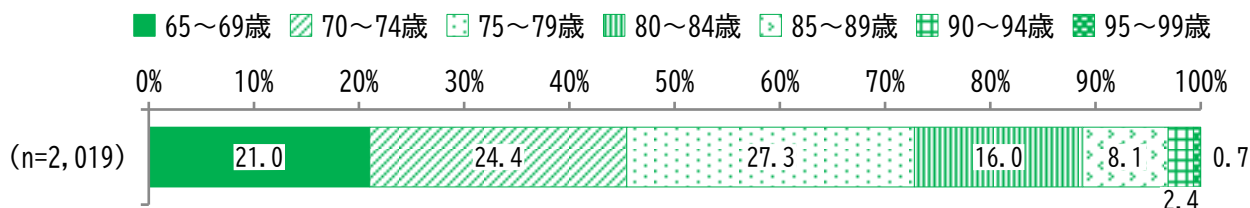


1-3 年齢

対象者の年齢（認定データより）

- 「75～79 歳」が 27.3%で最も高く、次いで「70～74 歳」が 24.4%、「65～69 歳」が 21.0%となっています。年齢 2 区分では、『75 歳以上』が 54.6%、『65～74 歳』が 45.4%となっています。

図表 1-3 年齢

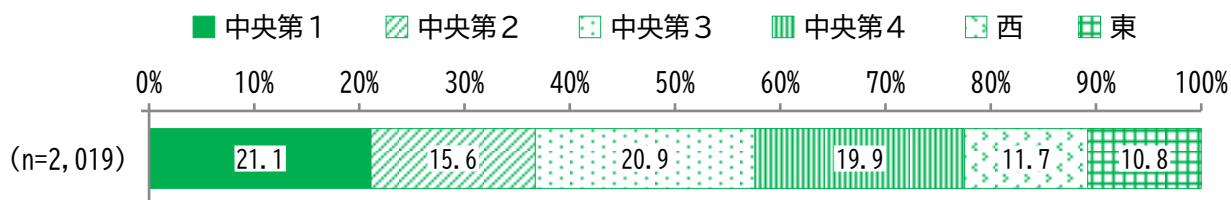


1-4 日常生活圏域

対象者の居住地の日常生活圏域（認定データより）

- 「中央第 1」が 21.1%で最も高く、「東」が 10.8%で最も低くなっています。

図表 1-4 日常生活圏域

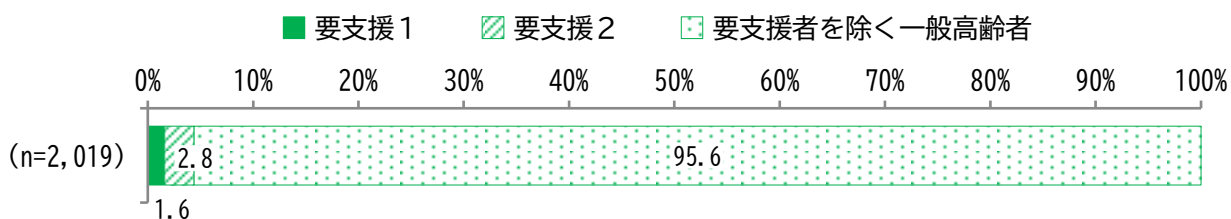


1-5 要介護状態区分

対象者の要介護状態区分（認定データより）

- 「要支援 1」は 1.6%、「要支援 2」は 2.8%となっています。

図表 1-5 要介護状態区分



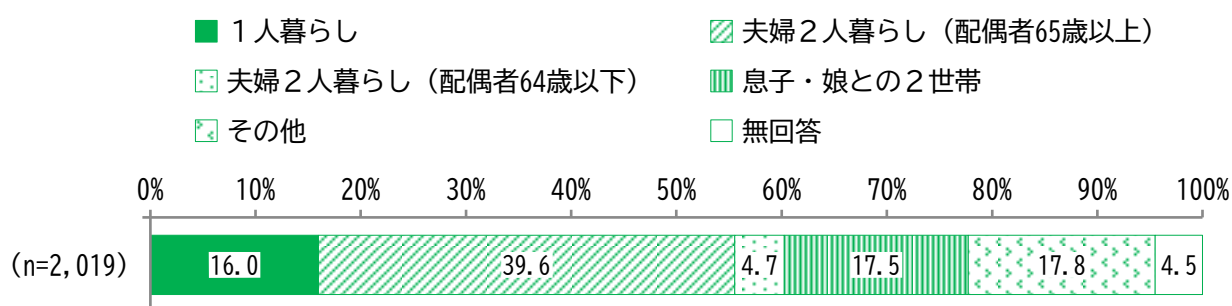
2 対象者の家族や生活状況について

2-1 家族構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問1 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

- 「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が39.6%で最も高く、「1人暮らし」は16.0%となっています。
- 年齢別でみると、85歳以上では「1人暮らし」が26.3%で最も高くなっています。

図表 2-1-1 家族構成



図表 2-1-2 家族構成【年齢別】

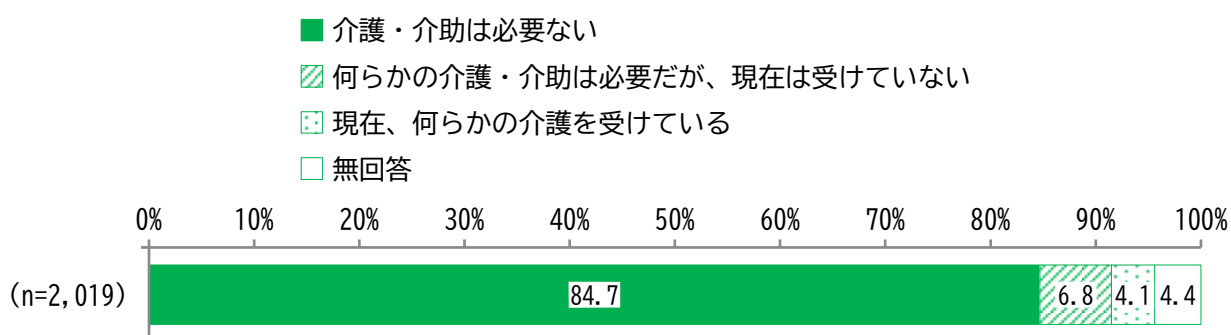
	件数	1人暮らし	夫婦625人暮らし以上（配偶者64歳以下）	夫婦624人暮らし以下（配偶者65歳以上）	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全 体	2,019	16.0	39.6	4.7	17.5	17.8	4.5
65～69歳	424	13.4	33.5	12.3	13.0	24.1	3.8
70～74歳	493	10.5	48.9	3.9	17.2	17.2	2.2
75～79歳	551	16.9	43.6	2.4	16.9	15.6	4.7
80～84歳	323	19.2	37.2	1.9	20.7	14.9	6.2
85歳以上	228	26.3	24.6	1.8	23.2	16.7	7.5

2-2 主観的な介護・介助の必要度……………

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- 「介護・介助は必要ない」が84.7%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.8%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.1%で、『介護が必要である』（「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」の計）は10.9%となっています。
- 年齢別でみると、年齢が高いほど『介護が必要である』は高く、80～84歳では16.4%、85歳以上では33.8%となっています。

図表 2-2-1 主観的な介護・介助の必要度



図表 2-2-2 主観的な介護・介助の必要度【年齢別】

	件数	ない 介護・ 介助は 必要	在助何 ははら 受必か け要の てだ介 いが護 な、・ い現介	護現 を在、 受何 けて いか るの 介	無 回 答
全 体	2,019	84.7	6.8	4.1	4.4
65～69歳	424	94.3	1.4	1.7	2.6
70～74歳	493	92.1	3.2	2.0	2.6
75～79歳	551	85.3	5.6	3.6	5.4
80～84歳	323	78.0	13.0	3.4	5.6
85歳以上	228	58.8	18.9	14.9	7.5

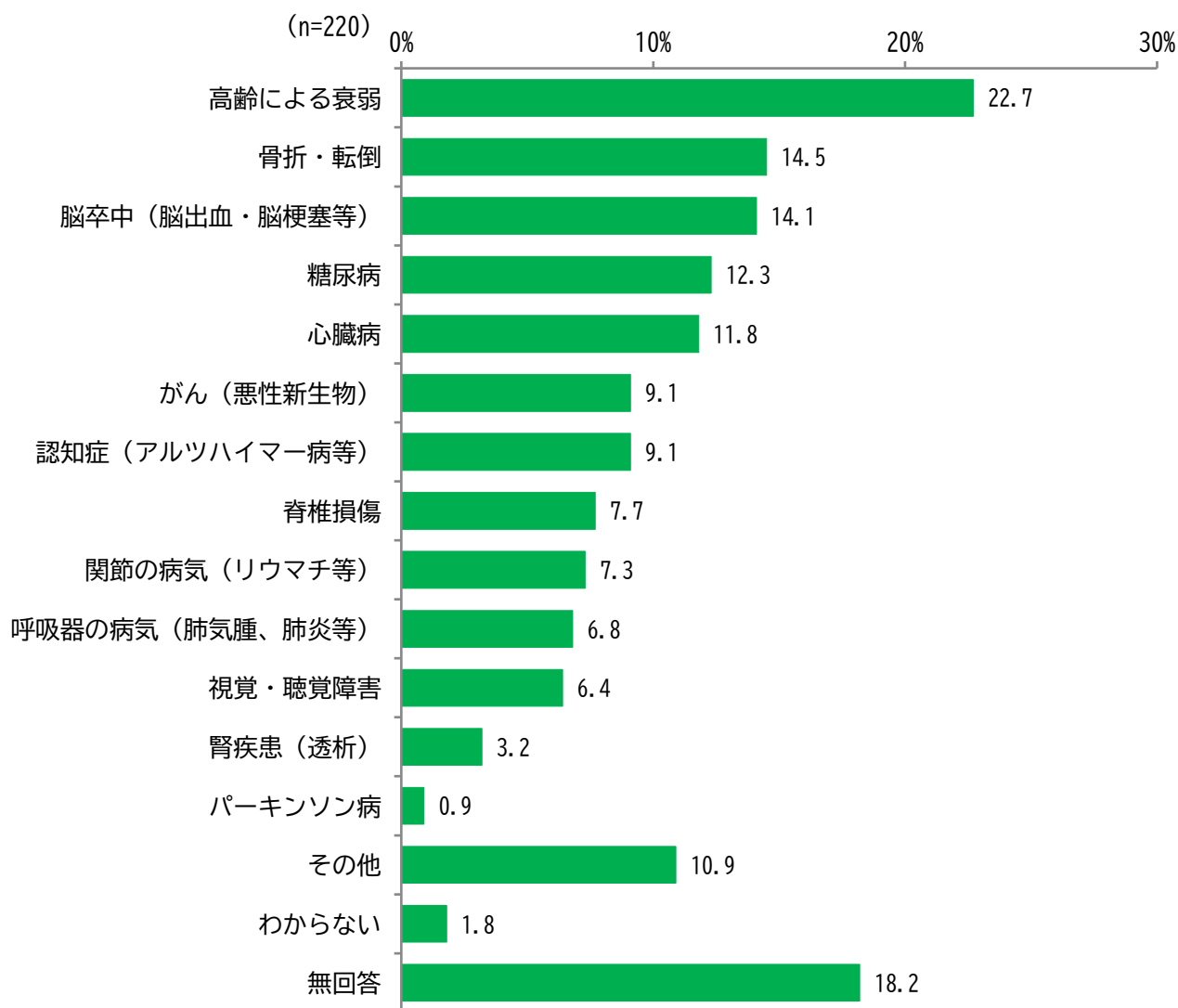
2-3 介護・介助が必要になった原因・・・・・・・・・・・・・・・・

【問2で「介護・介助は必要ない」以外を選択した方（介護が必要な方、介護を受けている方）のみ】

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（○はいくつでも）

- 「高齢による衰弱」が22.7%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が14.5%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が14.1%となっています。

図表 2-3 介護・介助が必要になった原因



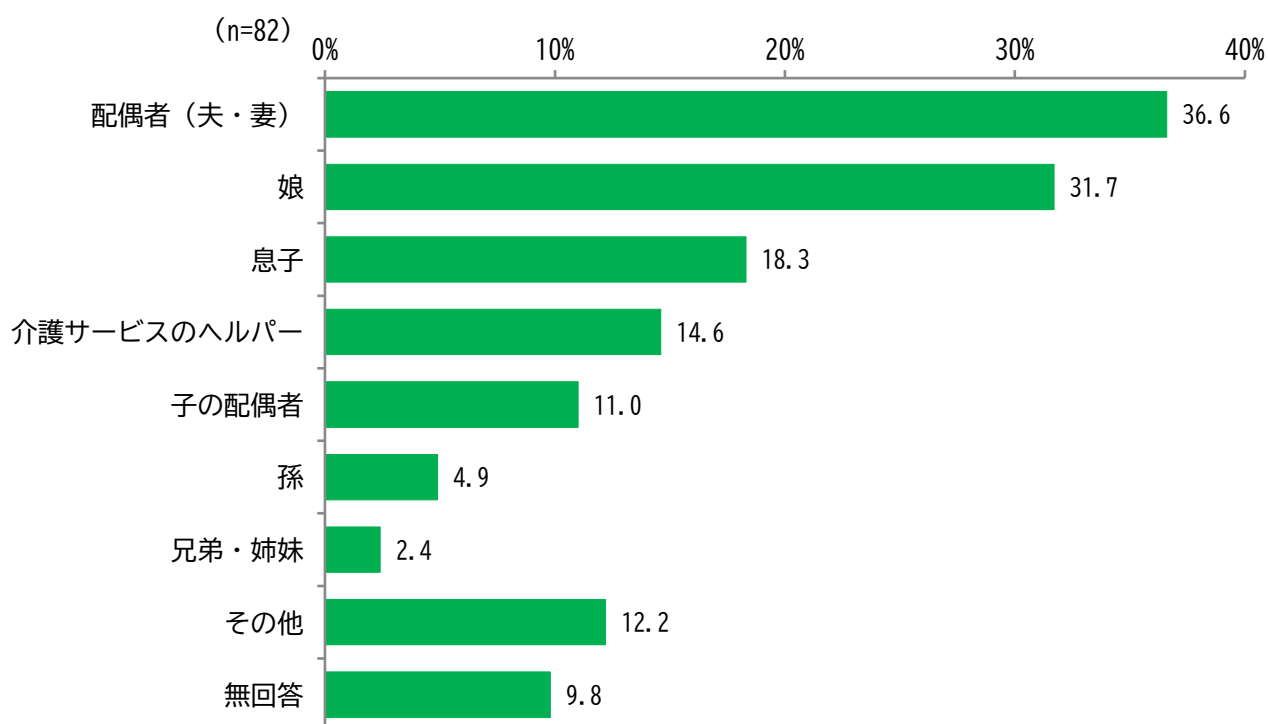
2-4 現在の介護・介助者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【問2で「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方（介護・介助を受けている方）のみ】

問2-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。（○はいくつでも）

- 「配偶者（夫・妻）」が36.6%で最も高く、次いで「娘」が31.7%、「息子」が18.3%、「介護サービスのヘルパー」が14.6%となっています。

図表 2-4 現在の介護・介助者

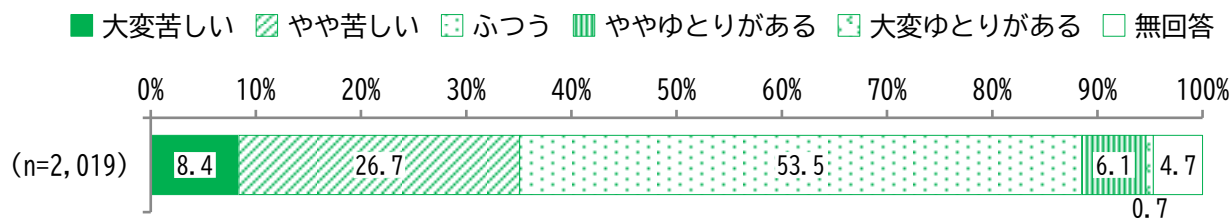


2-5 主観的な経済状態……………

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- 「ふつう」が53.5%で最も高く、次いで「やや苦しい」が26.7%、「大変苦しい」が8.4%となっています。
- 3区分でみると、『苦しい』（「大変苦しい」「やや苦しい」の計）が35.1%、『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」の計）が6.8%となっています。

図表 2-5 主観的な経済状態

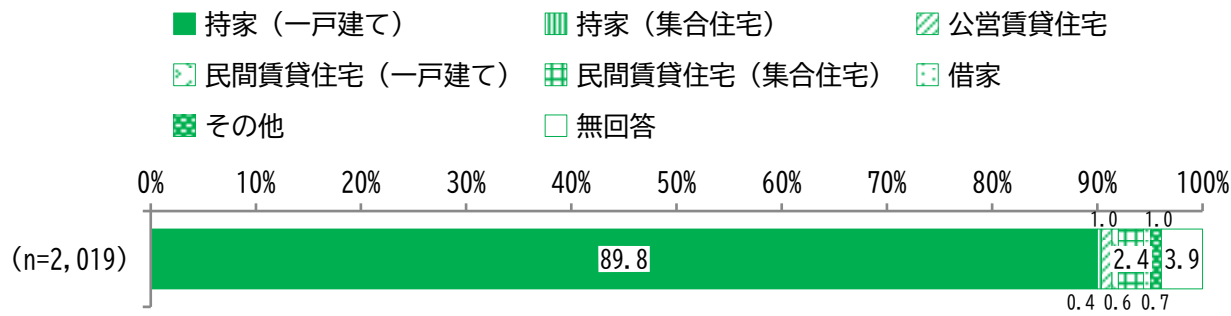


2-6 住宅の形態……………

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

- 「持家（一戸建て）」が89.8%で最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が2.4%となっています。

図表 2-6 住宅の形態



3 からだを動かすことについて

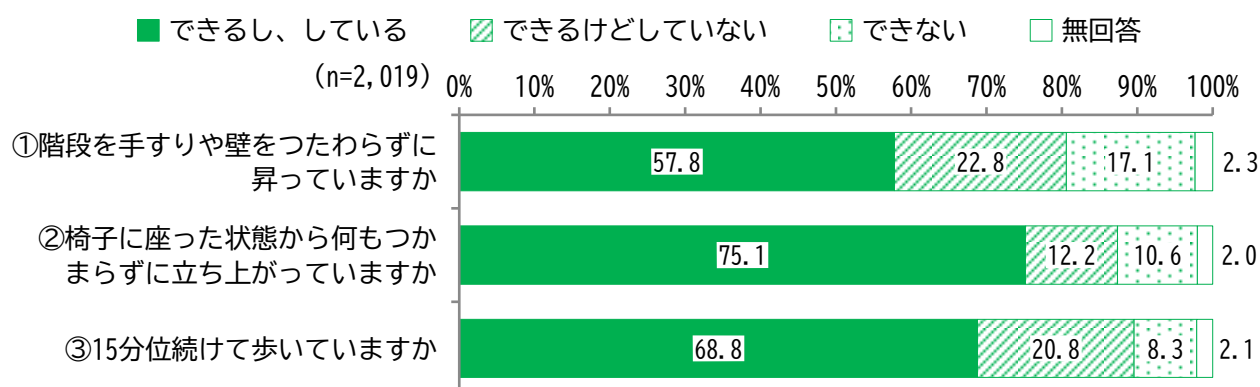
3-1 運動器機能について……………

問5 からだを動かすことについておたずねします。(①～④それぞれについて○は1つずつ)

- ①階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。
- ②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。
- ③15分位続けて歩いていますか。

➤ 「できない」は、「①階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」で17.1%、「②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」で10.6%、「③15分位続けて歩いていますか」で8.3%となっています。

図表 3-1 運動器機能について

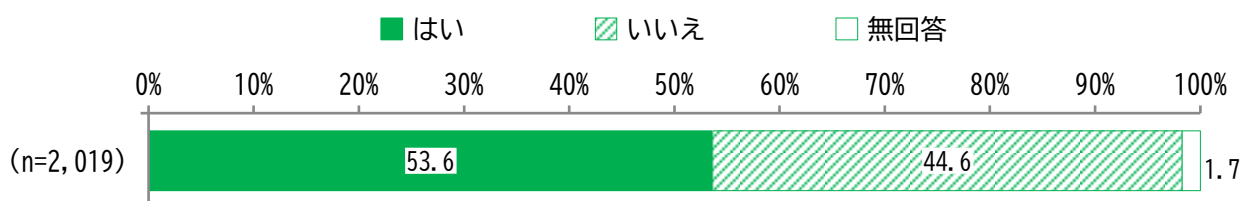


3-2 軽い運動・スポーツの実施状況……………

④軽い運動・体操や定期的な運動・スポーツをしていますか。

➤ 「はい」(している)が53.6%、「いいえ」(していない)が44.6%となっています。

図表 3-2 軽い運動・スポーツの実施状況



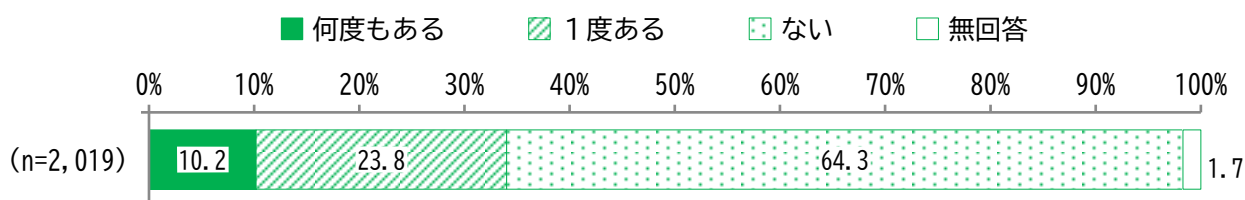
3-3 転倒について……………

問6 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

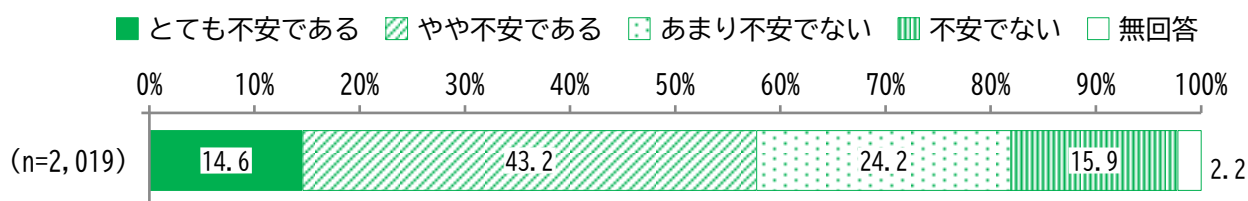
問7 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

- 過去1年間に転んだ経験の有無は、「何度もある」が10.2%、「1度ある」が23.8%となっています。
- 転倒に対する不安は、「やや不安である」が43.2%で最も高く、『不安である』（「とても不安である」「やや不安である」の計）が57.8%、『不安でない』（「不安でない」「あまり不安でない」の計）が40.1%となっています。

図表 3-3-1 過去1年間に転んだ経験の有無



図表 3-3-2 転倒に対する不安



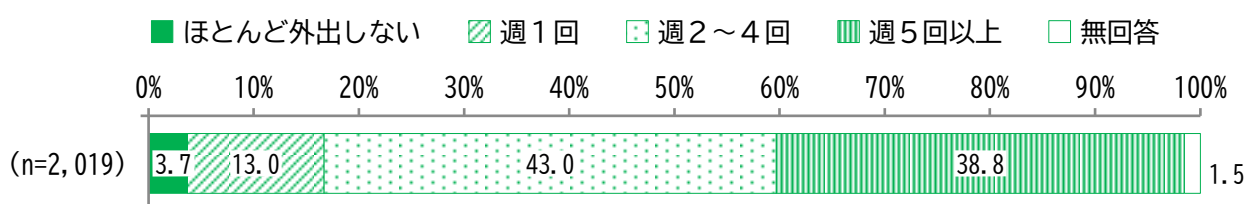
3-4 外出について……………

問8 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

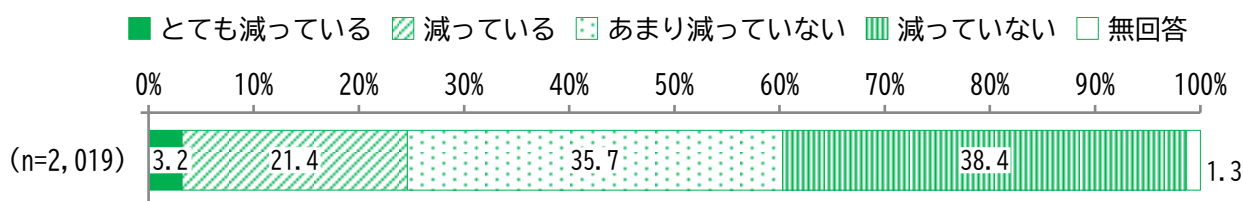
問9 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

- 外出の頻度は、「週2～4回」が43.0%で最も高く、「ほとんど外出しない」は3.7%となっています。
- 昨年と比べて外出の回数は、「減っていない」が38.4%で最も高く、『減っている』(「とても減っている」「減っている」の計)が24.6%、『減っていない』(「減っていない」「あまり減っていない」の計)が74.1%となっています。

図表 3-4-1 外出の頻度



図表 3-4-2 昨年と比べて外出の回数



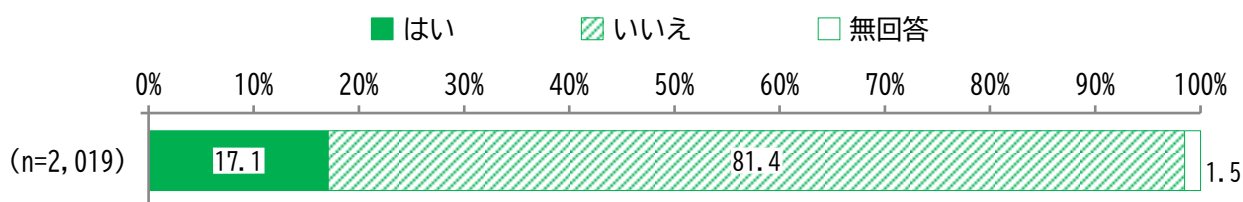
問10 外出を控えていますか。(○は1つ)

【問10で「はい」を選択した方(外出を控えている方)のみ】

問10-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

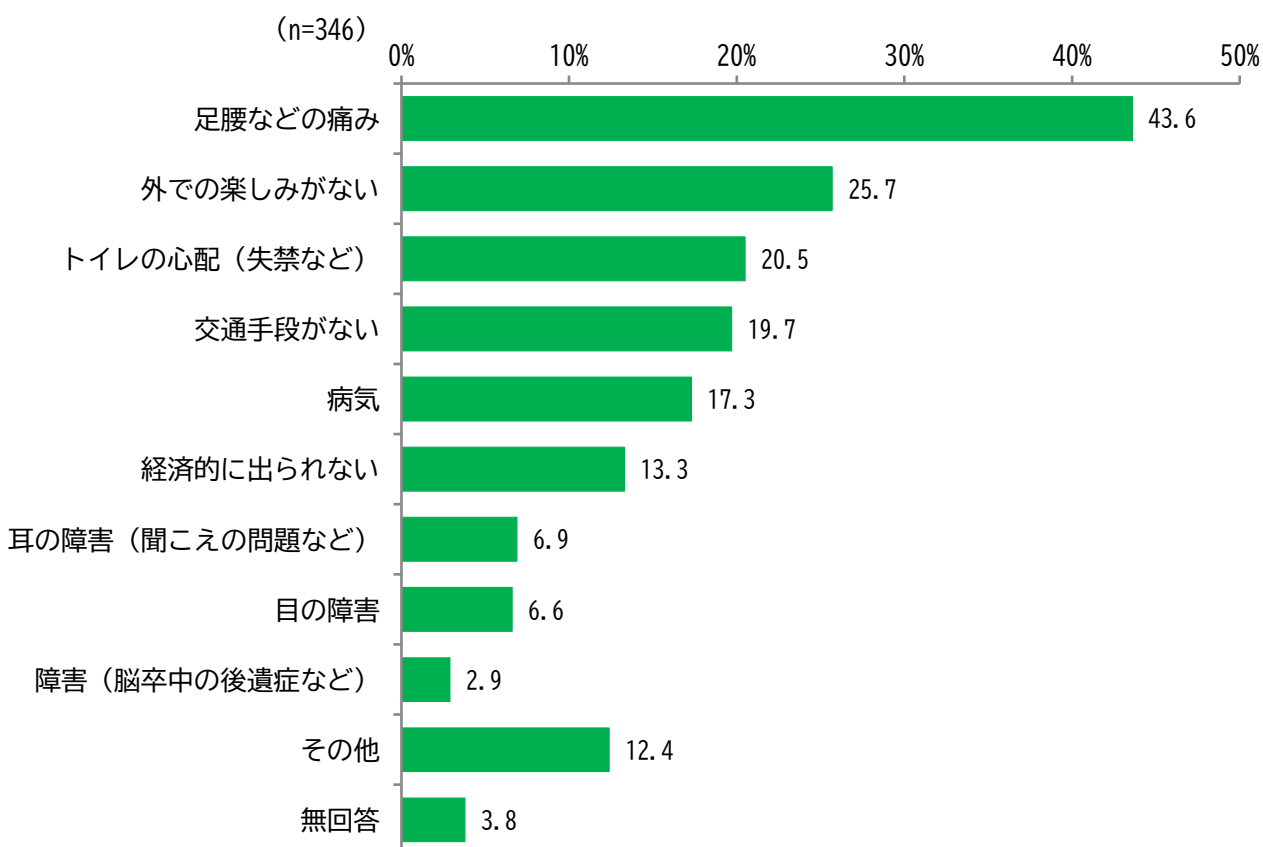
- 外出を控えているかどうかは、「はい」が17.1%となっています。

図表 3-4-3 外出を控えているか



- 外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が43.6%で最も高く、次いで「外での楽しみがない」が25.7%、「トイレの心配（失禁など）」が20.5%、「交通手段がない」が19.7%となっています。
- 外出を控えている理由を前回調査（第9期、令和5年実施）と比べると、各項目の回答率は上昇していますが、「足腰などの痛み」が最も高いなど、回答率の順位に大きな変化はみられませんでした。

図表 3-4-4 外出を控えている理由



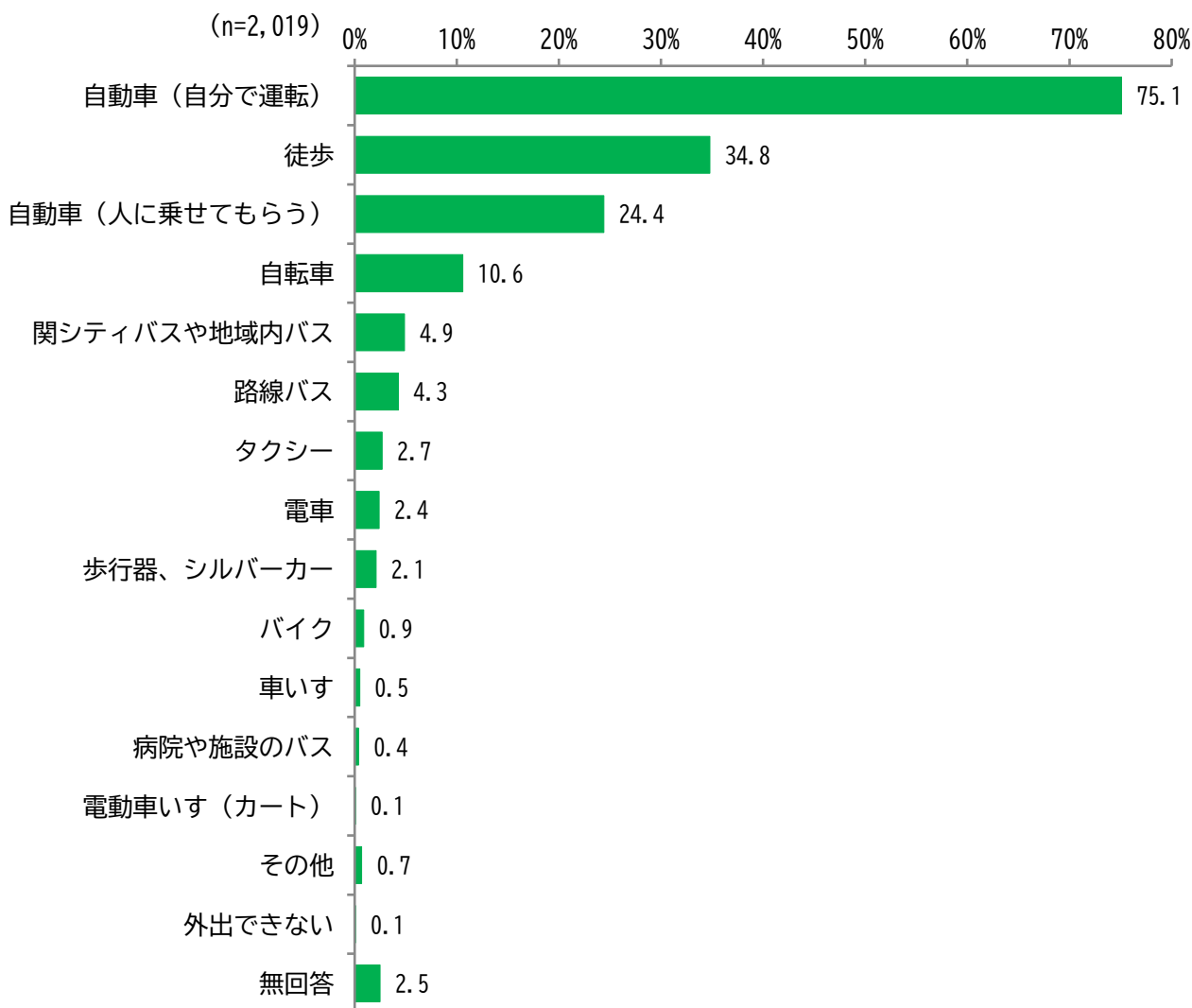
図表 3-4-5 外出を控えている理由【前回との比較】

	件数	足腰などの痛み	外での楽しみがない	トイレの心配（失禁など）	交通手段がない	病気	経済的に出られない	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	障害（脳卒中の後遺症など）	新型コロナウイルス感染症の流行	その他	無回答
全体（第9期）	647	19.3	10.2	11.4	7.4	5.4	7.6	4.6	3.9	1.1	80.1	2.3	1.7
全体（第10期）	346	43.6	25.7	20.5	19.7	17.3	13.3	6.9	6.6	2.9	-	12.4	3.8

問 11 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

- 外出の際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が75.1%で最も高く、次いで「徒歩」が34.8%、「自動車（人に乗せてもらう）」が24.4%となっています。
- 日常生活圏域別でみると、中央第1圏域で「徒歩」が45.1%と高くなっています。

図表 3-4-6 外出の際の移動手段



図表 3-4-7 外出の際の移動手段【日常生活圏域別】

	件数	自動車（自分で運転）	徒歩	自動車（人に乗せてもらう）	自転車	関シティバスや地域内バス	路線バス	タクシー	電車	歩行器、シルバーカー	バイク	車いす	病院や施設のバス	電動車いす（カート）	その他	外出できない	無回答
全 体	2,019	75.1	34.8	24.4	10.6	4.9	4.3	2.7	2.4	2.1	0.9	0.5	0.4	0.1	0.7	0.1	2.5
中央第1	426	71.6	45.1	21.8	12.7	6.3	4.9	3.8	3.1	1.2	0.9	0.2	0.2	0.5	0.7	-	3.1
中央第2	315	74.3	40.0	24.8	13.7	1.9	3.8	3.8	2.2	2.5	0.6	0.3	0.3	-	1.0	-	1.6
中央第3	421	78.4	35.9	27.6	8.6	3.3	4.8	1.0	2.4	0.7	1.0	-	-	-	0.5	0.5	1.9
中央第4	402	71.9	31.1	24.6	12.4	6.7	3.7	4.2	2.5	3.5	0.2	1.0	0.7	-	0.2	0.2	2.7
西	237	80.2	26.2	25.3	7.6	6.3	4.6	0.8	2.5	3.4	2.1	0.8	1.3	-	0.8	-	2.1
東	218	77.1	21.6	21.1	6.0	4.1	3.7	1.8	1.4	2.3	0.9	0.9	0.5	-	1.4	-	3.7

4 食べることについて

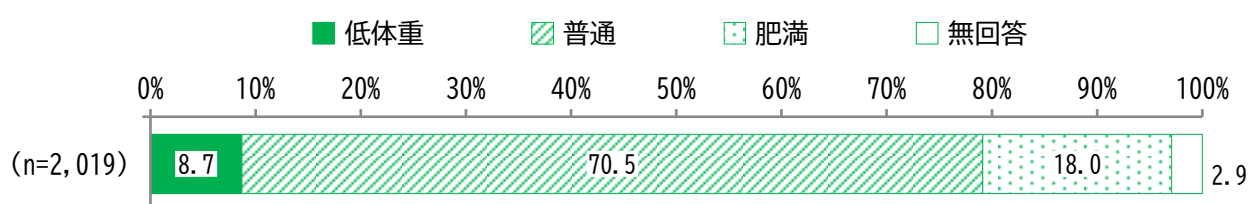
4-1 BMI 判定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 12 あなたの現在の身長・体重を記入してください。

- 身長と体重から BMI 値※を算出すると、「低体重」（BMI が 18.5 未満の人）が 8.7%となっています。

※BMI (Body Mass Index) は、体重 (kg) を身長 (m) の 2 乗で割って求める体格指数です。
日本肥満学会では、BMI が 18.5 未満を「低体重」、25.0 以上を「肥満」と判定しています。

図表 4-1 BMI 判定



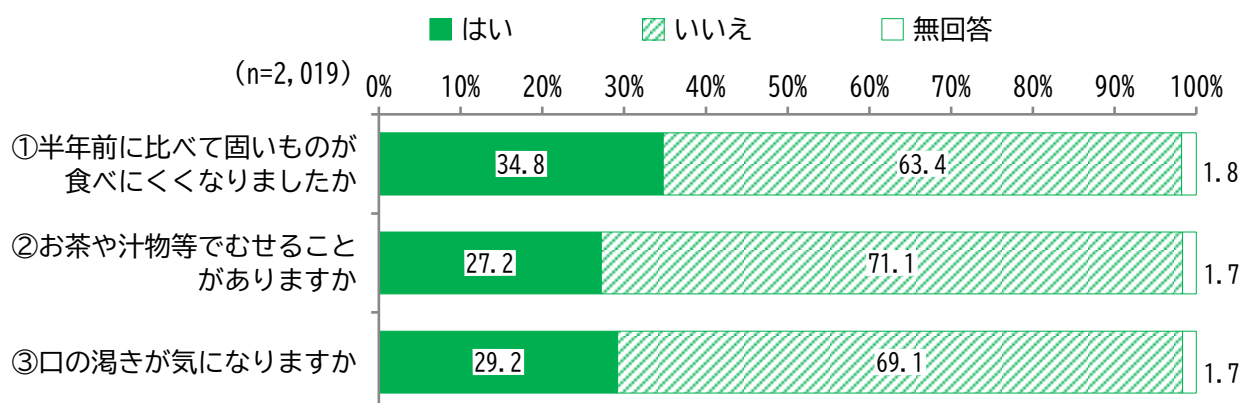
4-2 口腔機能について・・・・・・・・・・・・・・・・

問 13 食べることや歯のことについておたずねします。(①～④それぞれについて○は1つつつ)

- ①半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。
②お茶や汁物等でむせることがありますか。
③口の渇きが気になりますか。

- 「はい」は、「①半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」で 34.8%、「③口の渇きが気になりますか」で 29.2%、「②お茶や汁物等でむせることがありますか」で 27.2%となっています。

図表 4-2 口腔機能について

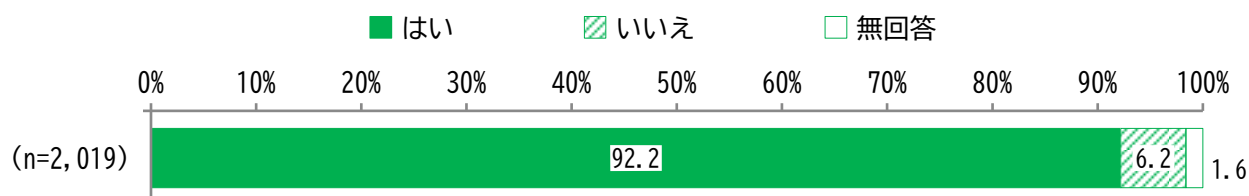


4-3 歯の健康管理について……………

④歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

➤ 歯磨きの毎日の実施は、「はい」が92.2%、「いいえ」が6.2%となっています。

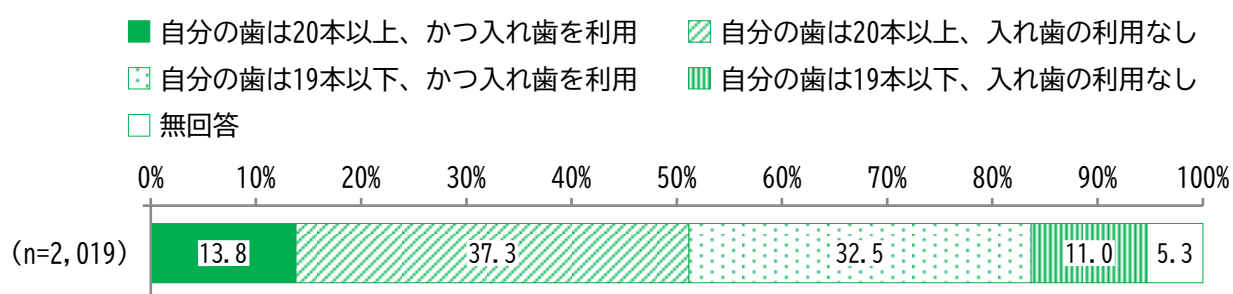
図表 4-3-1 歯磨きの毎日の実施



問 14 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（○は1つ）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。）

➤ 歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 37.3%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 32.5%となっています。
➤ 『入れ歯を利用している』人は 46.3%、『自分の歯は 19 本以下』の人は 43.5%となっています。

図表 4-3-2 歯の数と入れ歯の利用状況



問 14-1 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

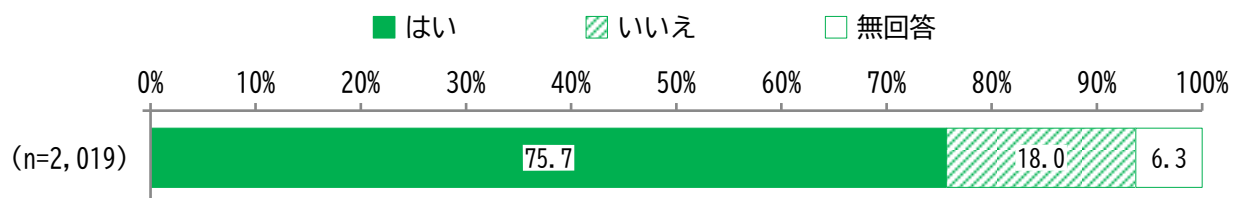
【問 14 で「～、かつ入れ歯を利用」を選択した方(入れ歯を利用している方)のみ】

問 14-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

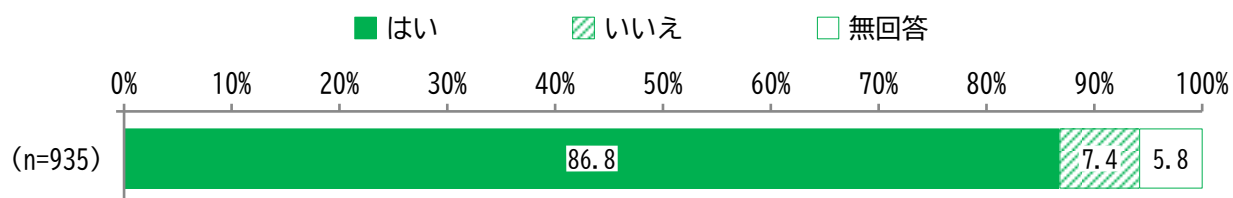
➤ 噛み合わせの良さは、「はい」が75.7%、「いいえ」が18.0%となっています。

➤ 入れ歯の手入れの毎日の実施は、「はい」が86.8%、「いいえ」が7.4%となっています。

図表 4-3-3 噛み合わせの良さ



図表 4-3-4 入れ歯の手入れの毎日の実施

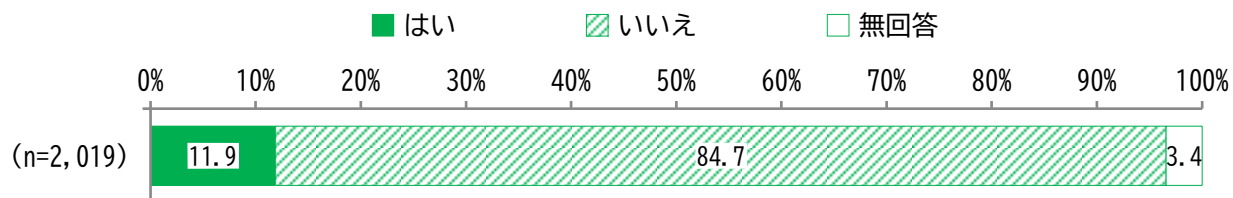


4-4 急な体重減少の有無.....

問 15 最近6か月間で2～3 kg 以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

➤ 「はい」が11.9%、「いいえ」が84.7%となっています。

図表 4-4 急な体重減少の有無

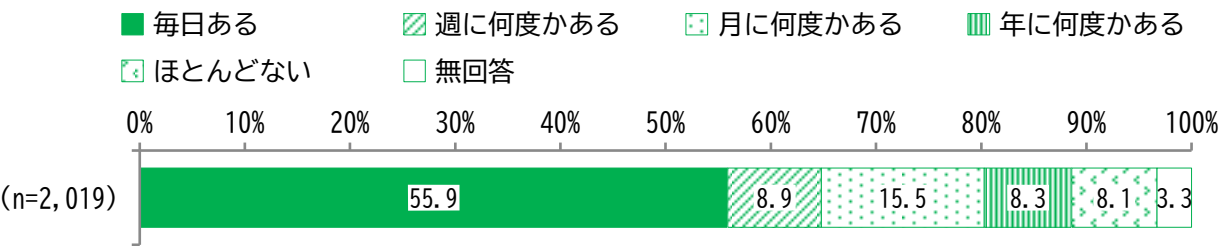


4-5 共食の機会の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 16 どなたかと食事をともにする機会がありますか。(○は1つ)

- 「毎日ある」が55.9%で最も高く、次いで「月に何度かある」が15.5%となっています。また、「ほとんどない」が8.1%となっています。
- 家族構成別でみると、1人暮らし世帯では「ほとんどない」が19.1%と高くなっています。

図表 4-5-1 共食の機会の有無



図表 4-5-2 共食の機会の有無【家族構成別】

	件数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全 体	2,019	55.9	8.9	15.5	8.3	8.1	3.3
1人暮らし	324	4.9	16.4	37.7	17.9	19.1	4.0
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	799	66.5	6.1	11.9	7.4	5.6	2.5
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	94	61.7	12.8	8.5	10.6	4.3	2.1
息子・娘との2世帯	353	62.3	9.3	13.3	4.8	6.5	3.7
その他	359	71.0	7.5	6.7	4.7	7.2	2.8

5 毎日の生活について

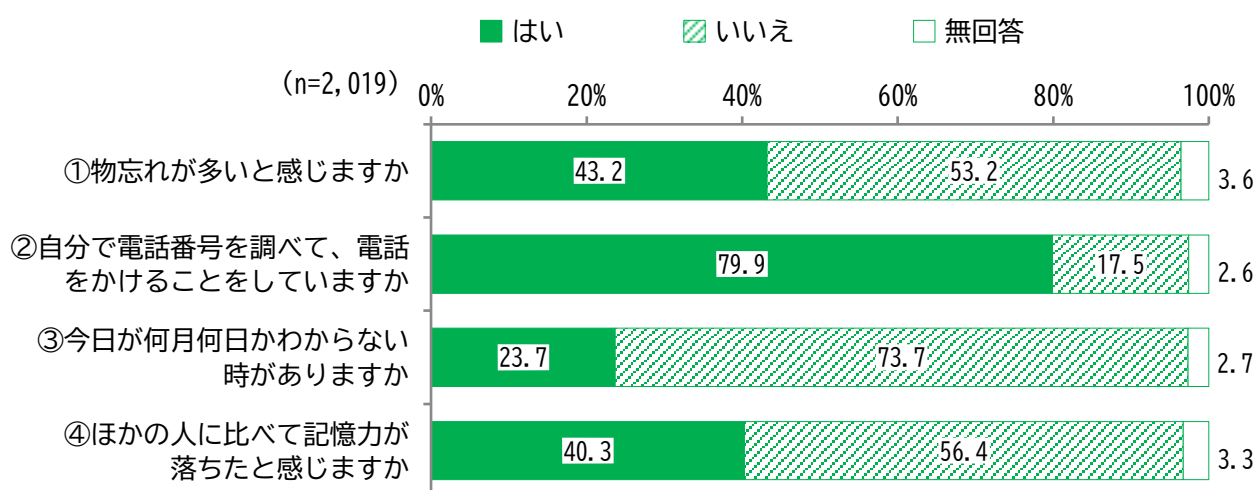
5-1 認知機能について……………

問 17 物忘れについておたずねします。(①～④それぞれについて○は1つつ)

- ①物忘れが多いと感じますか。
- ②自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。
- ③今日が何月何日かわからない時がありますか。
- ④ほかの人に比べて記憶力が落ちたと感じますか。

➤ 「①物忘れが多いと感じますか」で「はい」が 43.2%、「②自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」で「いいえ」が 17.5%、「③今日が何月何日かわからない時がありますか」で「はい」が 23.7%、「④ほかの人に比べて記憶力が落ちたと感じますか」で「はい」が 40.3%となっています。

図表 5-1 認知機能について



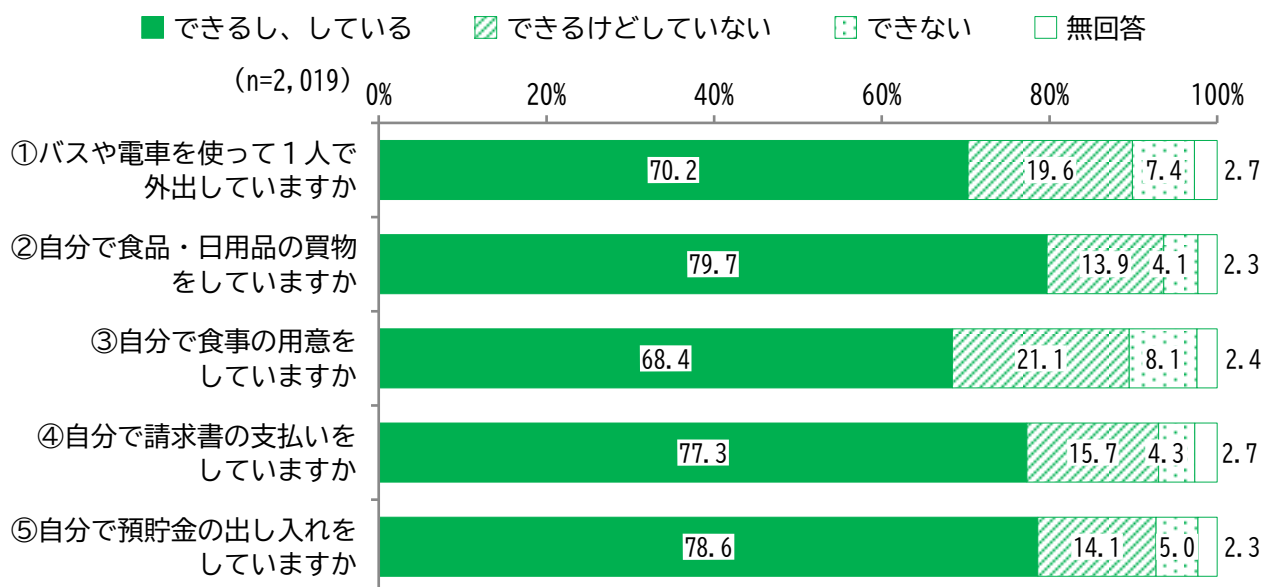
5-2 手段的日常生活動作（IADL）について

問 18 日常生活の活動等についておたずねします。（①～⑧それぞれについて○は1つずつ）

- ①バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。
- ②自分で食品・日用品の買物をしていますか。
- ③自分で食事の用意をしていますか。
- ④自分で請求書の支払いをしていますか。
- ⑤自分で預貯金の出し入れをしていますか。

➤ 「できない」は、「③自分で食事の用意をしていますか」で8.1%、「①バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）」で7.4%、「⑤自分で預貯金の出し入れをしていますか」で5.0%などとなっています。

図表 5-2 手段的日常生活動作（IADL）について

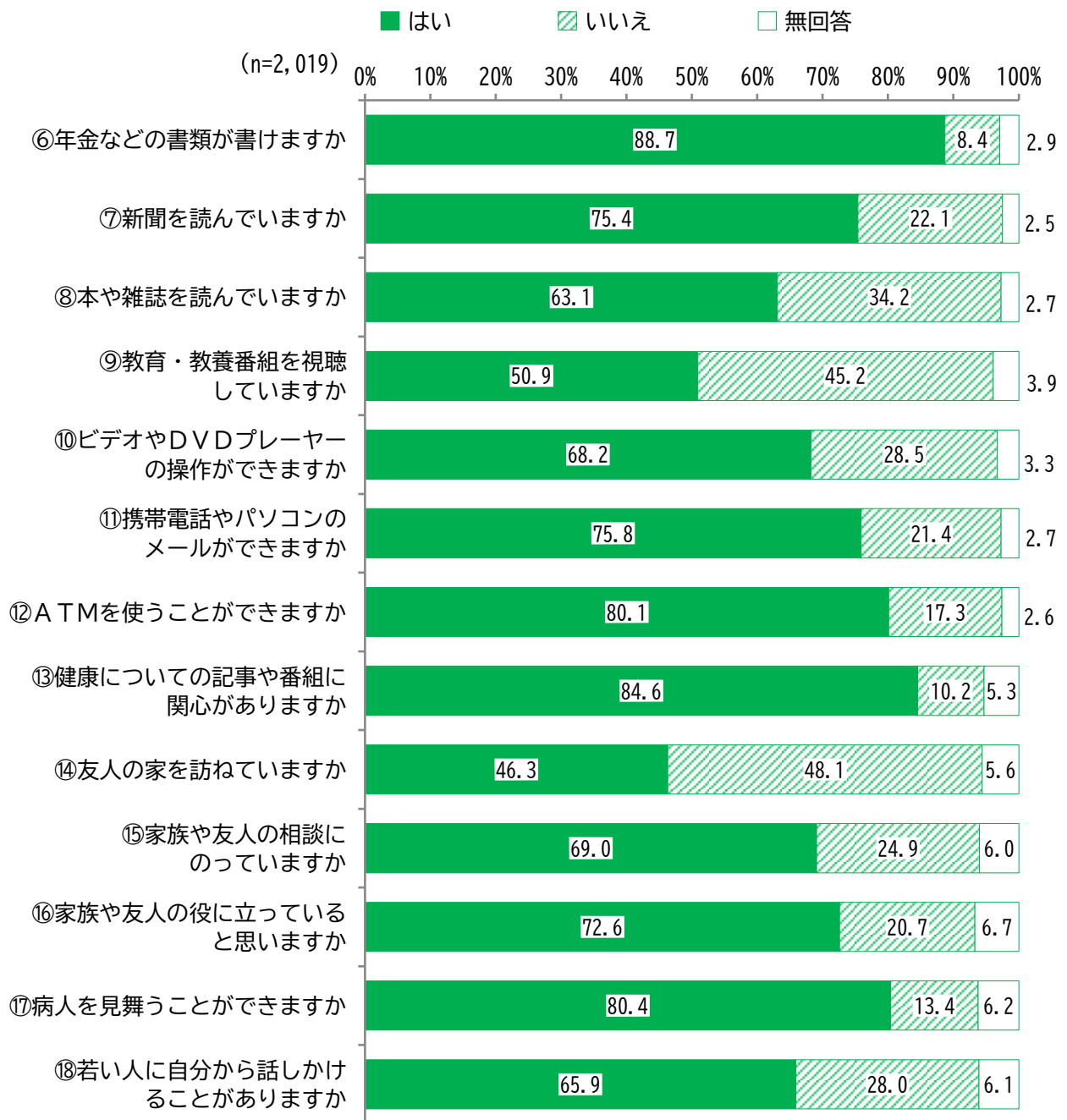


5-3 知的能動性や社会的役割等について

- ⑥年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。
- ⑦新聞を読んでいますか。
- ⑧本や雑誌を読んでいますか。
- ⑨教育・教養番組を視聴していますか。
- ⑩ビデオやDVDプレーヤーの操作ができますか。
- ⑪携帯電話やパソコンのメールができますか。
- ⑫ATMを使うことができますか。
- ⑬健康についての記事や番組に関心がありますか。
- ⑭友人の家を訪ねていますか。
- ⑮家族や友人の相談にのっていますか。
- ⑯家族や友人の役に立っていると思いますか。
- ⑰病人を見舞うことができますか。
- ⑱若い人に自分から話しかけることがありますか。

➤ 「いいえ」は、「⑭友人の家を訪ねていますか」で48.1%、「⑨教育・教養番組を視聴していますか」で45.2%、「⑧本や雑誌を読んでいますか」で34.2%などとなっています。

図表 5-3 知的能動性や社会的役割等について



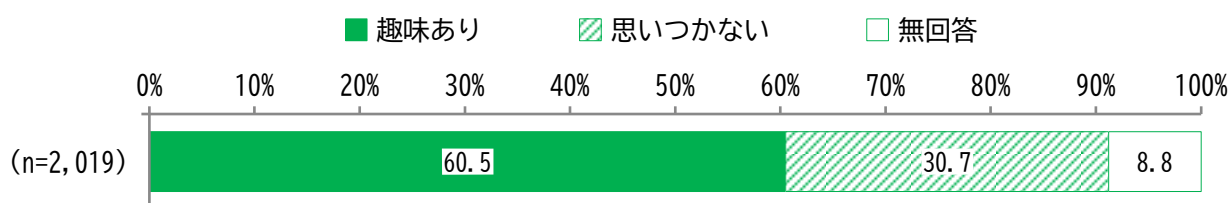
5-4 趣味・生きがいについて……………

問 19 趣味はありますか。ある方は（ ）内に趣味をご記入ください。（○は1つ）

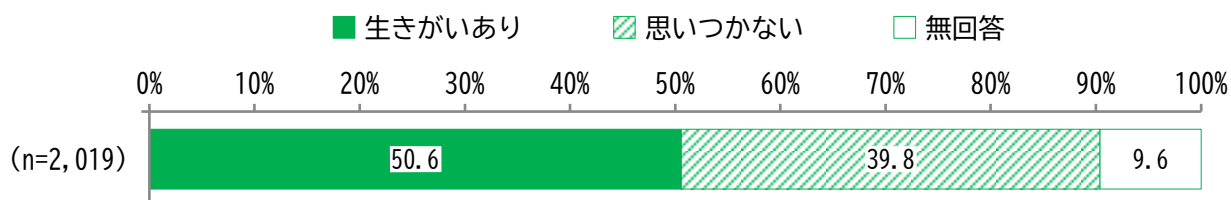
問 20 生きがいはありますか。ある方は（ ）内に生きがいをご記入ください。（○は1つ）

- 趣味は、「趣味あり」が60.5%、「思いつかない」が30.7%となっています。
- 生きがいは、「生きがいあり」が50.6%、「思いつかない」が39.8%となっています。
- 趣味の具体的な内容としては、「手芸、工芸、物作りなど」「園芸、庭木、花木の手入れ」「読書、文芸、書道など」「スポーツ（観戦含む）」「音楽鑑賞、演奏」が多くあげられています。
- 生きがいの具体的な内容としては、「子・孫」「趣味」「仕事、働くこと」「人との交流」「家族」「旅行」が多くあげられています。

図表 5-4-1 趣味の有無



図表 5-4-2 生きがいの有無



図表 5-4-3 趣味・生きがいの具体的な内容（上位 10 位まで）

順位	趣味	件数
1	手芸、工芸、物作りなど	177
2	園芸、庭木、花木の手入れ	175
3	読書、文芸、書道など	152
4	スポーツ（観戦含む）	140
5	音楽鑑賞、演奏	134
6	ゴルフ	113
7	野菜作り、畑仕事、農業など	92
8	パズル、ゲーム、遊戯	83
9	旅行、外出	61
10	釣り	53
	その他	425
合計		1,605

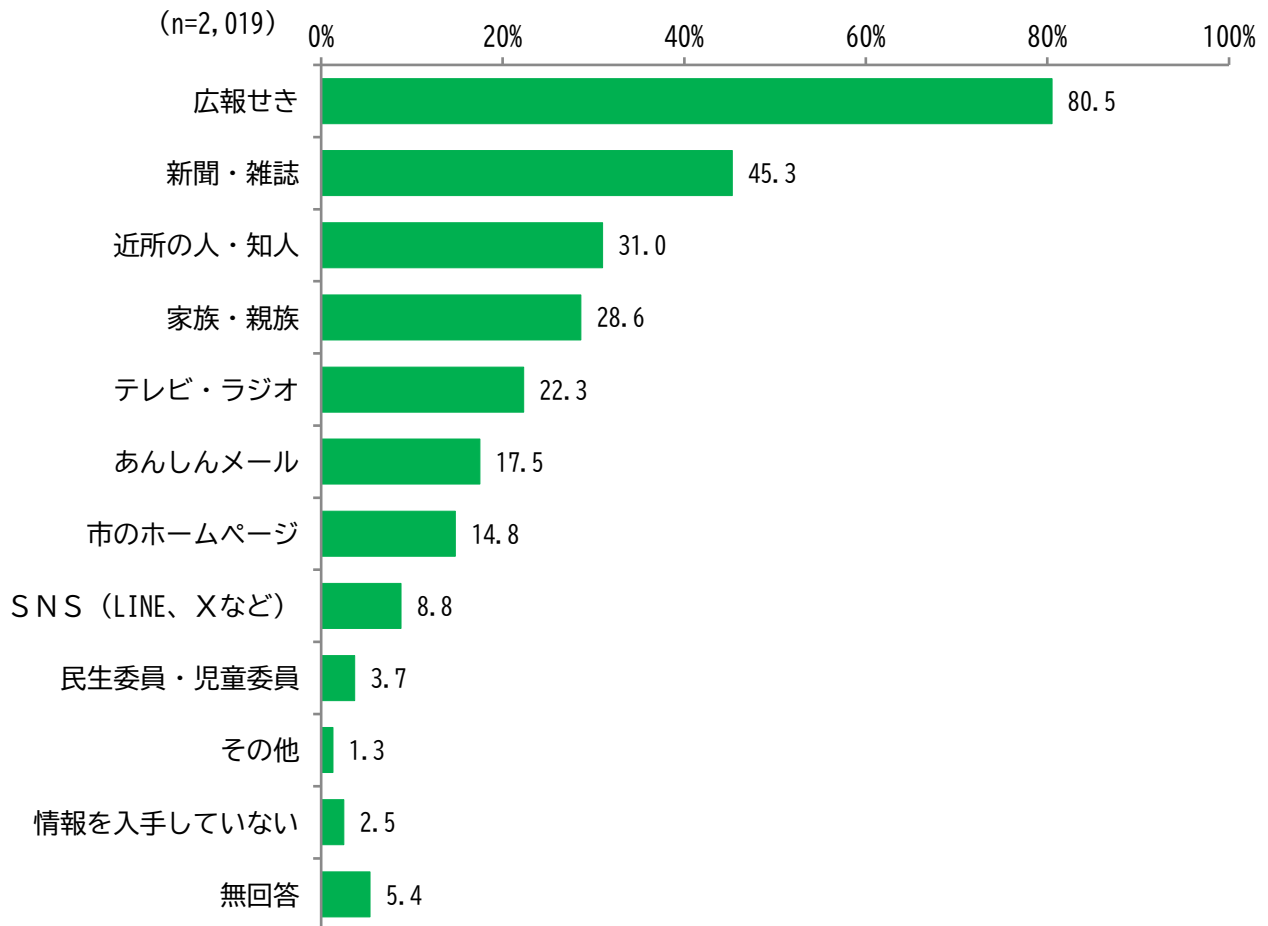
順位	生きがい	件数
1	子・孫	265
2	趣味	214
3	仕事、働くこと	94
4	人との交流	69
5	家族	68
5	旅行	68
7	野菜作り、畑仕事、農業など	62
8	楽しく、食事、料理、買物	60
9	自身の健康	32
10	ボランティア、地域や人への貢献	25
	その他	83
合計		1,040

5-5 市の情報の入手先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 21 あなたは、関市に関する情報を主にどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

- 「広報せき」が80.5%で最も高く、次いで「新聞・雑誌」が45.3%、「近所の人・知人」が31.0%、「家族・親族」が28.6%、「テレビ・ラジオ」が22.3%となっています。

図表 5-5 市の情報の入手先



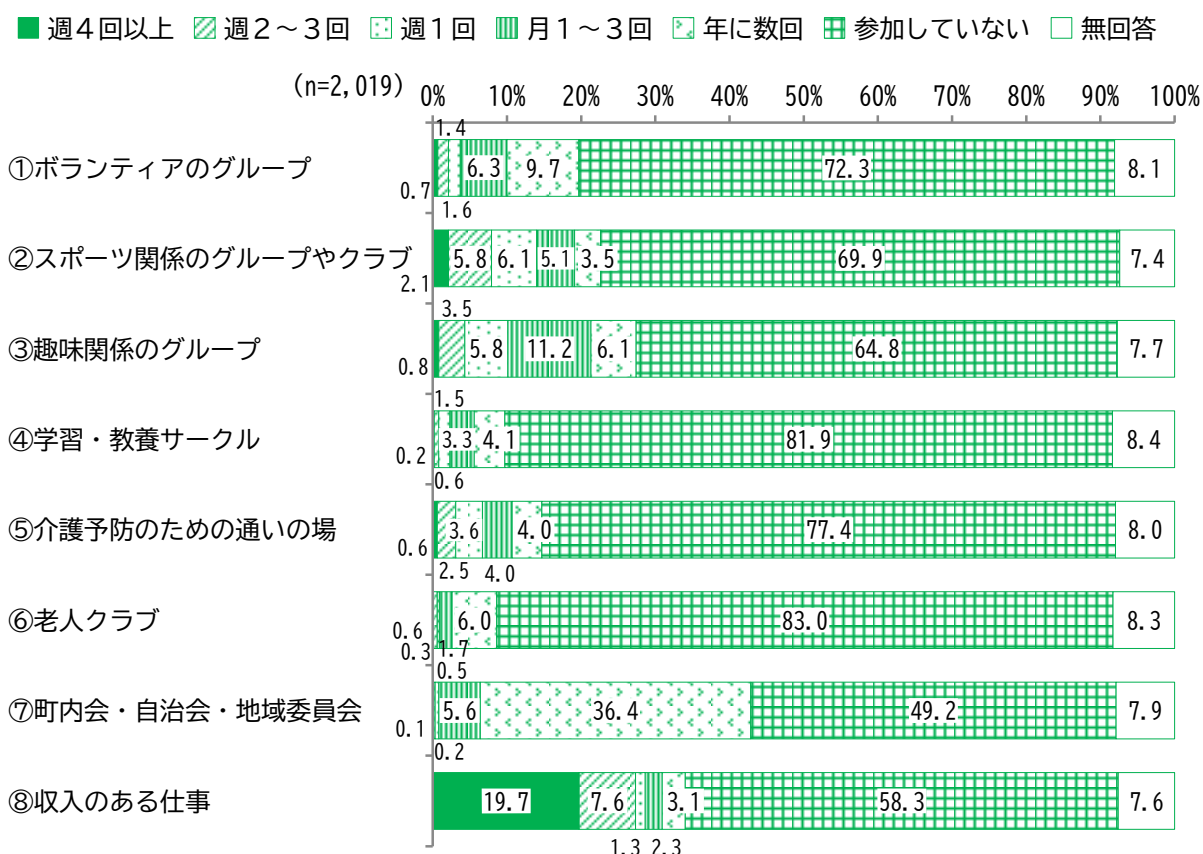
6 地域での活動について

6-1 社会参加活動への参加頻度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

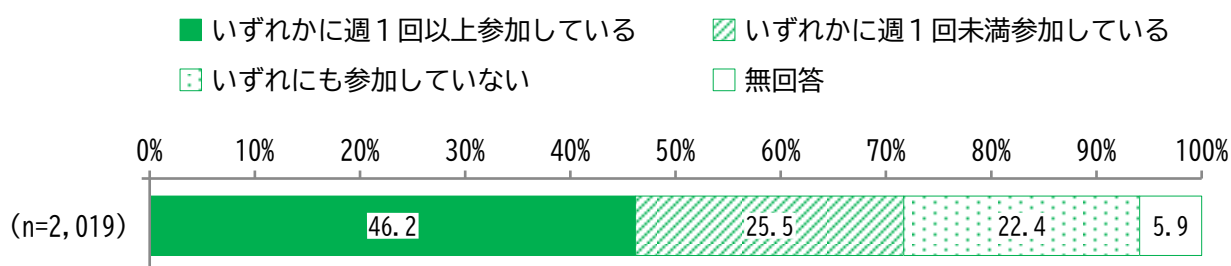
問 22 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(①～⑧それぞれについて○は1つずつ)

- 社会参加活動への参加頻度について、『月1回以上』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」の計）は、「⑧収入のある仕事」で31.0%と最も高く、次いで「③趣味関係のグループ」で21.4%、「②スポーツ関係のグループやクラブ」で19.2%、「⑤介護予防のための通いの場」で10.6%となっています。
- 「参加していない」は、「⑥老人クラブ」で83.0%と最も高く、次いで「④学習・教養サークル」で81.9%、「⑤介護予防のための通いの場」で77.4%となっています。
- いずれの社会参加活動にも参加していない人の割合は22.4%となっています。

図表 6-1-1 社会参加活動への参加頻度



図表 6-1-2 社会参加活動への参加頻度【①～⑧の全活動について】



6-2 地域づくりへの参加意向……………

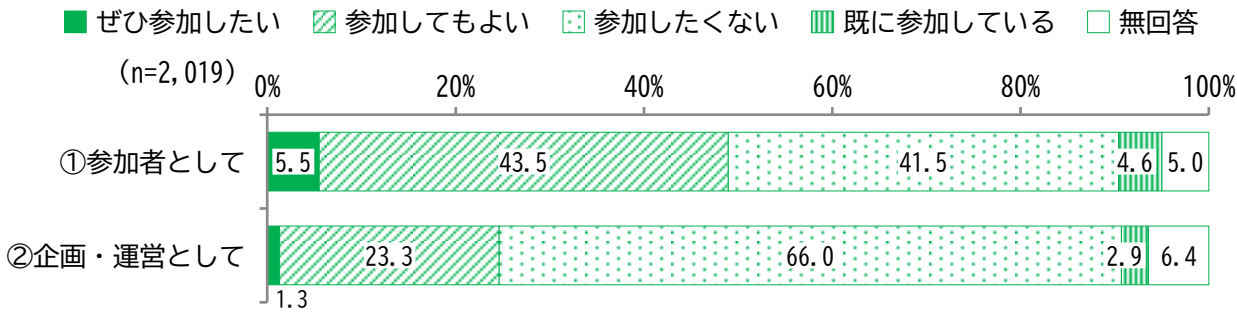
問 23 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加してみたいと思いますか。(①②それぞれについて○は1つずつ)

①参加者として

②企画・運営(お世話役)として

- ▶ 地域づくりへの【参加者として】の参加意向は、「参加してもよい」が43.5%で最も高く、『参加意向がある』(「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」の計)は53.6%となっています。
- ▶ 地域づくりへの【企画・運営(お世話役)として】の参加意向は、「参加したくない」が66.0%で最も高く、『参加意向がある』は27.5%となっています。
- ▶ 前回調査と比べると、『参加意向がある』は【参加者として】(59.0%→53.6%)で5.4ポイント、【企画・運営として】(31.3%→27.5%)で3.8ポイント、それぞれ低下しています。
- ▶ 年齢別でみると、『参加意向がある』は【参加者として】【企画・運営として】ともに70歳代で高く、85歳以上で低くなっています。

図表 6-2-1 地域づくりへの参加意向



図表 6-2-2 地域づくりへの参加意向【前回との比較、年齢別】

①参加者として

	件数	ぜひ参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体(第9期)	2,059	6.9	48.1	34.9	4.0	6.1
全体(第10期)	2,019	5.5	43.5	41.5	4.6	5.0
65～69歳	424	5.2	46.5	43.9	2.8	1.7
70～74歳	493	5.1	47.5	42.4	2.4	2.6
75～79歳	551	5.6	42.6	38.5	7.3	6.0
80～84歳	323	4.3	43.7	37.5	4.6	9.9
85歳以上	228	8.3	31.1	47.8	6.1	6.6

②企画・運営(お世話役)として

	件数	ぜひ参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体(第9期)	2,059	1.4	26.9	57.8	3.0	10.9
全体(第10期)	2,019	1.3	23.3	66.0	2.9	6.4
65～69歳	424	1.9	25.0	69.6	1.7	1.9
70～74歳	493	0.8	27.2	65.9	2.4	3.7
75～79歳	551	1.8	23.0	64.1	4.2	6.9
80～84歳	323	0.9	20.7	62.8	2.8	12.7
85歳以上	228	0.9	16.2	68.9	3.1	11.0

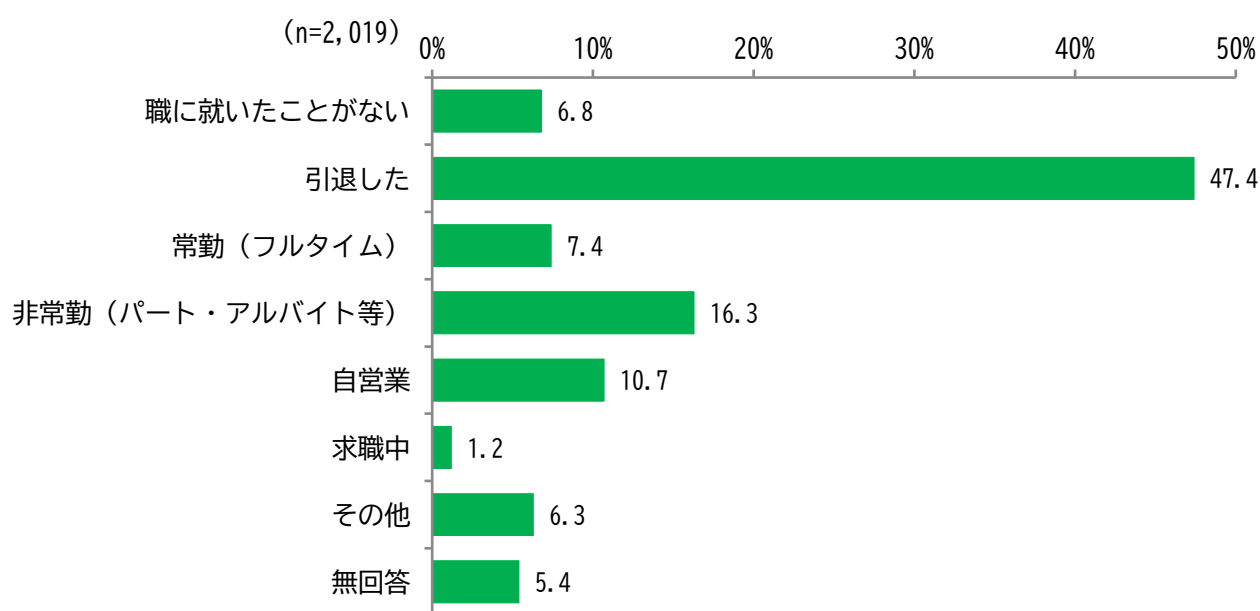
7 就労について

7-1 現在の就労状態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 24 現在のあなたの就労状態はどれですか。（○はいくつでも）

- 「引退した」が47.4%で最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が16.3%、「自営業」が10.7%となっています。

図表 7-1 現在の就労状態



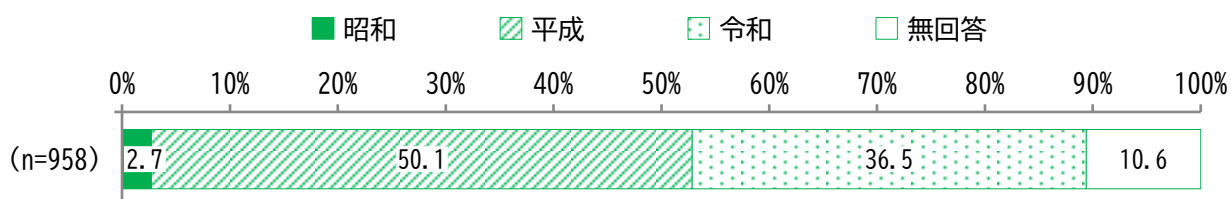
7-2 引退した時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【問 24 で「引退した」を選択した方（引退した方）のみ】

問 24-1 あなたは、いつ引退しましたか。（あてはまる箇所に数字をご記入ください。）

- 引退した時期（年号）は、「平成」が50.1%、「令和」が36.5%となっています。

図表 7-2 引退した時期



8 たすけあいについて

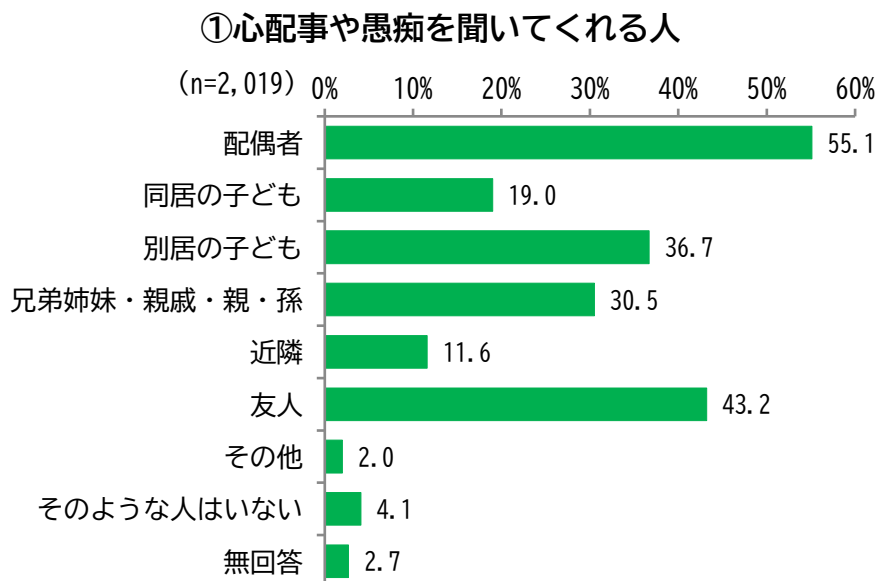
8-1 たすけあえる人の有無・・・・・・・・・・・・・・・・

問 25 あなたと周りの人の「たすけあい」についてお伺いします。以下にあてはまる人を教えてください。(①～④それぞれについて○はいくつでも)

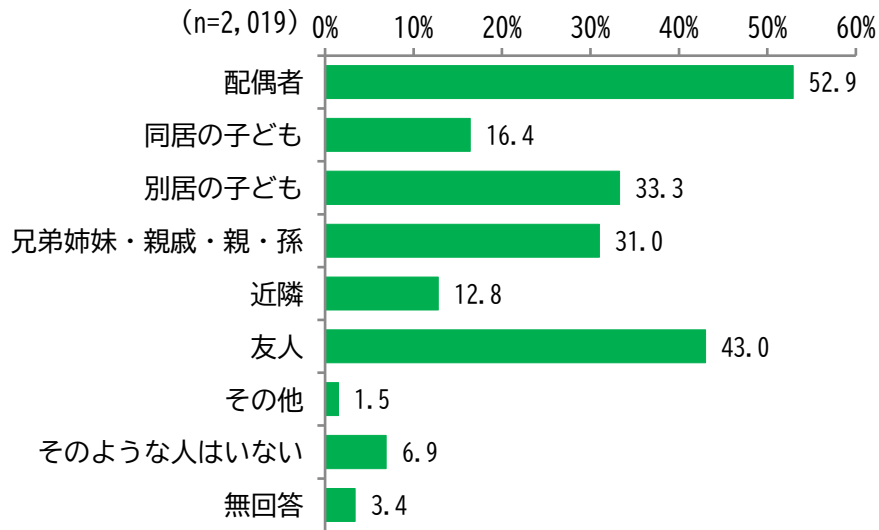
- ①あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
- ②反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人
- ③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
- ④反対に、看病や世話をしてあげる人

- 「①心配事や愚痴を聞いてくれる人」は、「配偶者」が55.1%で最も高く、次いで「友人」が43.2%、「別居の子ども」が36.7%となっています。
- 「②心配事や愚痴を聞いてあげる人」は、「配偶者」が52.9%で最も高く、次いで「友人」が43.0%、「別居の子ども」が33.3%となっています。
- 「③看病や世話をしてくれる人」は、「配偶者」が61.7%で最も高く、次いで「別居の子ども」が30.2%、「同居の子ども」が23.2%となっています。
- 「④看病や世話をしてあげる人」は、「配偶者」が62.6%で最も高く、次いで「別居の子ども」が21.9%、「同居の子ども」が19.2%となっています。
- 「そのような人はいない」は、「④看病や世話をしてあげる人」で12.3%、「②心配事や愚痴を聞いてあげる人」で6.9%、「③看病や世話をしてくれる人」で5.1%、「①心配事や愚痴を聞いてくれる人」で4.1%となっています。

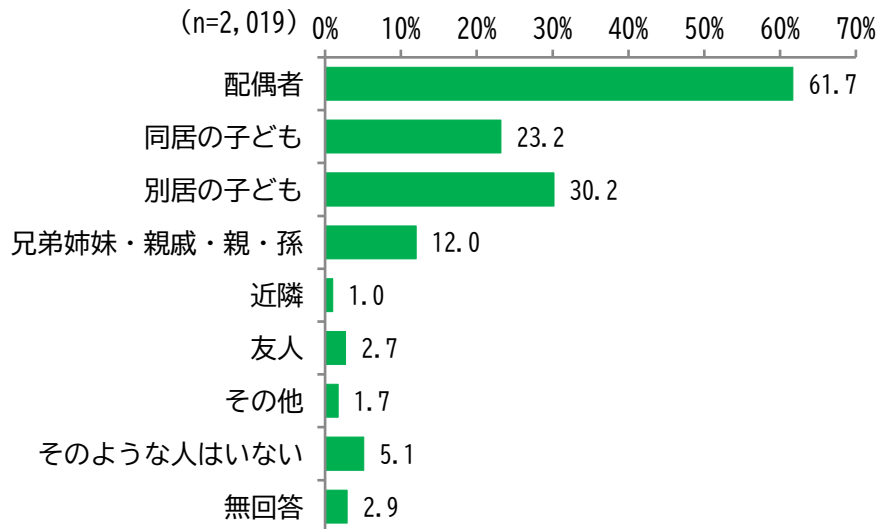
図表 8-1 たすけあえる人の有無



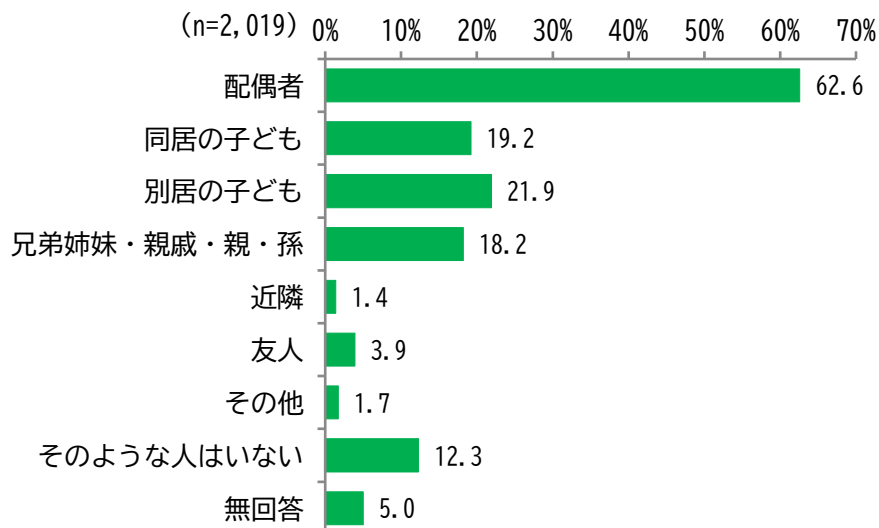
②心配事や愚痴を聞いてあげる人



③看病や世話をしてくれる人



④看病や世話をしてあげる人



8-2 地域でのたすけあいの状況・・・・・・・・・・・・・・・・

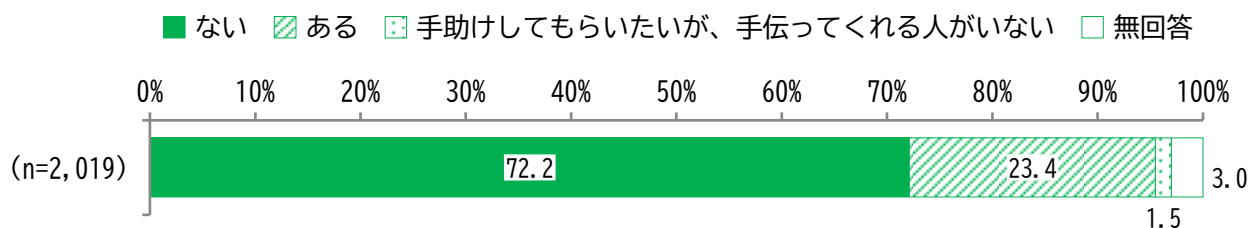
問 26 あなたは、日常生活で、家族以外の誰かに手助けをしてもらったことはありますか。
(○は1つ)

【問 26 で「ある」「手助けしてもらいたい、手伝ってくれる人がいない」を選択した方（手助けしてもらった、手助けしてもらいたい方）のみ】

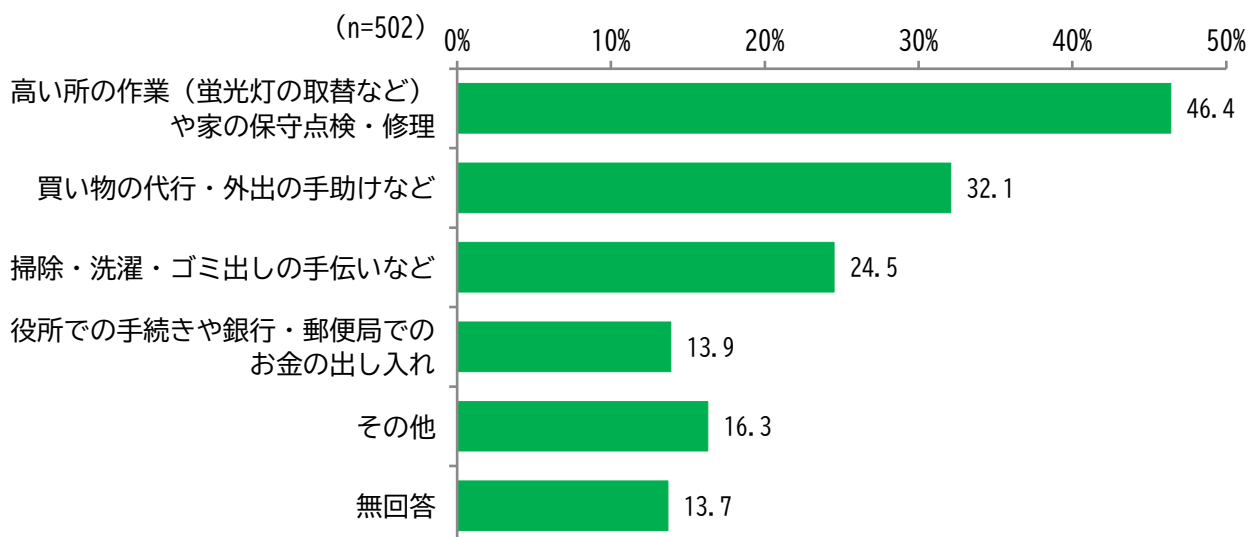
問 26-1 手助けしてもらったこと・もらいたいことは何ですか。(○はいくつでも)

- 家族以外の人に手助けしてもらったことの有無は、「ない」が72.2%、「ある」が23.4%、「手助けしてもらいたい、手伝ってくれる人がいない」が1.5%となっています。
- 手助けしてもらったこと・もらいたいことは、「高い所の作業（蛍光灯の取替など）や家の保守点検・修理」が46.4%で最も高く、次いで「買い物の代行・外出の手助けなど」が32.1%、「掃除・洗濯・ゴミ出しの手伝いなど」が24.5%となっています。

図表 8-2-1 家族以外の人に手助けしてもらったことの有無



図表 8-2-2 家族以外の人に手助けしてもらった（もらいたい）こと



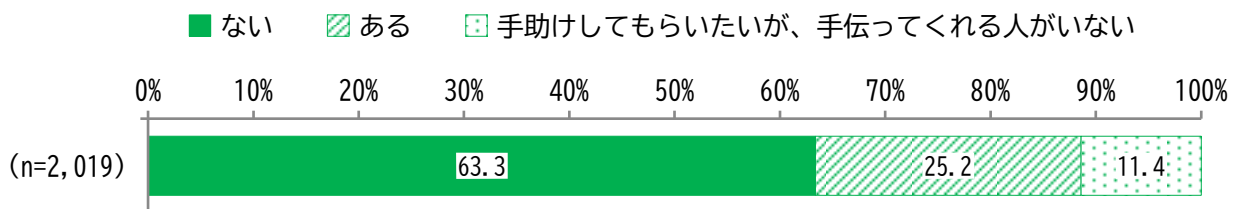
問 27 あなたは、日常生活で、家族以外の誰かに手助けしたことはありますか。(○は1つ)

【問 27 で「ある」を選択した方(手助けしたことがある方)のみ】

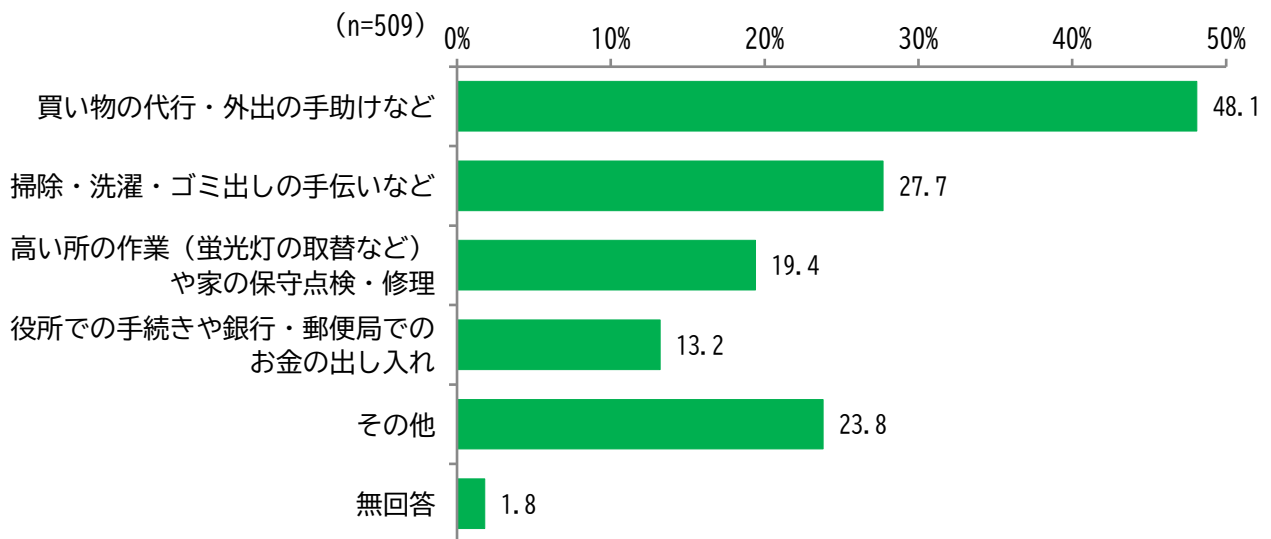
問 27-1 手助けしたことは何ですか。(○はいくつでも)

- 家族以外の人に手助けしたことの有無は、「ない」が63.3%、「ある」が25.2%、「手助けしてもらいたいが、手伝ってくれる人がいない」が11.4%となっています。
- 手助けしたことは、「買い物の代行・外出の手助けなど」が48.1%で最も高く、次いで「掃除・洗濯・ゴミ出しの手伝いなど」が27.7%、「高い所の作業(蛍光灯の取替など)や家の保守点検・修理」が19.4%となっています。

図表 8-2-3 家族以外の人に手助けしたことの有無



図表 8-2-4 家族以外の人に手助けしたこと

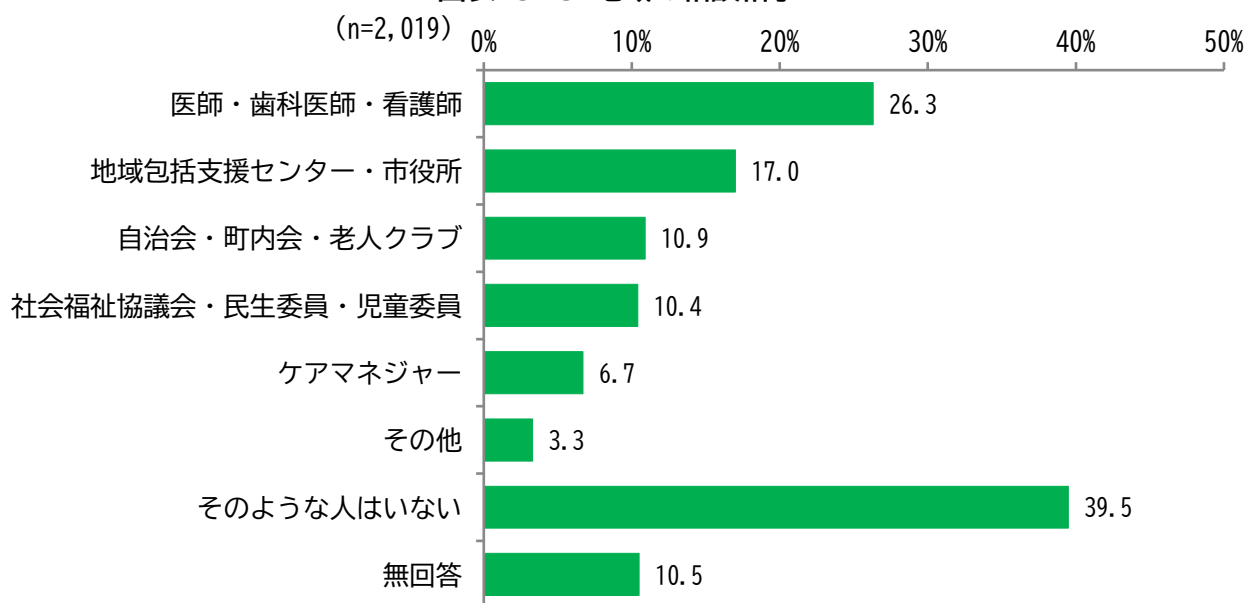


8-3 地域の相談相手・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 28 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(○はいくつでも)

- 「そのような人はいない」が39.5%で最も高くなっています。相談相手では「医師・歯科医師・看護師」が26.3%で最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所」が17.0%、「自治会・町内会・老人クラブ」が10.9%となっています。

図表 8-3 地域の相談相手

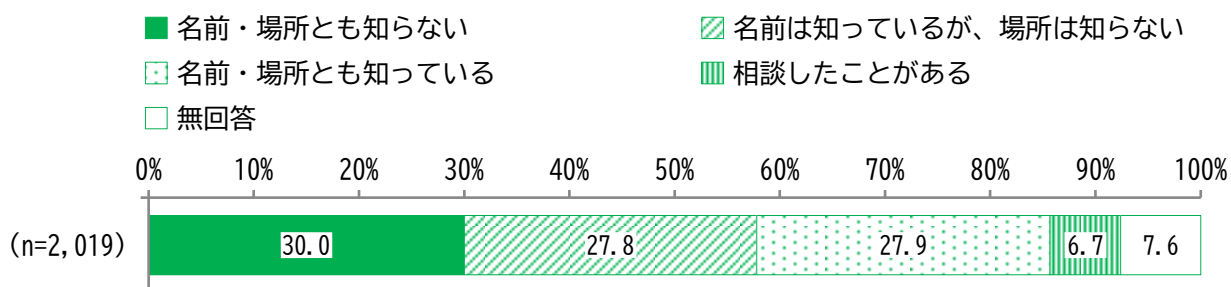


8-4 地域包括支援センターの認知度・・・・・・・・・・・・・・・・

問 29 子どもから高齢者まで多様な世代の相談窓口として、「地域包括支援センター（ほうかつ）」がありますが、「地域包括支援センター（ほうかつ）」の名前・設置場所を知っていますか。(○は1つ)

- 「名前・場所とも知らない」が30.0%で最も高く、『名前を知っている』（「相談したことがある」「名前・場所とも知っている」「名前を知っているが、場所は知らない」の計）は62.4%、『場所を知らない』（「名前・場所とも知らない」「名前を知っているが、場所は知らない」の計）は57.8%となっています。

図表 8-4 地域包括支援センターの認知度

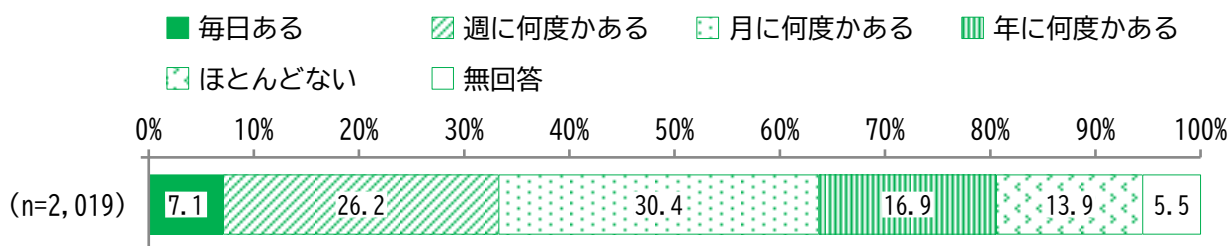


8-5 友人関係について……………

問 30 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

- 友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」が30.4%で最も高く、「毎日ある」が7.1%、「ほとんどない」が13.9%となっています。

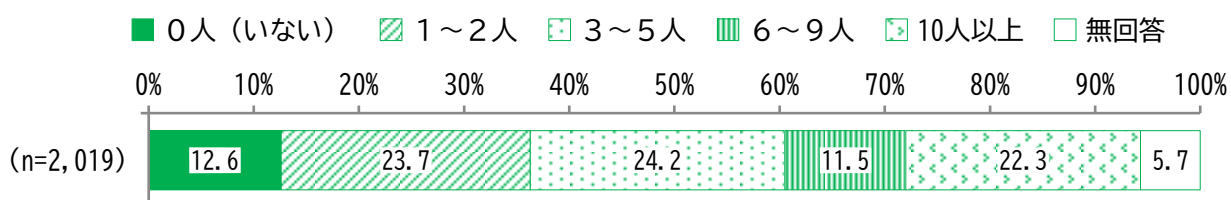
図表 8-5-1 友人・知人と会う頻度



問 31 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

- 1か月間で会った友人・知人の人数は、「3～5人」が24.2%で最も高く、次いで「1～2人」が23.7%となっています。また、「0人(いない)」が12.6%となっています。

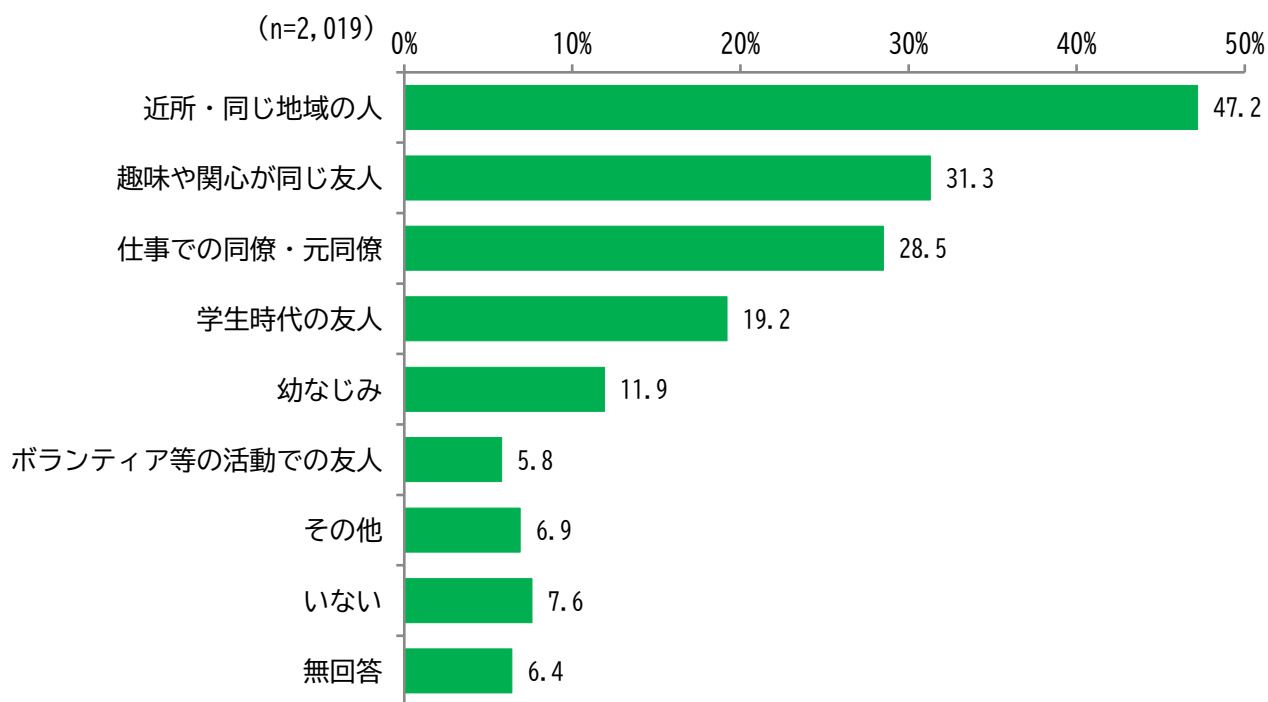
図表 8-5-2 1か月間で会った友人・知人の人数



問 32 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

- よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が47.2%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が31.3%、「仕事での同僚・元同僚」が28.5%となっています。

図表 8-5-3 よく会う友人・知人との関係



8-6 たすけあいについての考え方・・・・・・・・・・・・・・・・

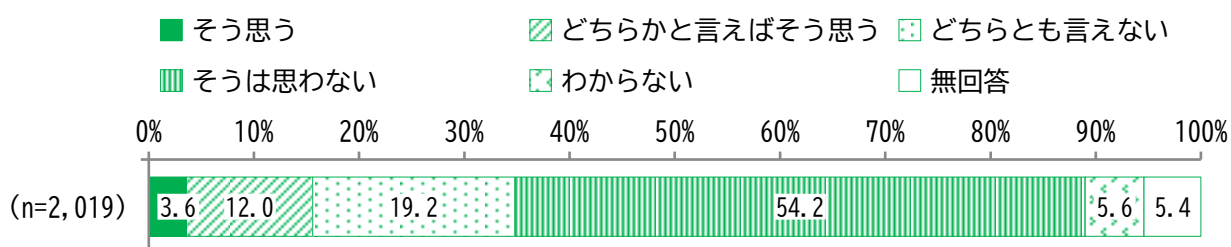
問 33 あなた自身のお気持ちや行動について、最も近いものをお選びください。(①～③それぞれについて○は1つずつ)

- ①悩みがあるときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり助けを求めたりすることは恥ずかしいことだと思いますか。
- ②困っているときに誰かが手伝いを申し出てくれたら、お願いしたいですか。
- ③他人の支援はありがたく受け入れるほうですか。

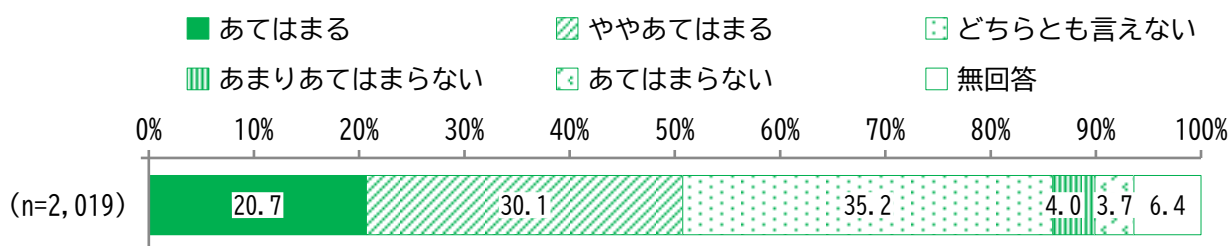
- 「①誰かに相談や助けを求めることは恥ずかしい」では、「そうは思わない」が54.2%で最も高く、『そう思う』(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の計)は15.6%となっています。
- 「②手伝いを申し出てくれたら、お願いしたい」では、「どちらとも言えない」が35.2%で最も高く、『あてはまる』(「あてはまる」「ややあてはまる」の計)は50.8%、『あてはまらない』(「あてはまらない」「あまりあてはまらない」の計)は7.7%となっています。
- 「③他人の支援はありがたく受け入れるほうだ」では、「どちらとも言えない」が33.4%で最も高く、『あてはまる』は52.9%、『あてはまらない』は7.6%となっています。

図表 8-6 たすけあいについての考え方

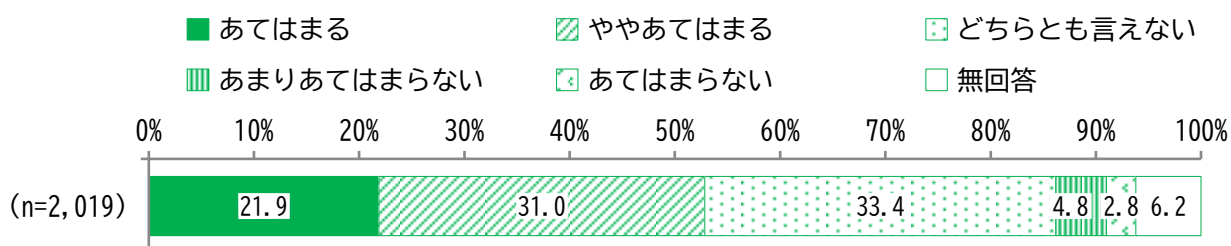
①誰かに相談や助けを求めることは恥ずかしい



②手伝いを申し出てくれたら、お願いしたい



③他人の支援はありがたく受け入れるほうだ



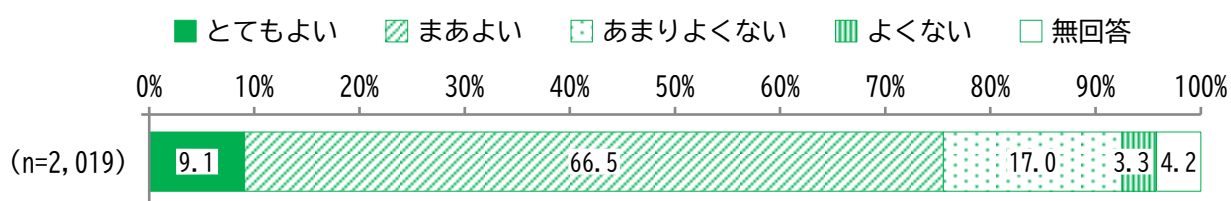
9 健康について

9-1 主観的健康感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 34 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- 「まあよい」が66.5%で最も高く、『よい』(「とてもよい」「まあよい」の計)が75.6%、
『よくない』(「よくない」「あまりよくない」の計)が20.3%となっています。
- 前回調査と比べると、『よくない』(17.3%→20.3%)が3.0ポイント上昇しています。

図表 9-1-1 主観的健康感



図表 9-1-2 主観的健康感【前回との比較】

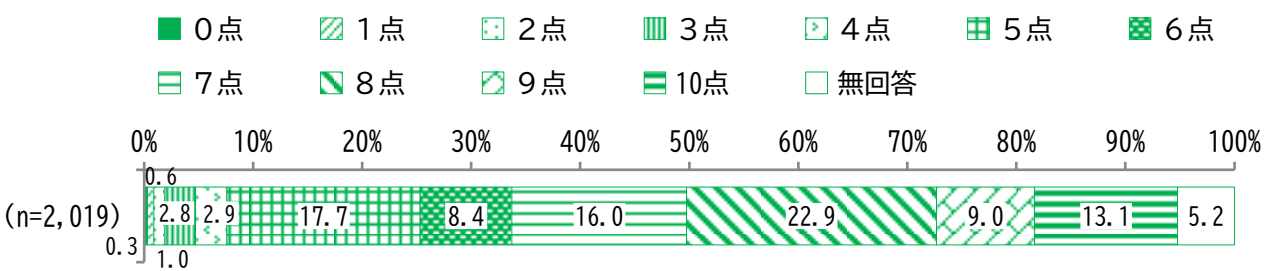
	件数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体（第9期）	2,059	10.1	70.3	15.5	1.8	2.3
全体（第10期）	2,019	9.1	66.5	17.0	3.3	4.2

9-2 主観的幸福感.....

問 35 あなたは、現在どの程度幸せですか。
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○をつけてください)

- 「8点」が22.9%で最も高く、次いで「5点」が17.7%、「7点」が16.0%となっています。また、「0点（とても不幸）」は0.3%で、『4点以下』は7.6%となっています。
- 平均点は7.1点となっています。
- 前回調査と比べると、特に大きな変化はみられませんでした。

図表 9-2-1 主観的幸福感



図表 9-2-2 主観的幸福感【前回との比較】

	件数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体（第9期）	2,059	0.4	0.2	1.0	2.2	3.6	19.9	10.2	15.6	20.8	11.3	12.0	2.8
全体（第10期）	2,019	0.3	0.6	1.0	2.8	2.9	17.7	8.4	16.0	22.9	9.0	13.1	5.2

9-3 うつ傾向について……………

問 36 ころの状態についておたずねします。(①～③についてそれぞれ○は1つずつ)

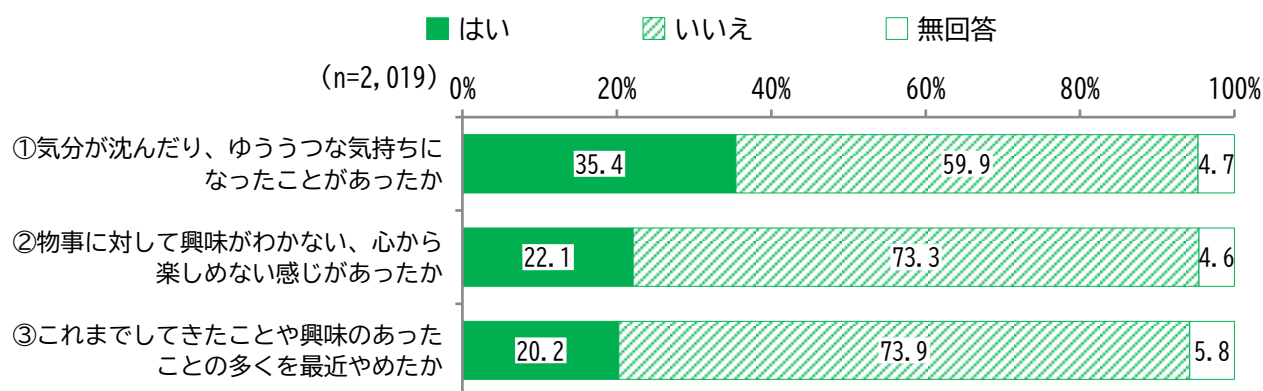
①この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

②この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

③これまでやってきたことや興味のあったことの多くを、最近やめてしまいましたか。

➤ 「はい」は、「①この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」で35.4%、「②この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」で22.1%、「③これまでやってきたことや興味のあったことの多くを、最近やめてしまいましたか」で20.2%となっています。

図表 9-3 うつ傾向について

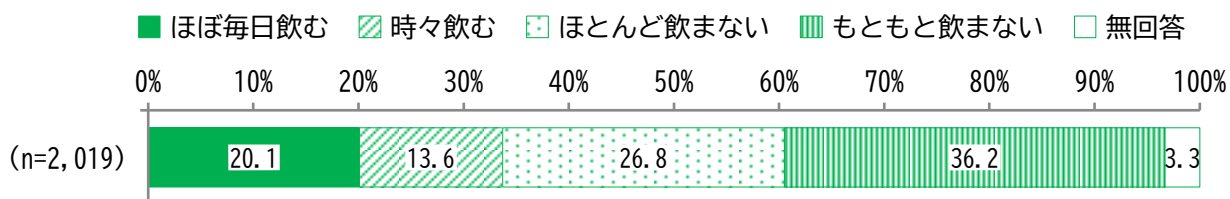


9-4 飲酒の習慣の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 37 お酒は飲みますか。(○は1つ)

- 「もともと飲まない」が36.2%で最も高く、『飲む』（「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」の計）が33.7%、『飲まない』（「もともと飲まない」「ほとんど飲まない」の計）が63.0%となっています。

図表 9-4 飲酒の習慣の状況

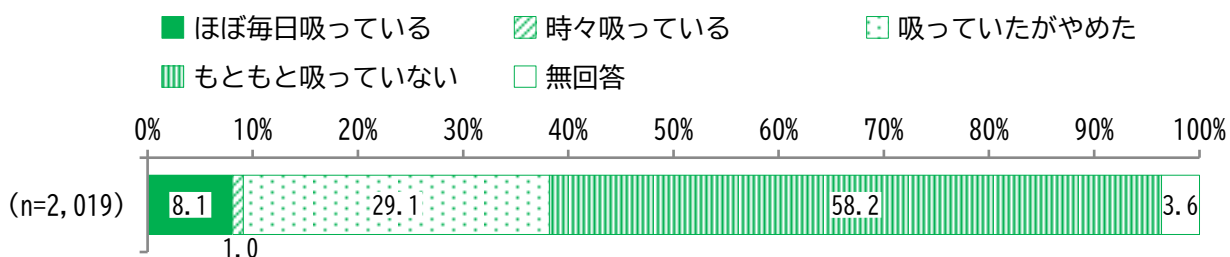


9-5 喫煙の習慣の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 38 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

- 「もともと吸っていない」が58.2%で最も高く、『吸っている』（「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」の計）が9.1%、『吸っていない』（「もともと吸っていない」「吸っていたがやめた」の計）が87.3%となっています。

図表 9-5 喫煙の習慣の状況

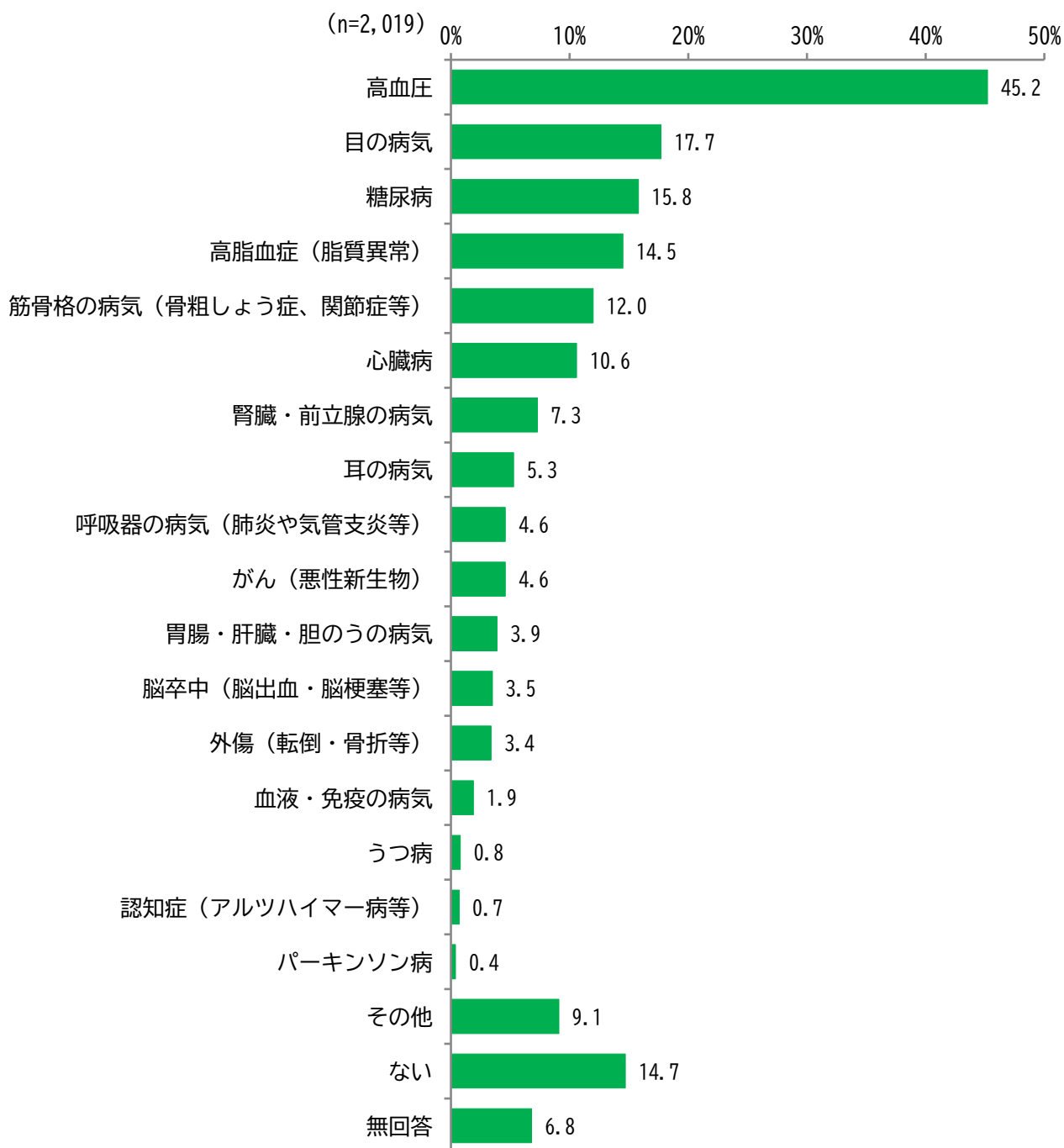


9-6 現在治療中の病気等.....

問 39 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

➤ 「高血圧」が45.2%で最も高く、次いで「目の病気」が17.7%、「糖尿病」が15.8%となっています。また、「ない」が14.7%となっています。

図表 9-6 現在治療中の病気等



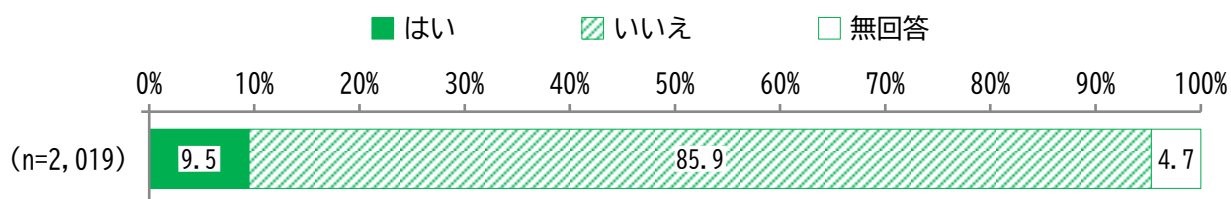
10 認知症にかかる相談窓口の把握について

10-1 家族を含めた認知症の有無・・・・・・・・・・・・・・・・

問 40 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

➤ 「はい」(いる)が9.5%、「いいえ」(いない)が85.9%となっています。

図表 10-1 家族を含めた認知症の有無

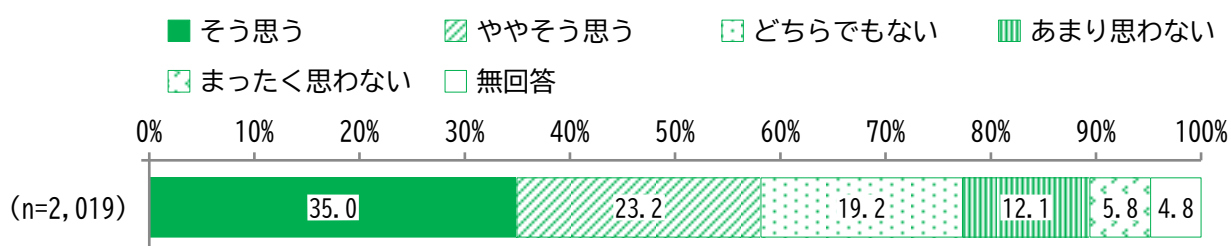


10-2 認知症の人の地域での生活に対する考え方・・・・・・・・

問 41 自分が認知症になったら、周りの人に助けをもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか。(○は1つ)

➤ 認知症になった場合の在宅生活の希望については、「そう思う」が35.0%で最も高く、『そう思う』(「そう思う」「ややそう思う」の計)が58.2%、『そう思わない』(「まったく思わない」「あまり思わない」の計)が17.9%となっています。

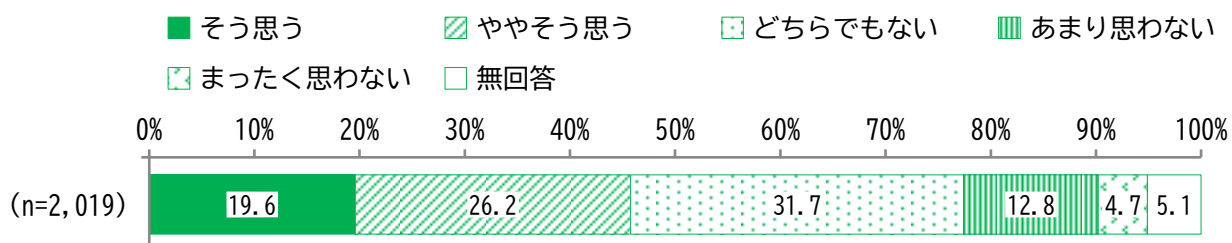
図表 10-2-1 認知症になった場合の在宅生活の希望



問 42 認知症の人も地域活動に役割を持って参加した方が良いと思いますか。(○は1つ)

- 認知症の人の地域活動への参加の是非については、「どちらでもない」が31.7%で最も高く、『そう思う』が45.8%、『そう思わない』が17.5%となっています。

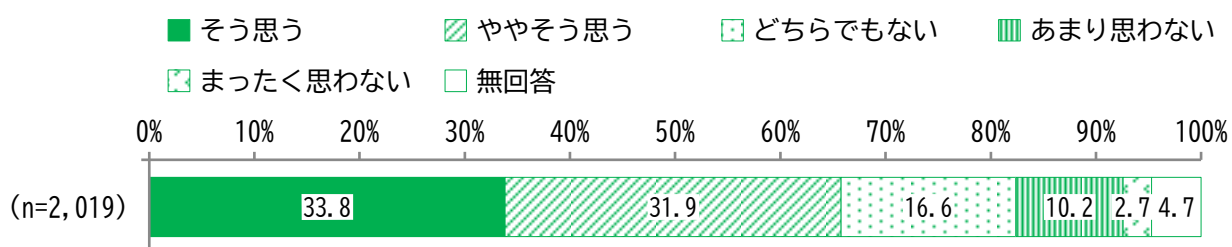
図表 10-2-2 認知症の人の地域活動への参加の是非



問 43 家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思いますか。(○は1つ)

- 認知症家族の地域への周知の希望については、「そう思う」が33.8%で最も高く、『そう思う』が65.7%、『そう思わない』が12.9%となっています。

図表 10-2-3 認知症家族の地域への周知の希望

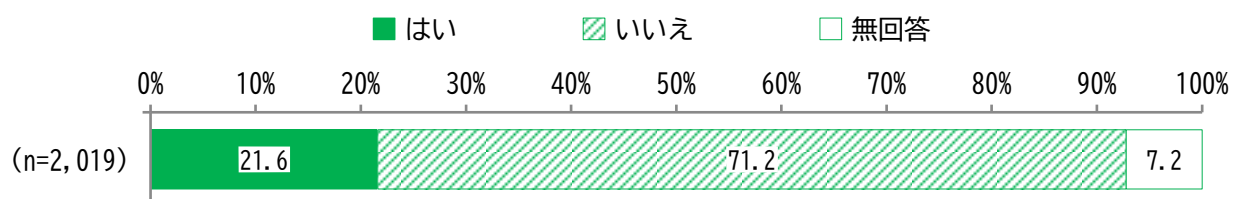


10-4 認知症施策の認知度

問 44 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

- 認知症に関する相談窓口の認知度は、「はい」(知っている)が21.6%、「いいえ」(知らない)が71.2%となっています。
- 前回調査と比べると、「はい」(知っている)が6.4ポイント低下しています。

図表 10-3-1 認知症に関する相談窓口の認知度



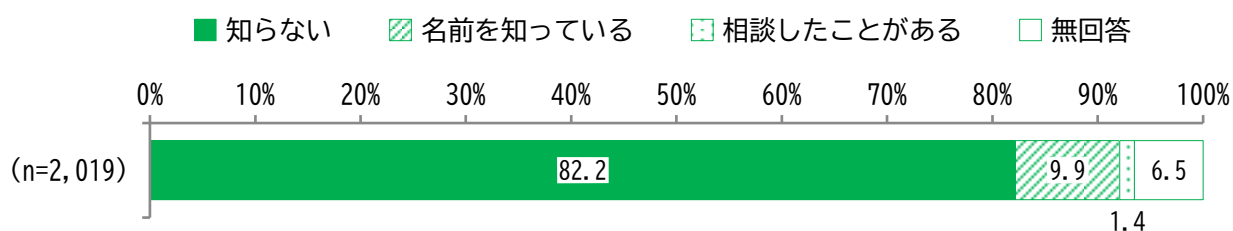
図表 10-3-2 認知症に関する相談窓口の認知度【前回との比較】

	件数	はい	いいえ	無回答
全体 (第9期)	2,059	28.0	70.1	1.8
全体 (第10期)	2,019	21.6	71.2	7.2

問 45 認知症に関する相談窓口として、「認知症初期集中支援チーム」がありますが、「認知症初期集中支援チーム」を知っていますか。(○は1つ)

- 認知症初期集中支援チームの認知度は、「相談したことがある」が1.4%、「名前を知っている」が9.9%、「知らない」が82.2%となっています。

図表 10-3-3 認知症初期集中支援チームの認知度

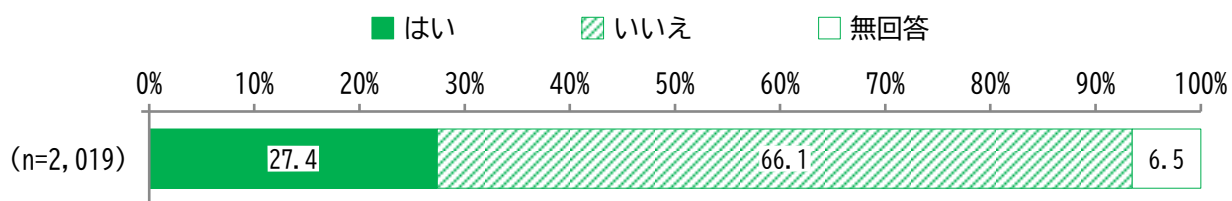


問 46 「認知症サポーター」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

問 47 「認知症サポーター養成講座」を受けたことがありますか。(○は1つ)

- 認知症サポーターの認知度は、「はい」(知っている)が27.4%、「いいえ」(知らない)が66.1%となっています。
- 前回調査と比べると、「はい」(知っている)が5.8ポイント低下しています。
- 認知症サポーター養成講座の受講経験の有無は、「はい」(受けたことがある)が6.0%、「いいえ」(受けたことがない)が87.6%となっています。

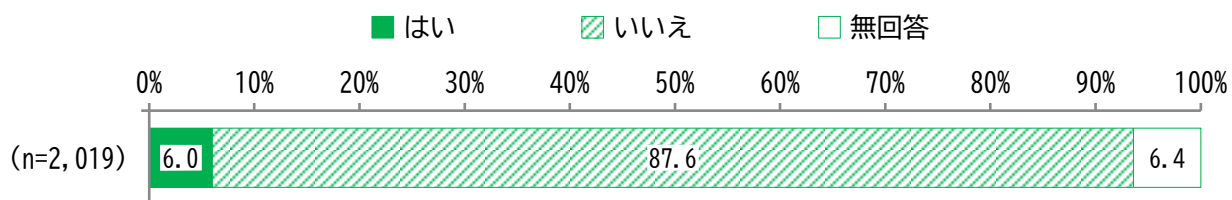
図表 10-3-4 認知症サポーターの認知度



図表 10-3-5 認知症サポーターの認知度【前回との比較】

	件数	はい	いいえ	無回答
全体（第9期）	2,059	33.2	65.2	1.6
全体（第10期）	2,019	27.4	66.1	6.5

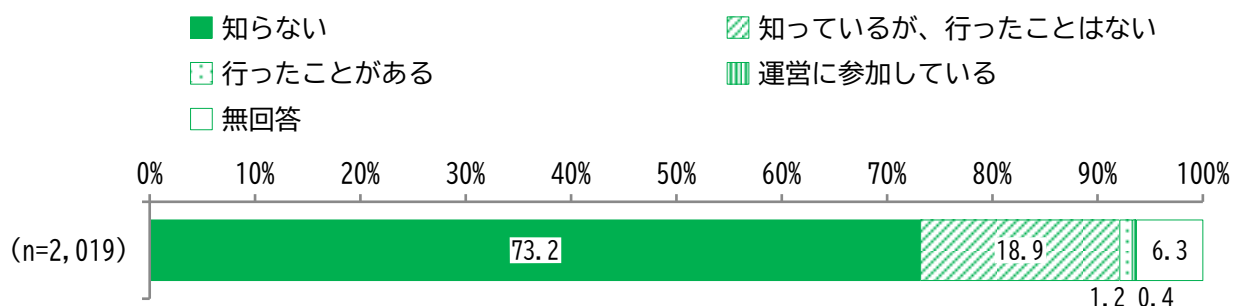
図表 10-3-6 認知症サポーター養成講座の受講経験の有無



問 48 「認知症カフェ」について知っていますか。(○は1つ)

- 認知症カフェの認知度は、「運営に参加している」が0.4%、「行ったことがある」が1.2%、「知っているが、行ったことはない」が18.9%、「知らない」が73.2%となっています。
- 前回調査と比べると、「知らない」が5.8ポイント低下しています。

図表 10-3-7 認知症カフェの認知度



図表 10-3-8 認知症カフェの認知度【前回との比較】

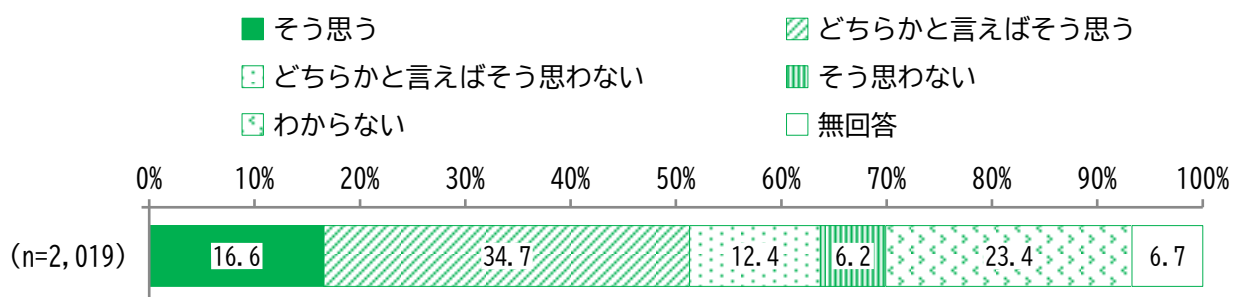
	件数	知らない	知っているが、行ったことはない	行ったことがある	運営に参加している	無回答
全体（第9期）	2,059	79.0	18.0	1.1	0.6	1.3
全体（第10期）	2,019	73.2	18.9	1.2	0.4	6.3

10-5 「新しい認知症観」の実現の可否……………

問 49 令和6年12月に「認知症施策推進基本計画」において示された「新しい認知症観」についてお聞きします。「認知症になったら何もできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」と思いますか。(〇は1つ)

- 「新しい認知症観」の実現の可否については、「どちらかと言えばそう思う」が34.7%で最も高く、『できると思う』(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の計)が51.3%、『できると思わない』(「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」の計)が18.6%、「わからない」が23.4%となっています。

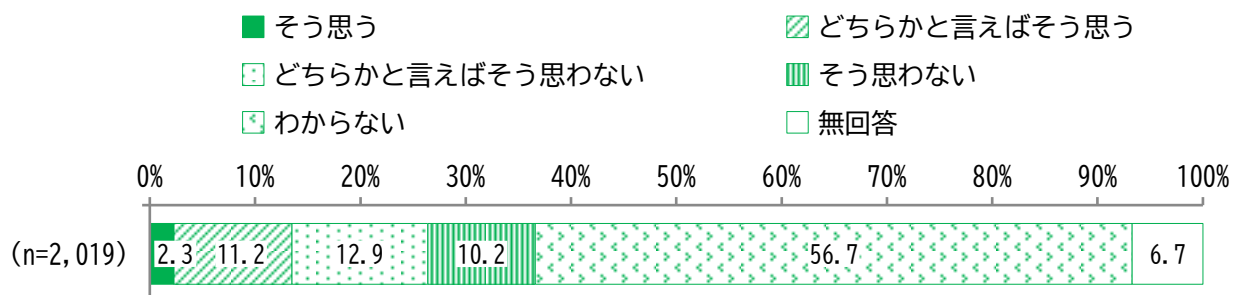
図表 10-5-1 「新しい認知症観」の実現の可否に係る意識



問 50 現在の関市は、認知症の方が自分らしく暮らせるまちになっていると思いますか。(〇は1つ)

- 現在の関市での「新しい認知症観」の実現の可否については、「わからない」が56.7%で最も高く、『なっていると思う』(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の計)が13.5%、『なっていると思わない』(「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」の計)が23.1%となっています。

図表 10-5-2 現在の関市での「新しい認知症観」の実現の可否に係る意識



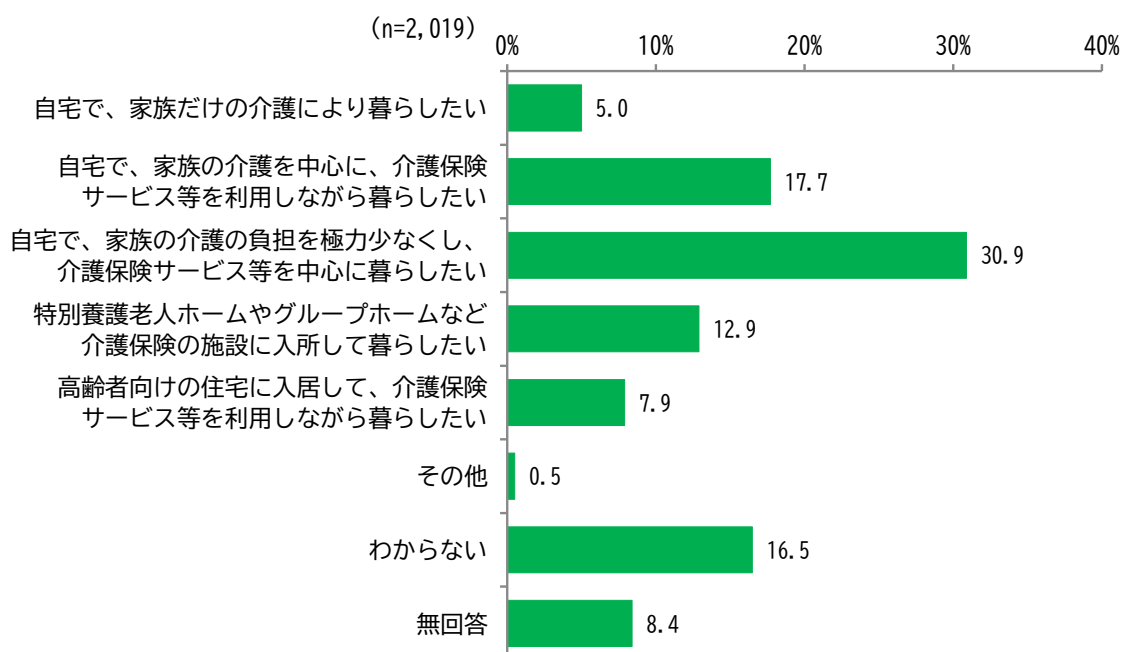
11 これからの生活などについて

11-1 自身に介護が必要となった場合に期待する介護・・・・・・・・・・・・・・・・

問 51 今後、仮にあなた自身に介護が必要となった場合、どのようにしたいですか。(○は1つ)

- 「自宅で、家族の介護の負担を極力少なくし、介護保険サービス等を中心に暮らしたい」が30.9%で最も高く、次いで「自宅で、家族の介護を中心に、介護保険サービス等を利用しながら暮らしたい」が17.7%、「わからない」が16.5%となっています。
- 年齢別でみると、特に大きな差はみられませんでした。

図表 11-1-1 自身に介護が必要となった場合に期待する介護



図表 11-1-2 自身に介護が必要となった場合に期待する介護【年齢別】

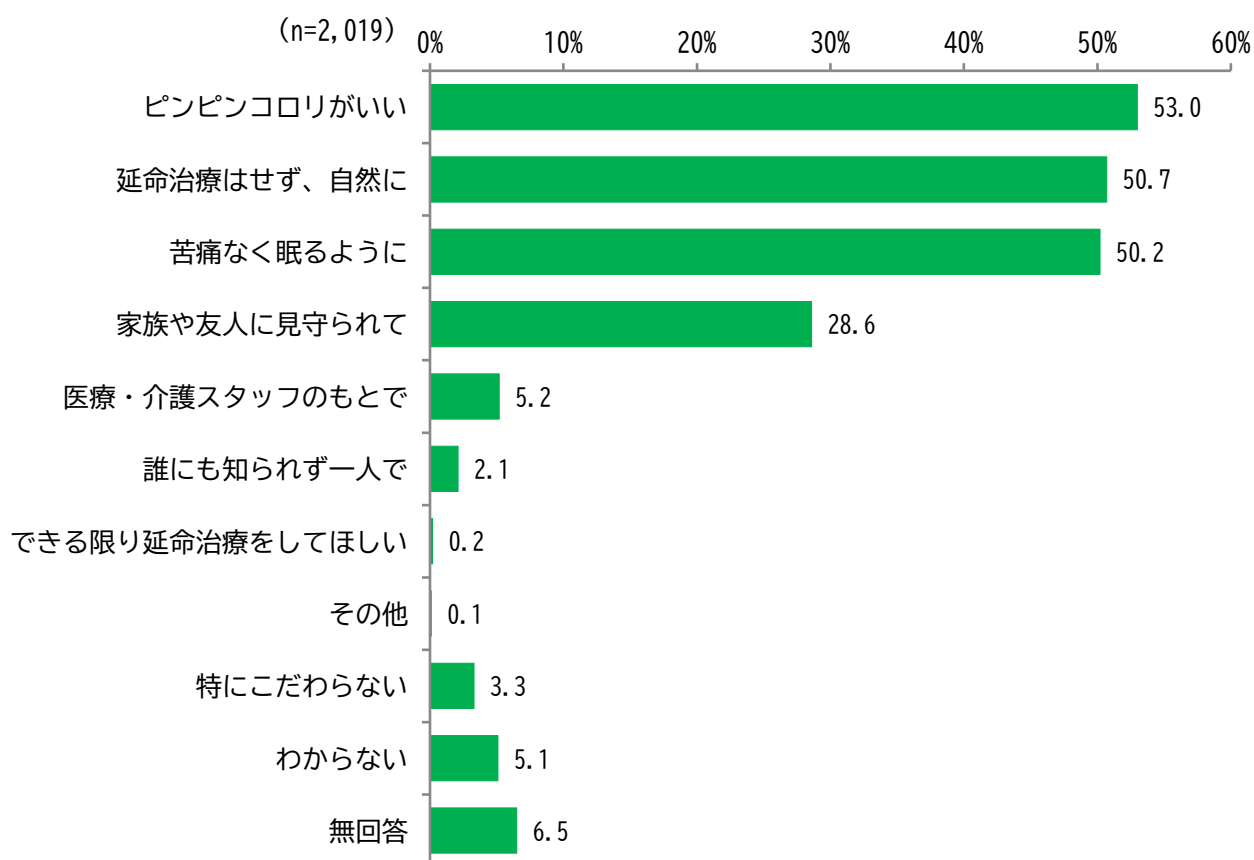
	件数	自宅で、家族だけの介護により暮らしたい	自宅で、家族の介護を中心に、介護保険サービス等を利用しながら暮らしたい	自宅で、家族の介護の負担を極力少なくし、介護保険サービス等を中心に暮らしたい	特別養護老人ホームやグループホームなど介護保険の施設に入所して暮らしたい	高齢者向けの住宅に入居して、介護保険サービス等を利用しながら暮らしたい	その他	わからない	無回答
全 体	2,019	5.0	17.7	30.9	12.9	7.9	0.5	16.5	8.4
65～69歳	424	3.8	16.5	31.8	15.8	9.2	0.7	18.6	3.5
70～74歳	493	2.6	17.2	33.9	13.2	9.1	0.6	16.8	6.5
75～79歳	551	6.0	17.4	31.9	10.7	7.3	0.4	16.5	9.8
80～84歳	323	5.6	24.1	24.5	11.8	7.4	0.6	13.6	12.4
85歳以上	228	9.2	12.7	29.4	14.0	5.3	0.4	16.2	12.7

11-2 人生の最期の迎え方について……………

問 52 あなたは、人生の最期をどのように迎えたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 希望する人生の最期の迎え方は、「ピンピンコロリがいい」が53.0%で最も高く、次いで「延命治療はせず、自然に」が50.7%、「苦痛なく眠るように」が50.2%、「家族や友人に見守られて」が28.6%となっています。

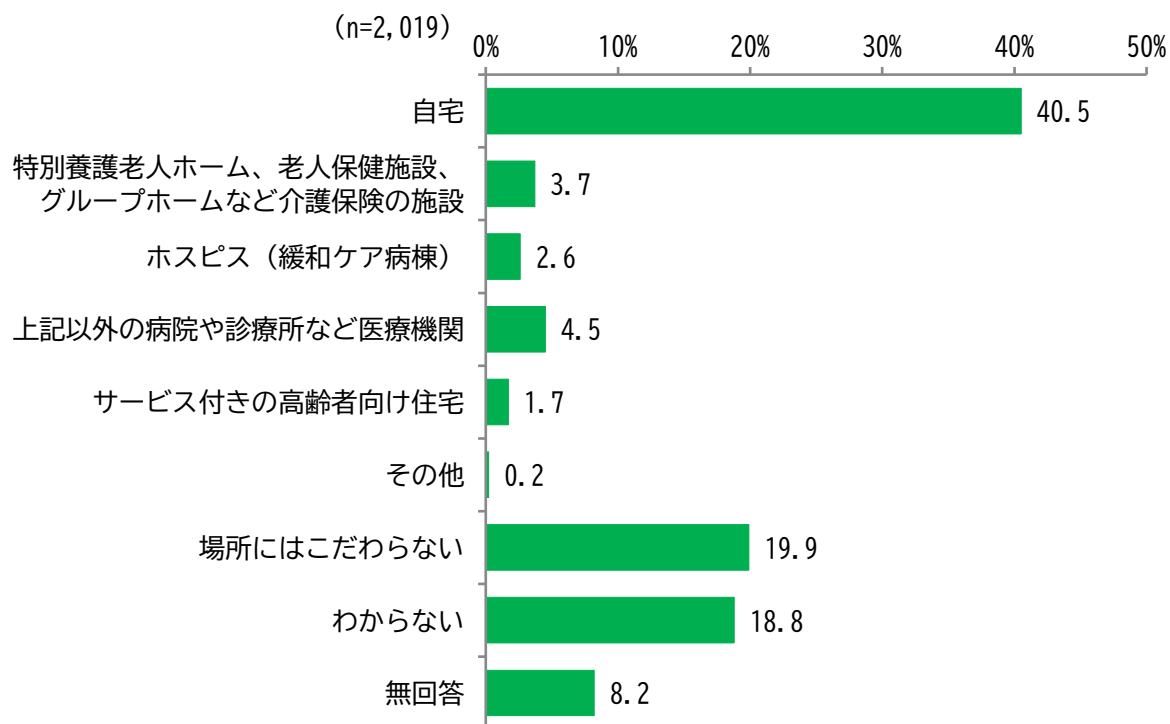
図表 11-2-1 希望する人生の最期の迎え方



問 53 あなたは人生の最期をどこで迎えたいとお考えですか。(○は1つ)

- 人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」が40.5%で最も高く、次いで「場所にはこだわらない」が19.9%、「わからない」が18.8%となっています。医療機関や施設等の場所はいずれも1割未満となっています。

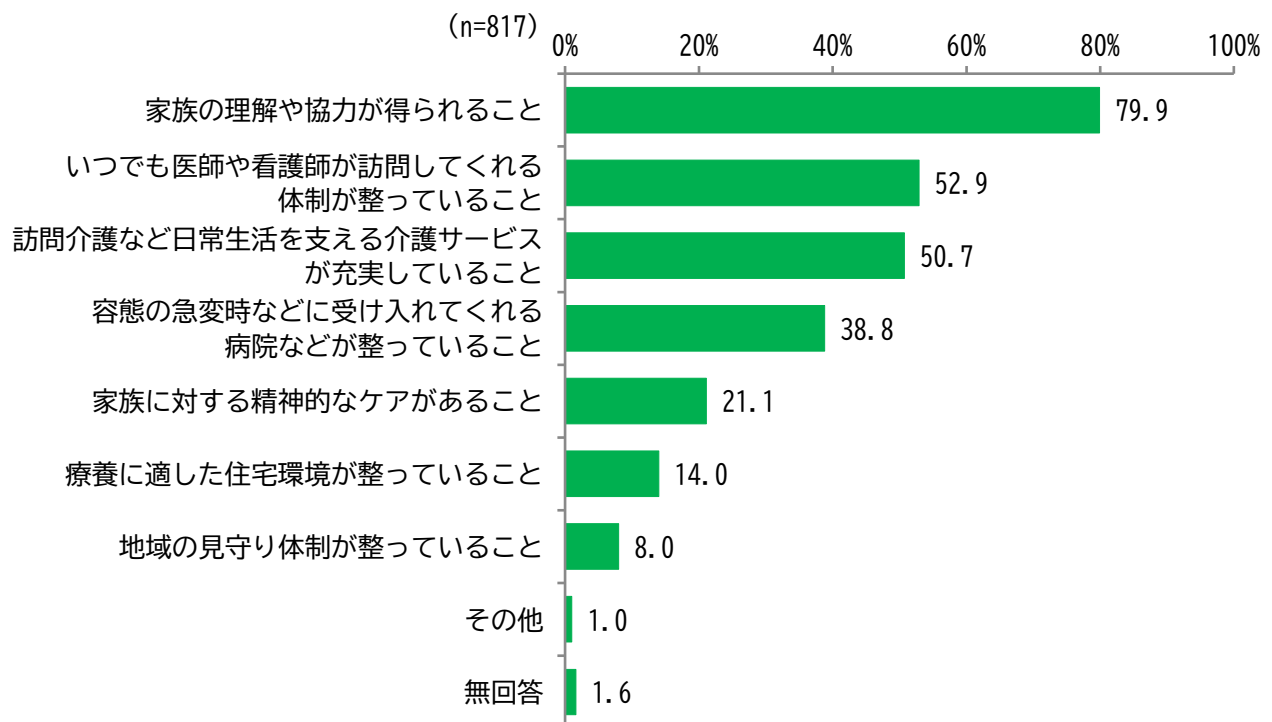
図表 11-2-2 人生の最期を迎えたい場所



【問 53 で「自宅」を選択した方（人生の最期を自宅で迎えたいと考えている方）のみ】
 問 53－1 どのような条件がそろえば、自宅で安心して最期を迎えられると思いますか。
 （〇はいくつでも）

- 自宅で最期を迎えるために必要な条件は、「家族の理解や協力が得られること」が 79.9%で最も高く、次いで「いつでも医師や看護師が訪問してくれる体制が整っていること」が 52.9%、「訪問介護など日常生活を支える介護サービスが充実していること」が 50.7%となっています。

図表 11-2-3 自宅で最期を迎えるために必要な条件

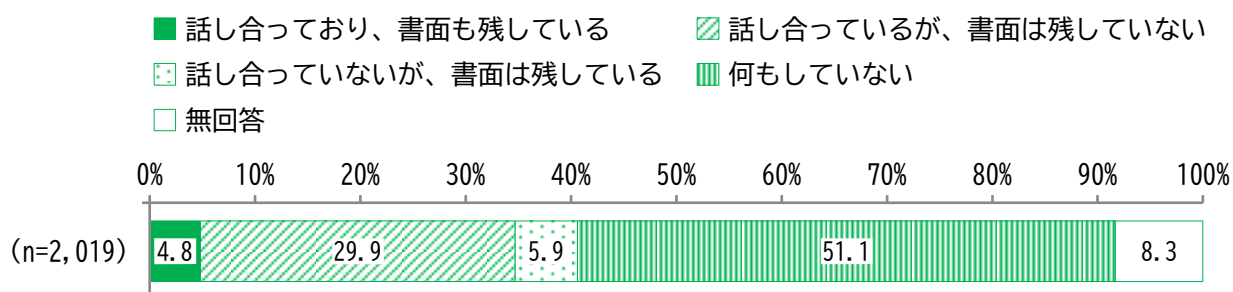


11-3 もしもの場合の備えについて……………

問 54 あなたは、ご自身にもしものことがあった場合のことを考えて、日頃から家族（同居していない子どもや親族等を含む）と話し合ったり、書面に残したりしていますか。（○は1つ）

- もしもの場合に備えた話し合いの実施の状況は、「何もしていない」が51.1%で最も高く、『話し合っている』（「話し合っており、書面も残している」「話し合っているが、書面は残していない」の計）が34.7%、『書面を残している』（「話し合っており、書面も残している」「話し合っていないが、書面は残している」の計）が10.7%となっています。

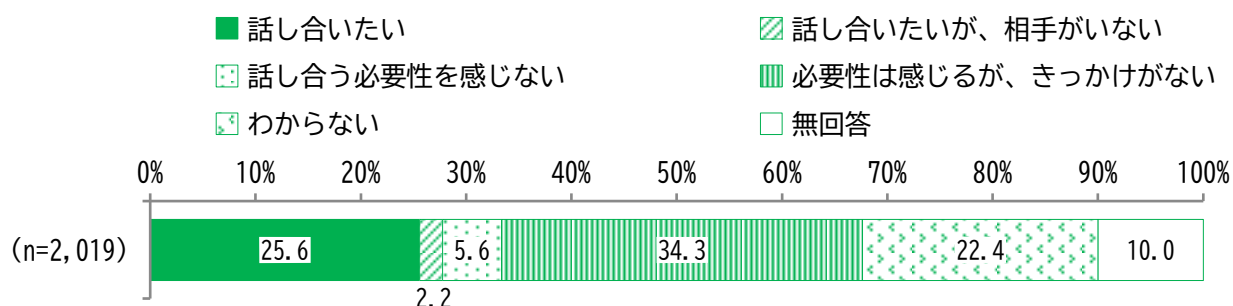
図表 11-3-1 もしもの場合に備えた話し合いの実施の状況



問 55 あなたは、ご自身にもしものことがあった場合のことを考えて、家族（同居していない子どもや親族等を含む）や信頼できる医療・介護の人と話し合いたいと考えていますか。（○は1つ）

- もしもの場合に備えた話し合いの実施の意向は、「必要性は感じるが、きっかけがない」が34.3%で最も高く、『話し合いたい』（「話し合いたい」「話し合いたい、相手がいない」の計）が27.8%、「話し合う必要性を感じない」が5.6%、「わからない」が22.4%となっています。

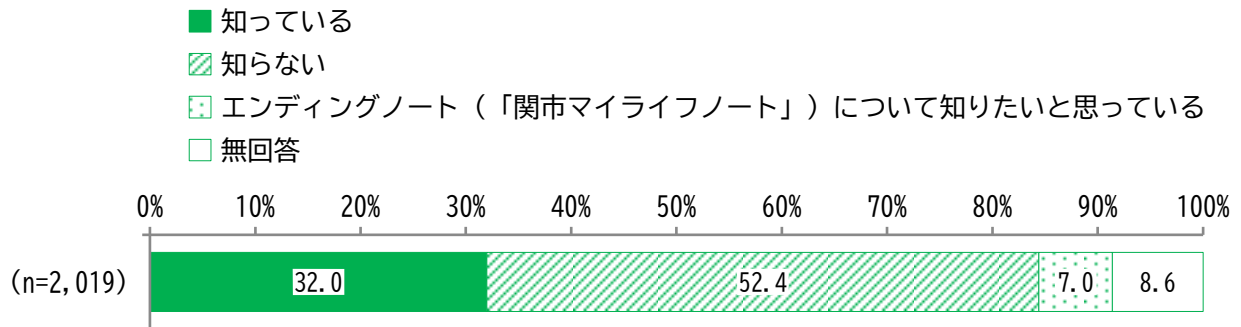
図表 11-3-2 もしもの場合に備えた話し合いの実施の意向



問 56 あなたは、もしものことがあった場合に備え、家族や友人に伝えておきたいことを書きとめておくエンディングノート（「関市マイライフノート」）をご存知ですか。（○は1つ）

➤ エンディングノートの認知度は、「知っている」が32.0%、「知らない」が52.4%、「エンディングノートについて知りたいと思っている」が7.0%となっています。

図表 11-3-3 エンディングノートの認知度



【問 56 で「知っている」を選択した方（エンディングノートを知っている方）のみ】

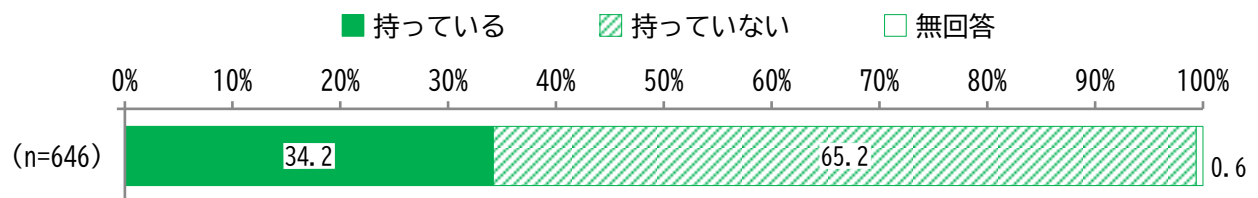
問 56-1 あなたは、エンディングノートを持っていますか。（○は1つ）

問 56-2 あなたは、エンディングノートに記入しましたか。（○は1つ）

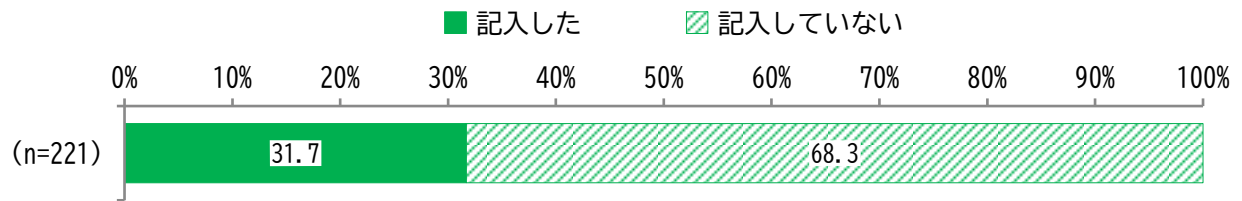
問 56-3 あなたは、エンディングノートの内容を誰かに話しましたか。（○は1つ）

➤ エンディングノートの所有状況は、「持っている」が34.2%となっています。
 ➤ エンディングノート所有者の記入状況は、「記入した」が31.7%となっています。
 ➤ エンディングノート記入者の内容の口述の状況は、「話した」が54.3%となっています。

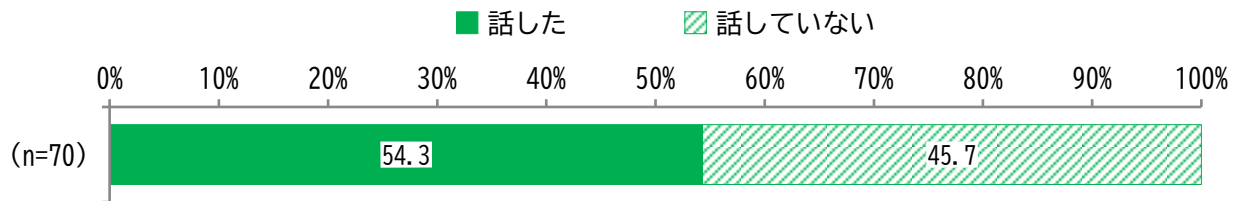
図表 11-3-4 エンディングノートの所有状況



図表 11-3-5 エンディングノートの記入状況



図表 11-3-6 エンディングノートの内容の口述の状況



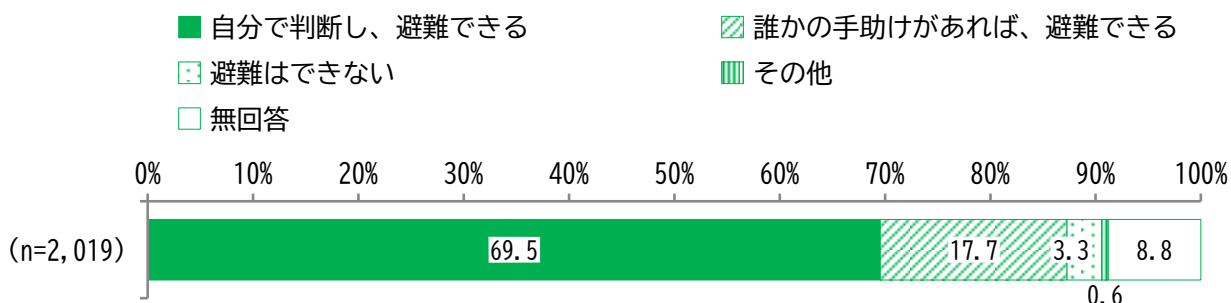
12 防災・減災について

12-1 災害発生時の自主避難の可否……………

問 57 あなたは、災害が発生したときに避難することができますか。(○は1つ)

- 「自分で判断し、避難できる」が 69.5%で最も高く、『避難できる』(「自分で判断し、避難できる」「誰かの手助けがあれば、避難できる」の計)が 87.2%、「避難はできない」が 3.3%となっています。

図表 12-1 災害発生時の自主避難の可否

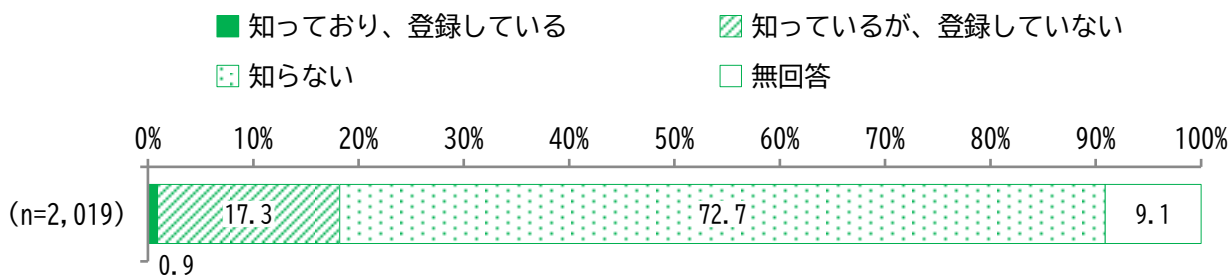


12-2 避難行動要支援者名簿登録制度の認知度……………

問 58 関市では、地震などの災害発生時に、65 歳以上のひとり暮らしの方や高齢者のみの世帯の方、要介護3～5の方など自分で避難することが難しいと思われる避難行動要支援者の登録を行い、災害発生時に支援が得られる仕組みづくりに取り組んでいます。あなたはこの制度をご存知ですか。(○は1つ)

- 避難行動要支援者名簿登録制度の認知度は、「知らない」が 72.7%で最も高く、『知っている』(「知っており、登録している」「知っているが、登録していない」の計)が 18.2%、「知っており、登録している」が 0.9%となっています。
- 前回調査と比べると、『知っている』(23.8%→18.2%)が 5.6 ポイント低下しています。

図表 12-2-1 避難行動要支援者名簿登録制度の認知度



図表 12-2-2 避難行動要支援者名簿登録制度の認知度【前回との比較】

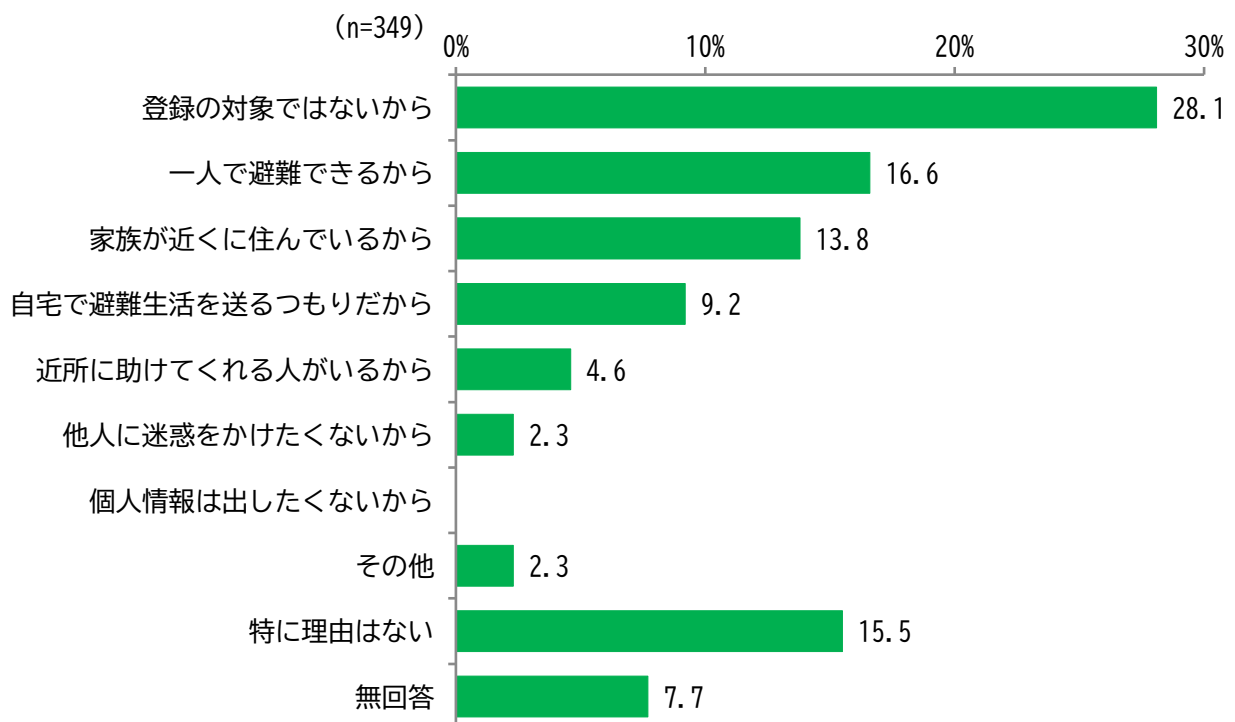
	件数	知っている おり、登録	知っているが、 登録	知らない	無回答
全体（第9期）	2,059	2.0	21.8	69.8	6.4
全体（第10期）	2,019	0.9	17.3	72.7	9.1

【問 58 で「知っているが、登録していない」を選択した方（制度を知っているが、登録していない方）のみ】

問 58-1 登録していない理由は何ですか。（○は1つ）

- 避難行動要支援者名簿登録制度を知っているが登録していない理由は、「登録の対象ではないから」が28.1%で最も高く、次いで「一人で避難できるから」が16.6%、「特に理由はない」が15.5%、「家族が近くに住んでいるから」が13.8%となっています。

図表 12-2-3 避難行動要支援者名簿に登録していない理由



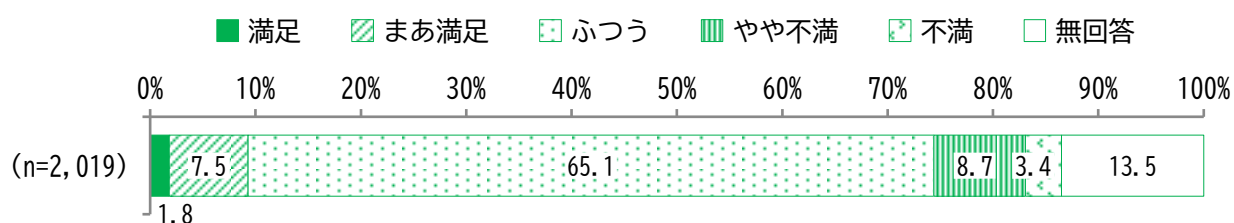
13 関市の高齢者施策などについて

13-1 関市の高齢者施策の満足度……………

問 59 あなたは、関市の高齢者施策について、どの程度満足していますか。(○は1つ)

- 「ふつう」が65.1%で最も高く、『満足』(「満足」「まあ満足」の計)が9.3%、『不満』(「不満」「やや不満」の計)が12.1%となっています。

図表 13-1 関市の高齢者施策の満足度



13-2 関市の高齢者施策で特に望むこと

問 60 関市の高齢者に対する施策で特に望むことは何ですか。(〇は3つまで)

- 「高齢者が利用しやすい交通機関の充実」が 33.7%で最も高く、次いで「施設介護サービスの充実」が 23.6%、「在宅介護サービスの充実」が 22.4%、「家族で介護できるような家族支援策の充実」が 17.1%となっています。

図表 13-2 関市の高齢者施策で特に望むこと



13-3 関市の高齢者福祉施策等についての意見・要望・・・・・・・・・・・・・・・・

○関市の介護保険施策や高齢者福祉施策について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

➤ 265 件のご意見・ご要望をいただきました。以下にテーマ別に掲載します。

（１）介護保険制度 /10 件

- まだまだ元気なので具体的に思いつかないです（84 歳男性）。
- 現時点ではわかりません。
- 関市の介護認定調査基準は厳しいと感じます。
- 身内が介護が必要になったら、地域包括支援センターやケアマネジャーさんなどどうしても朝 9 時から夕方 5 時までと時間の制限があるため、夜間含めもう少し利用しやすいことが望めます。介護セミナー・介護相談窓口も、気楽に利用できる環境が必要だと思います。
- 当たり前のように知っておかなければならない介護保険の内容について、人から見聞きするだけで実際どのような仕組みになっていて、どのように使うのかわからない。事前に聞いておくのも変だし、必要になった時に慌てて調べる気がします。今はまだ体が動くので他人事のようにになっているが、本当は体が動く今のうちから介護保険についての講演会などがあれば参加したいと思います。
- いろいろな相談窓口や制度があることがわかりました。
- 介護が必要になったら、すぐ対応していただけたら助かります。
- 私は生涯学習の支援をしていますが、福祉に関してはあまりよく知りません。今のところ介護も必要としていませんので、しっかりとした意見や要望を持っていません。申し訳ありません。
- 認知症の介護が 5 年ぐらいになります。介護者に対しても少し心遣いがほしいと思います。老老介護は辛いです。
- 高齢者が増加しつつある現在、介護保険や福祉などをもっと気兼ねなく利用できる料金対策をお願いしたい。利用できる支援や施設・申請などをもう少しわかりやすくしてほしい。

（２）介護保険料 /9 件

- 介護保険料が高すぎると思う。
- 市役所について、高齢者の保険料や税金が高すぎる。
- 生活が苦しいため介護保険料が高い。
- 介護保険料が高いと思います。
- 介護保険料が高すぎる。結果、年金生活者を苦しめている。
- 介護を必要としない人の介護保険料が高すぎると思う。他の方に聞いても返事は同じです。一度見直しをお願いします。

- 介護保険料が高いです。
- 毎月高額な介護保険料を引かれますが、今、納めている時に少しでも利用ができれば納得がいきますが、介護保険料を使いたい時には身体が動かず利用する時にはもう手遅れじゃないでしょうか。
- 保険・税が高い。

(3) 居宅サービス /11 件

- 以前、父の介護中、おむつ券の支給は大変助かりました。今後も引き続き支援してほしいです。ヘルパーステーションを増やしてほしい。人員不足はわかっていますが、できればありがたいです。
- 今年傘寿を迎えることになるのですが、愚妻といつも「2人揃って元気に」と言って毎朝ウォーキングからスタートの人生で、たくさんの方の支えがあってお互い現在があるわけで「感謝の気持ちを持って」と言っています。介護については「できれば自宅で」が希望で、在宅介護サービスの充実を望みます。
- 高齢の母を家で世話しています。デイサービスや訪問介護は本人の拒否感もあり利用していません。介護度は低いですが、食事の準備や入浴などは家族が行っている現状です、昨年、1週間程度旅行へ行きたいと考えましたが、デイサービスを利用していないため預かってもらうことができませんでした。家で介護をしている家族が、年に一度ぐらい安心して出かけられる制度があると嬉しいです。高齢者が超高齢者を介護する時代の施策の充実を願います。
- 今は大体のことはできるからアンケートも上手く答えられないけど、主人が軽い認知症で足も少し悪く、短気になりわけのわからないことでよく怒るようになり、自分もシルバーの仕事を 2025 年の 2 月で辞めてお世話をするようになりストレスが多くなったので、週に 1 日でよいので気が楽になりたいと思い地域包括支援センターへ相談に行ったのですが、歩けますか・風呂に 1 人で入れますか等言われたのですが悪い中でも何とか自分でできます。でも、軽い支援がほしいです。サロンとかを紹介していただいても自分では行けないし、行くとも言いません。
- 紙パンツ・紙パットの購入支援が市の広報に書かれていますが、要支援の人からの希望も取り入れてほしいと思います。
- 自分で動けるうちは家で過ごすつもりです。そのため、少し支援が必要になります。大変なことは子どもに頼みますが、細かな事柄を支援していただくと助かります。
- できるだけ自宅で生活したいけれど、年々家事が大変になっていきます。細々とした家事への支援（布団を干す、重い物を運ぶ、片づける、掃除等）を、あまり金銭の負担がかからないように充実させてもらえるとありがたいです。
- 私は 11 年前になりますが、主人の母を介護しました（脳梗塞）。身体の動かない人に対し毎日食事・身の回りのことなど大変でしたが、デイサービス等を受け、母と私も週に何日か心休まることができました。在宅介護サービス等の充実を望みます。
- 他の地区に比べ、介護支援・住宅改修など必要な支援が少ない。車の免許証を返納しても交通機関などの手段がないため、出かけることも病院へ診察に行くこともできない。

- 岐阜市などと比べて、関市の高齢者福祉の施策はかなり劣っている。介護サービスの選択肢がない。特に訪問診療・看護は契約しても一度も来なかった。ヘルパーも土日は休みだし 24 時間やっている所がない。働きながら介護をしている家族が潰れる。
- 自宅へ往診してくださる先生を紹介してほしい。

(4) 施設サービス /23 件

- 介護保険施設がたくさんあり、安い値段で入れるとよい。何年待ちとか何か月待ちとかはないとよい。より良い関市にしてください。
- 人生 100 年時代ですし若い方も必要となると思うので、関市に特別養護老人ホームを多く作ってほしい。長良川鉄道へ 1 年に 2 億以上の税金を使っているなら、一軒でも多く建ててほしいです。長良川鉄道を利用しているのはほとんどが高校生です。18 歳までは補助金が出されています。バスを走らせた方がよほど経費が少なくて済みます。
- 年金のお金で入ることができる施設の充実（1 か月 7 万 5000 円）。
- 年金内で入居できる施設を多く作ってほしい。順番待ちと聞いています。私たちが入居できるのか不安です。
- 老人保健施設をもう少し安い料金で利用できるようにしてほしい。
- サービス付き高齢者向け住宅が少ない。ネットで調べているが公的機関で調べたい。相談する場所が少ない。生活支援のあり方。
- 特別養護老人ホームを増やしてほしい。
- 介護保険料をたくさん払っているから、施設へ入所しても介護保険を使えるようにしてほしい。
- 介護施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設）を増やしてほしいです。介護職員も増やしてほしいです。
- 夫は入院している時は要支援 2 であり、ケアマネジャーさんの話で介護度を上げたらどうかということで申請をしてくれた。結果が出るまでが長いように思う。要支援 2 から要介護 4～5 になった。民間の施設に入ったが、介護する方のあり方・弱った方への気配りが足りないと思う。面倒だから・穿かせにくいからでは良くないと思う。肺炎になって病院へ連れて行くのに、冬なのに夏の肌着を着けてきた。冬のズボンは穿かせにくいと思うが、これもヘルパーさんの仕事ではないでしょうか。
- 安価でサービスが受けられたら嬉しいです。有料老人ホームを利用したくても、料金の面が心配です。国民年金もあまりあてになりませんよね。
- 認知症対策ですぐ入所ができず、施設の空床がなければ入所できないと聞きます。スタッフの人手不足の話も聞きますので不安です。
- 有料老人ホームの入居費が高すぎるので、料金を安くしてほしい。
- 年金生活だけでも入れる施設を充実してほしい。
- 特別養護老人ホームの受け入れが不十分（施設が不足）。
- 高齢者福祉施設への入所待ちを改善して、待ちのない環境にしてほしい。
- 現在、年金で入居できる施設がなかなかなくて入居待ちのようです。誰もが待たなくても入ることができるよう、施設を増やして安心して過ごせるようにしてほしいです。

- 今のところは車の運転もできるし身の回りのことは自分でやれていますが、それらが困難になった時に待機時間が短く・容易に入居できるよう、介護施設の充実をお願いしたいです。
- まだ自分自身介護が必要なく、ピンとこないのが実状です。ただ、母が要介護5（脳出血後）で、老人保健施設や特別養護老人ホームを利用していました。病院には2か月、老人保健施設は何年（1～2年）というように、その施設をずっと利用していることがダメで次を探さなければならないという状況は何とかならないものかと思いました。せっかくスタッフの方たちに慣れても、次の新しい施設でとなるので気になります。
- 今は自分のことは自分ででき、同居なので日中の家事は手伝えることはしています。もし同居の人たちに迷惑がかかるようになれば、病院等へ入りお世話になりたいと思います。そうならないよう、今は膝を痛めたりしていますが毎日30分ほどストレッチをしたりウォーキングをしたりして動けるよう努力をしています。今までボランティアもしてきましたが昨年12月に辞めて、今は自分の健康に気をつけています。年金で安心して生活できる施設、また、介護士さんの育成等をお願いしたいです。高齢者は増すばかり。よろしくお願いします。
- 特別養護老人ホームをもっと増やしてほしい。高いお金を支払わないと入れないような施設しかなく、順番待ちでは本当に困ってしまいます。
- 高齢者が施設にお世話になるにしても、お金がある人は入れるがお金がない人は高額すぎてなかなか入れない。社会保険の人は年金額が高いが掛け金の少ない人は年金も少ないので、施設に入りたい人が入ることができるようにしてほしい。
- 格安で利用しやすい施設介護サービス。

（5）高齢者施策 /14件

- 少し見当違いですが、コロナ禍以前の敬老会では白寿とか米寿等の方の名前が披露されましたが、今では記念品を届けるのみ。年金暮らしの高齢者にはありがたいのですが、何十年も頑張ってきた高齢者に感謝や敬老の気持ちが全く感じられません。各自治体も経済的に厳しいかもしれませんが、名前披露の紙1枚を添えることは、感謝や励ましを表す良い機会なのではないでしょうか。ぜひお願いします。100歳になられた方を市長さんが励ます記事が新聞に載ることがありますので、これも個人情報侵害ではないと思います。
- ネットワークなどの充実（市のLINEなどを利用して高齢者の情報などを）。
- 身体の弱い方の病院、医療施設への通院、入院時の体制の強化。認知症の方の体制の早急対応。
- 高齢者住宅の定期訪問。
- 今後、高齢者の独居世帯が増えていくと思われますが、高齢者の中には他人との接触が不得意の人もあると思います。人が生活していく上での精神的安定（幸福感）を感じさせるような文章の発信を多くしていただけるとありがたいです。
- 高齢者と言っても年齢で決められないと思う。人生の生き様はいろいろと違います。会話も人それぞれなので一緒には。年齢を重ねると周りとの調和が難しいですね。

- 高齢者と同居する家族に対する支援があるといいと思う。独居の家にはいろいろ支援があるのに、家族があるだけで支援がないというのは間違っていると思う。誰でもみんな同じ高齢者なのに、家族がいるからといって生活が楽だとは思わない。独居の人でも自由に楽しく生活している人も多いので、独居だからという考えは間違いだと思う。高齢者に対する差別だと思う。
- どんな人でも、その人に見合った高齢者福祉施策があればいいと思う。
- 高齢者をもっと大切にしてほしい。支援してほしい。
- 高齢者が日常生活を送る上で、現在の施策よりも利用しやすいような細かい福祉施策をもっと考えていただきたい。例えばデマンドバス利用も全員が携帯電話を持っているわけではないので、往復の予約ができるとありがたいと思います。風呂の利用をもっと利用しやすいように、特に冬期は料金を半額ぐらいにしていただければと思います。
- 一人暮らしの高齢者が急に何かあった時、例えばボタン一つでどこかへつながるようなことができたらいいなと思います。
- 今は必要としていない。介護ポイントとして必要な時に使えるものがあるとよい。
- 年金生活者にとってこれ以上の物価高等は、日常的な生活さえ大変苦しくなります。国は子育て支援や若い世代に目を向けており、高齢者対策がやや手薄になっている傾向があるように感じます。日常生活において感謝できるような政策をどんどん取り入れてほしいです。マーゴの湯のチケットなどはとても嬉しいです。活用しています。
- 山口市では介護の認定を受けていなくても、自宅までの送迎で行く施設があるそうです。関市も社会福祉会館がありますが、自分で行かなければなりません。バス停まで行くのは遠く、歩いて行くのは大変です。関市も認定を受けていなくても、車の送迎で集まれる場所があるといいと思います。

(6) 介護従事者 /3件

- ケアマネジャーを充実させてほしい。
- 正直、施策について詳しくわからないけれど、三味線の演奏ボランティアで施設にお邪魔すると、外部の訪問を受けていらっしゃる所は介護士さんが皆さんに喜んでもらえるよう一生懸命取り組んでみえる姿勢が見えます。
- 以前、実家の両親が在宅介護でお世話になりました。父の時はずいぶん前でしたが、母の時のケアマネジャーさんの手腕には、それはもう目を見張るほどのテキパキとした計画に感激しました。その他、介護に関わっていただいた皆様方には今でも感謝しております。

(7) 健康づくり・介護予防 /2件

- 以前、健康づくり（フレイル予防）の体操に参加しました。理学療法士の方が指導され数時間だけの運動でしたが、それ以来悪かった腰がより悪化しました。参加する前に細かく体調を記入しましたので、もっと個人を見てほしかった。私自身も無理をしないよう反省しました。

- 予防のためのものが少ない。介護が必要になる前が最も大切。1人では楽な方へ行くので、先生が1人でもいるような施設がほしい。健康寿命を延ばすためにぜひ考えてください。「健活」のようなものです。家で1人では、運動の嫌いな人は長続きしないから。

(8) 生活 /29件

- 今、私は病気もなく元気なので自分の思いのまま生活ができていますが、介護が必要になった時、娘は家族がなく1人で自分の生活もあるので、私は特別養護老人ホーム等にお世話になれたらと思っています。
- 高齢者でも生きがいを持って働ける場があることが大切だと思います。今、私はその状況に身を置いていますので、ありがたいと思います（元生涯現役支援員です）。
- 高齢者であるが、今のところ幸せなことにいろいろなことはまだできているから、その時が来たら実感して慌てることになると思いつつ現実はまだ考えられていません。
- 基本的に自分の健康・生活は自分の努力で守るべきだと考えています。介護保険、居宅等のサービスを受けたいと思う時は、市のホームページ等で調べて自分に適切なサービスを選びたいと考えます。
- 少しの国民年金で同居(居候)している者には何の援助もなく差し引かれるものが多く、食費も出してやることができず辛いです。
- ほどほどがベスト。
- 82歳ですが、今のままで何も言うことはありません。まだまだ元気でいます。薬も何も飲んでいません。あと3年は生きていたいです。
- 私は幼少時より片方の耳が全く聞こえませんでした。年齢を重ねるうちに耳鳴りや小さい音・声が聞きづらくなり、市役所へ補聴器の相談に行きました。身障者扱いの支援が受けられるか等尋ねたところ、医者診断が必要で補聴器を買うより金がかかると言われ諦めました。現在も補聴器なしでいます。
- 収入・健康状態によりますが、高齢者も自立して（老後のため）準備している人としていない人の差が広がっています。最初から人や行政頼りでは若い人々の反感も買いますし、高齢者がどんどん増えれば対応に差が出るでしょう。フルタイムは無理でもパート・アルバイト等で体を動かし頭を使い、動ける体をこれからも維持していきたいと思っています。
- 実家の母が最後に残り、話す相手もいなくなり少しずつ生活の中で間違いが多くなり、食事・飲んでいる薬・洗濯等の日常生活がまともにできなくなり、女なので何か作ろうとして鍋は焦げるし、一番は火災が心配でした。家族も同意してくれたので家へ連れてきても間取りが違うため明らかに戸惑い、夜は少し目を離した隙に徘徊しだし歩いて自分の家へ帰ってしまった。このままでは介護に仕事に世話をする自分が暗く沈んでいく感じで特に夜は寝れない日が続く、地域の民生委員の人に相談にも行きました（何の救いにもならず）。介護施設に行っても受付だけ済ませ帰ってきます。お金が十分あればよいのですが、やっと特別養護老人ホームへ入れてもらい、介護施設から空き電話が入ったのは母が亡くなってから1年半も後のことでした。自分の子どもにはあんな辛い

思いはさせたくないと思っています。団塊の世代はいくつになっても狭き門。誰もが歳は取る。

- 現在、私はボケ防止で週1回パソコン教室へ行き、健康づくりのためふれあいセンターで週1回（月4回）体操教室へ行っています（地域包括支援センター主催）。皆さんと交流でき体にも良いので、長く続けるつもりです。
- 問60（関市の高齢者に対する施策で特に望むことは何ですか）の12（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームの充実）、13（施設介護サービスの充実）、15（高齢者が利用しやすい交通機関の充実）は、私にとって一番の関心ごとです。よろしくお願いいたします。できるだけ寄りかからず、自立して生きていきたいと考えています。病院へは行きませんが、健康オタクをしています。
- まだ自分ごととして捉えていないので、これからは情報を知りたいという思いで学んでまいります。
- 家事、仕事、趣味、プールで歩くなど、毎日のスケジュールがいっぱいで、今は75歳ですが自分でも60歳ぐらいのつもりでいるので高齢者だと思っていない。これから考えます。
- このたび「関市高齢者と介護に関する調査」に指名していただき、ありがとうございます。今年1月2日、88歳の米寿を迎え、今までに病気や怪我で一度も入院治療を受けたこともなく、ただただ感謝の毎日です。自分自身何に気をつけて暮らしていることもなく、両親からいただいた体のみ。せっかくの調査の答え・ヒントにならないかと思いますが、よろしくお願いします。
- 施策以前に高齢者自身の意識を変えていかないといけないなど、90歳の母を見て学んでいます。
- 今は2人で助け合っていますが、1人になった時のことを考えなくてはと思っています。
- コロナやインフルエンザが収束して暖かくなったら、クリニックへ半日のデイサービスに行ってほしいです（妻）。
- 今のところ自身のことができ不自由がないためか、自身の問題と捉えることなく現在に至っています。近い将来訪れるであろう介護について、真剣に考えたいと思っています。
- 老後のために我慢して残してきた真面目な者はバカみたい。遊んで今保護を受けている者がいっぱいいる。ということ。
- 真剣に考えなければならない年齢になったものの、のんびりしすぎて考えられません。
- 今は元気で働いているので、友達とお茶会をしたり関市のバスでマーゴの湯を楽しんだり、買い物へ一緒に行ったりして楽しんでいます。こういうことができなくなった場合はお世話になると思いますが、今のところこの状況が続くようにと思っています。
- この歳になると考えて書くことは苦手です。
- 県外に子どもが3人いますが、1か月に1回は代わる代わる来てくれます。自分が歩ける間は今の生活で、迷惑をかけだしたら息子の家へ行く予定です。
- 同居の家族頼りです。その歳になればわからないことが多く、もう少し気をつけながら明るく生きたいです。
- 妻（要介護5）が施設サービスにて3年前から入院しています。

- 今は健康で仕事をしているのでピンとこない事項ばかりですが、いずれ来ることと重く受け止めています。今は介護職が大好きでまだ辞める予定もなく、求められれば仕事を続けたいと思う。
- 自分がまだ健康で、スポーツ、アウトドアなど好きなことができる年齢で状態であるため、気をつけないといけない年齢であることも確かであるが介護のことなどにまだ頭が回らないのが現状である。
- 89歳になるまで健康でゆとりある生活をさせていただくことができ、感謝して日々を過ごさせていただいています。若い時は長い期間の両親の介護と未熟児だった子どもの世話続け、苦悩の日々でした。生き残った学生時代の友人（男女5人）と毎日電話を掛け合いながら生きています。今は亡き夫の可愛がっていた猫とチワワ犬の世話をしながら老齢を生きています。

（9）不安 /17件

- 現在、85歳の独居の知人女性の世話をされていてケアマネジャーの方に相談していますが、自分に力がなくなった時、日常生活すべてをお願いできず今後のことが心配。
- 注文を言えばきりがない。どうしても生活できなくなった時に、行政の方でどこまで見てもらえるか不安。現在の収入で何とかなるか心配である。
- 介護施設を利用しなくてはならない時の費用が心配です。
- 自宅での生活が困難になった時に入ることができる施設が、自分の年金等で賄える所があるのか心配になってくる。
- なるべく自宅で過ごせるようにサポートしていきたいが、限界があるのでどうしたらよいのか悩むことがある（長男嫁）。
- 現在、98歳の父を介護しながら主人と3人で暮らしています。父はデイサービスを週3回利用しながら生活をしています。動けなくなった時、老人ホームへお世話にならないといけないのですが、私たちが年金生活で余裕がないので年金内で入ることができる所があるか心配しています。
- 食事がまずいと今日は残飯が多い。困っている。
- 夫婦2人とも後期高齢者になり、先行きがとても不安な毎日です。今のところ2人とも車の運転ができますが、乗れなくなった時はどうしようと今から心配です。
- 介護士の不足などを聞きます。在宅でとも思いますが、人材不足と考えると将来介護が必要となった場合、支援してもらえる人がいないことが不安です。また、身近に相談できる人がいないことも不安です。いざという時、親身になってくれる人がいないと考えます。十分に考えてください。
- 今は車の運転もでき何とか歩くこともできるが、先のことを考えると一人暮らしは不安になります。長女・次女に口伝えはしていますが、きちんと文章にしておかなくてはと思っていますところ。
- 災害時に一人暮らしの方を助けたいが、自分たちも大変な時に他人を助け出すことができるのか心配です。

- 私は 83 歳です。2 年前に主人が亡くなり、今の収入は 7 万 5000 円。今の私の気持ちとしては、施設に入るほどのお金もないので病気になって介護が必要になったらどうしたらいいかと考えています。
- 免許返納後、買い物・通院が不安でしかない。
- 本人が会話を嫌がり、あいさつをしても気分によって暴言を出す。毎日同じ姿勢で一日中テレビを見ている。歩くとしたらトイレへ行くぐらい。2～3 年前から道に迷うこともなかったのに帰る家さえ忘れることが 3 回あり、便も外でしてしまうなどいろいろありえないことが続き仕事もできません。これからの不安は募るばかりです。本人を見守りながら生きるしかない状態ですね。周りの人にいろいろ助けていただけると信じております。よろしくお願いします。
- どんなに特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、デイサービス等が充実していても、年金が少ない人はどうしたらよいのでしょうか。こんなに詳しく聞かれても最後はお金でしょう。誰でも子どもたちには迷惑はかけたくない、ただそれだけです。
- 私は家を離れて、娘の所のはなれで 1 人自炊をしています。火が心配でたまりません。時々ホームシックになり涙する時もあります。家へ帰りたいです。友人と話もしたい。昔の話をしたり、顔を見て話したいです。寂しいです。
- 私は子どもと 2 人だけでの生活ですが、子どもは最重度の障がい者です。夫は結婚してすぐに病気で他界、子は生まれながら病弱でその上重度の知的障がい者であり、その道のりは大変な生活が続きました。そして今も続いています。支援施設はありますが親から離れられず、離すことに不安を持ち上手く利用ができず、私のがん治療の時は皆様に手伝ってもらったのですが不安定になってしまいやはり自分が世話をすることになり、在宅治療を受けながらの生活で壮絶な闘いがありました。老いる今、なかなか自分のことで福祉サービスを利用することすらできず、不安だらけです。

(10) 地域活動・交流 /20 件

- 地域のサロン活動が減りました。せめて月 1 回、皆と仲良くコーヒーを飲んだりお話ができる機会があれば嬉しいです。
- 人と人との交流が希薄化する中で、コロナ禍以前の交流が大切と考えます。
- 老人クラブの活動について、役員の仕事が多いので役員になりたくないため入会を渋る。お手伝いはしていますが会員不足でいつまでできるか。ご近所はいいですが、大きい移動は無理になります。
- いろんな催しがありますから、親しい友人と相談しながら進めていきます。
- 高齢者が自由に集い交流できる場所を作ってほしい。
- 地域サロンや生きがい活動をするにも、公民館が今年の 3 月でなくなり活動する場所がありません。免許を返したら、もう家にいるしかありません。各地域で集まってお話をしたりできる場所を作っていただきたいです。各地域にあるふれあいセンターは遠く離れていて歩いては行けません。何か行事があっても参加できないです。どうして各地域の公民館がなくなったのかわかりません。街の方は便利ですが田舎は不便ですね。

- 地域の公民センターの閉鎖は災害時の避難所・地域サロンの閉鎖につながり、市の各種施策と逆行しているのでは。
- 現在、民生委員として地域の見守り等で高齢者と関わっています。皆さんと仲良くなれました。いきいきサロンも私自身が切り盛りをして開いています。しかし、特定の方の参加になってしまっています。皆さんが心を開いて楽しく過ごせる地域となるよう、これからも努力したいと思っています。これから住民のことで相談することもあるでしょう。よろしくお願いします。
- サロンの会場がなくなり、近くの JA もなくなり、近くで高齢者に会うことが少なくなった。昔のように市場で話したりしたい。
- 認知症の妻のため、毎月第4金曜日に福祉センターにて催される集いに参加していますが、とても有意義でありがたく思っています。今後ともよろしくお願いします。
- 地区の方々が助けてくれます。ありがたいです。
- 総じて高齢者、特に男性は横のつながりを持つ機会・場所・情報が少ないような気がする。気難しい人が多いからか？ともあれ、健康な老人は横につながり会話することが多くなるといいかもしれない。あいさつさえまともにできない老人が多いような気がする。苦しいのか？楽しくないのか？希望が持てないのか？高齢者福祉施策はなかなか難しいですね。
- 地域サロンの場合、例えば麻雀教室の設立等各人の趣味に関するいろいろな教室、また、集まる場所等を考えていただくと嬉しく思います。
- 高齢者相互の会話・趣味が活用できる多様性のある場所の充実。高齢者を対象とした施設・行事・サークル等を、広範囲にわたり周知できるよう広報の徹底を図る。
- ロコトレ教室後に地域包括支援センターの方と利用した数人とで、中部学院の先生に協力していただいて、できる時は週1で体操を楽しんでいます。地域のふれあいセンターが安くて通うのに便利で、また、人数も10人前後で和気あいあいと、できてもできなくても笑って楽しめるのがいいストレス発散になっています。
- 私は武儀の、それぞれが地域を守り、足りなかったら隣が応援に行くという部分が大好きです。遠くの親戚より近くの他人。亡くなられたのがいつかわからない、これだけは嫌です。そういう地域づくりに力を貸してほしいです。お願いいたします。
- 今、私が一番やってみたいことは、スマホをいろいろ使いこなしたい。気長に年寄り相手に教えてくださる教室が近くにあれば、参加したいと思います。お願いします。
- 高齢者が安心して相談や世間話ができる場所を設置して、有償ボランティアを常設してほしい。その場所へ出かける交通手段の充実と、屋根のある待合用の椅子が少ない。
- 自治会について。若い世帯が不加入・脱退（年町費が1万超えなので理解はできる）で今年度は班長が全て高齢者のみの世帯で、中には杖をついて活動をしている方もいらっしゃいます。10年、20年先を見据えて、自治会というシステムを見直してみてもいいかなと思います。現時点では役の仕事量に合った報奨金を市から支給すれば、代わってもいいよという世帯が出てくるかもしれません。
- 高齢者を抱えて一人で悩んでいる人や、制度を知らずに困っている人がたくさんいると思います。民生委員の方が地域によっては熱心に回ってくださっているところもあるようですが、もう少しみんなが気軽に話しができたり、困ったときには相談すればいいと

思えるように周知していく必要があるのではと思います。サロンも開催しているが、障害のある人も気楽に参加できるといいと思います。

(11) 地域格差 /4 件

- 関市の中心部以外の地域での生活が不自由なくできるように、しっかりとした体制を作っていたきたい。NPO 法人などが地域に密着していない・理解されていないところがあるので再検討を望みます。
- すべての面で僻地への配慮がありません（交通、道路側面の雑草の茂り等）。
- 問 60（関市の高齢者に対する施策で特に望むことは何ですか）の 15（高齢者が利用しやすい交通機関の充実）は、地域によって利用しやすさに差がある気がします。高齢者に対する支援体制の全体がわかりにくいです。
- 高齢者なのに高齢者と思っていない。私の住んでいる地域は少し中心部から離れているし、地域活動があまり行われていない。〇〇教室とか集会所などありますが、行われていない。関の中心部まで出て行くのに億劫だし、知る機会がないし、車が乗れなくなった時の不安が大きい。年金に関係なく、関ノ上からでも 100 円で外出できるようにしてほしい。

(12) 移動・交通 /38 件

- タクシーをもっと気軽に利用できるよう、関市に料金の補助をしていただけるとありがたいです。
- 現在、民生委員の活動をさせていただいております。病院へ行く足がなく困っている方が多く、高齢でも車の免許が手放せないという現状です。バス券も貰えますがあっという間になくなり大変そうです。大きな病院が車を出してもらえるとよいのでは。また、大きい病院に集中しすぎるのも良くない気がします。
- 免許返納をしたら行動ができないから、無料バスをもっと利用できるようにルート・時間をお願いしたい。
- シティバスが朝 1 便、昼から 1 便です。せめて 9 時台か昼の 1 時台に 1 便増えると外出ももっと便利で地域への参加ができ、楽しい生活が送れそうです。
- デマンドタクシーで乗降場所を指定されるのではなく、高齢者は自宅まで来てもらえると助かるのではないですか。足腰の弱った高齢者は、指定場所への移動も大変ではないですか。
- 関市のバス助成よりも、車のガソリン代助成をお願いします。
- 交通の便が悪いので、タクシーやバスの利用本数の充実。
- 問 58 の避難行動要支援者の取り組みはとても安心しました。車に乗れなくなった時、高齢者（75 歳以上）の関市内での買い物・病院へのタクシー利用の自己負担を半額にいただけると、外出の機会も増え、気持ちの健康にもつながりよいと思います。「関市に住んでよかった」と思える、自慢できる福祉の充実をますます期待しています。

- 関市と岐阜市の境の辺り、岐阜市へ一歩入った所の医療機関へ行く時の交通手段がない。路線バスがなくタクシーを頼むには近すぎて申し訳なくて頼めない。何か良い方法があれば運転免許の返納ができるのですが、今は月に一度薬をいただくために免許更新せざるを得ません。津保川台から岐阜市三輪方面への移動手段等、関市の片隅に暮らす者にもご配慮いただけるとありがたいです。
- 高齢者が利用しやすいバスの充実。デマンドバスはあるが停留所が少ない。バスに乗るのも乗り場までが遠くて乗れない人が多い。
- 以前は自転車で街まで買い物に行っていたのですが、ちょっと自信がなくなり今はバスを利用しています。関中央病院までも 100 円で行けるので助かっていますが、中濃病院・トンネルを越えた本町の辺りにバス停があったら、本町のトンテン館や買い物もできるのにといつも思っています、足が悪くなったのであまり長歩きはできなくて、この辺りで降りられたらなとバスに乗るたびに思っています。ご検討お願いします。
- 運転免許返納後の足の充実。
- 車に乗らない、運転しない人が家から外出しやすいように、バス等の充実を希望します。
- 高齢者が多くいるので、自宅まで迎えに来る車があるといいと思う。農協、郵便局、市役所へ行くのに大変。
- 令和 7 年度からデマンドバスを実施していただけて、ありがたく利用させていただいています。おかげで外出する機会が多くなりました。感謝。
- 交通機関の充実。
- 倉知で南部に住んでいます。買い物に困っています。デマンドバスがありますが、1 時間前に電話をかけることが面倒です。定時を決めて（回数を減らして）走行してくだされれば非常にありがたいです。市内の店での買い物も多くなると思います。よろしくお願いします。
- 今は車での移動ですが、免許返納をした場合、バス停・駅までの移動が近くにないので困難になります。
- 交通網の充実。
- 運転免許を返納した後の交通機関の充実を特に望みます。
- バスを隅々まで巡回させてほしい。
- 高齢者福祉施策に含まれるのかわかりませんが、現在、私が住んでいる地区（倉知、熊之段）には、関シティバスの停留所がありません。自治会から何度も停留所設置の要望書を提出していますが、何かしらの理由で却下されてしまいます。熊之段は高齢者世帯が多い地区です。隣の自治会には停留所がありますが、徒歩ではかなり距離があります。何とかならないでしょうか。
- いつもデマンドバスを利用しています。ありがたいですが、足が痛いので家の近くで乗れるとありがたいです。
- 81 歳の私は最近車の運転が不安になり、近いうちにデマンドバスを利用したいと思っています。現在のバスが皆さんに利用され、使い勝手の良いバスになるよう期待しています。
- 私は関市に対して感謝して暮らしておりますが、バス利用の券よりも、月 1 枚でもタクシー利用券が嬉しいです。時間合わせも大変だし、夏場・冬場の外での乗車は高齢者に

は無理。券をいただいても使えません。ぜひ、月1でもタクシー券（補助）を配布してください。

- 高齢者にとっては、ましてや足腰の弱くなっている身にとって、地域によってはバス停まで15～20分以上かかり利用できず、その点デマンドタクシーはとてもありがたく利用させていただき感謝しております。いろいろな制約はあるとは思いますが、もう少し利用場所の範囲が広がり宣伝もしていただけると返納者も増えるのではないかと思います。
- NP0 法人の車の予約はとても助かっていますが、土・日・祝も利用できるようにしてほしい。
- マーゴ行きのデマンドタクシーの実施。買い物や風呂、映画、食事など、バローではできないことができる。施行の600円ではなく300円で行けるよう、郊外の交通弱者の支援を考えてほしい。中濃病院とマーゴとの距離は変わらないので、福祉部からも要望してほしい。
- 自動車が運転できなくなった時の交通手段の充実。タクシーチケット。
- 今は免許を保有し、車で買い物や趣味を楽しむため出かけることができている。しかし、近い将来免許を返納し、それらが自由にできなくなると思う。近くまでコミュニティバスが来ているが、本数も少なく細かく回るため目的地まで時間がかかる。これにより利用することを躊躇する。予算のこと、ドライバー不足など問題点は多々あると考えるが、何か良い方法を考えてください。期待しています。
- 免許を返納した後の交通手段がとても不安です。デマンドバスも使い勝手が悪い。
- 今はいいのですが、買い物のルートがないので不安です。
- 美濃病院の眼科へ受診している（眼瞼ジストニア）。車を返納したので息子夫婦が受診に付き添っている。岐阜バスがなくなったので通院が不便です。美濃市と関市の市の違いはわかるが、何とかしてほしい。デマンドは美濃市は広いので持ち時間があると言われる。3か月ごとにボトックス注射を打っている。
- 免許辞退（取得）した時の交通手段の充実を望みます。
- 交通機関の充実を図ってほしい。
- 免許証を返納した時の特典として、タクシーチケットがあるとありがたいです。
- 高齢者が1人でも外出できる交通機関（月に1回でも）を設けてほしい（普通で言うならば、高齢者の足になる機関という意味）。外出する機会があれば気分転換もでき、生きがいにつながると思います。
- 土・日・祭日にバスの運行をしてほしい（NP0）。

(13) まちづくり /18件

- 図書館を充実してほしい。
- 市民プールの再開。
- 道路の側道に草が生い茂り見通しが悪く、高齢者・子ども等が見づらい所が多すぎる。
- 運動をしています。所々にベンチがほしい。
- 誰にも気兼ねすることなく使える大きな娯楽施設が、マーゴ以外にもあるといい。
- 道路や住宅の周りの立木を切ってほしい。

- 自然災害の時など無線などで連絡が流れても、気密性の良くなっている住宅では聞こえません。何が良いかはわかりませんが考えていただきたいです。
- 安全な街・道路・駐車場（広く）。
- 車に乗れないので、新聞紙や段ボールを捨てに行けず困っています。前のように市で集めてほしい。
- 介護等はこれから助けていただくのですが、その前に市からの地震予知の音声等が全然聞こえないので災害の時本当に不安です。場所は豊岡町2丁目辺り一体です。何度も市に伝えてありますが、関高校の建物により聞こえないとの返事です。今までのアンケートの回答より、私としては音は聞こえていても何を言っているのかについてが不満で不安です。サイレン近くの方は迷惑と聞きますが、どうにかありませんでしょうか。スマホにメールで届くのはよいですが、地域の状態がわかりません。
- 高齢者が運転免許を返納した場合、バスの利用は欠かせないものとなりますが、バス停にベンチが設置されていないというそれだけの理由で、バスに乗るのを躊躇っているという声を耳にします（バス停まで歩いて辿り着いた時に腰を下ろせる場所が必要なのです）。ご検討いただけると幸いです。
- 学校帰りの子どもの姿を見ながら休める場所がほしい。街中に公園、トイレが少ない。
- 安心して歩ける道を作してほしい。そのために自動車に厳しくしてほしい。
- ごみ出しについて。週2回ありますが、年齢がいくと持ち出しが大変です。主人は90歳以上、私は84歳で、これからは車に乗ることができません。徒歩で少しぐらいであれば運動と思ってやれるかもしれないので、近くに設けてほしい。
- 段ボール・雑誌・新聞のエコボックスが最近突然なくなりました。特に段ボールはどこへ持って行けばよいのか困っています。近い将来、車に乗れなくなった時のことを思うととても不安です。ぜひ以前のように市で回収していただきますよう、切にお願いいたします。
- 今のままで十分です。本町通りが寂しすぎます。大きな商業施設を誘致してほしい。
- 古紙・段ボール回収について。粗大ごみと同じく戸別に回収してもらえるとありがたい。民間の回収ボックスは一旦高く持ち上げなければならない。料金は既定の容量ごとの設定にしてほしいです。
- ごみ出しに困っています。わざわざ関市内から出しに来てくれています。3年ほど前、家まで取りに来ていただいたことがありました。あの時は本当に助かりました。あの頃のようにしていただけたらありがたいです。

(14) 情報提供・相談 /21件

- 介護施設の利用方法・利用料金などについて詳しいことが知りたい。
- 介護保険・福祉施策についてまとめたものがあれば幸いです。
- 施策について知らないことばかりでした。まだ必要でないと思っていますが、明日かもしれない。知りたいです。
- 関市の介護保険・高齢者福祉施策については、不明な部分が多いため広報に努めていただきたい。

- 私自身が気がつかないだけかもしれませんが、相談窓口が洞戸ではわからないとか、認知症対策の相談場所を知らない等、意外と周知されていないと思います。文書でまとめて知らせてほしい。
- 上記のような内容やいろいろなサービス・相談窓口などがあるとしたら、知らないことも多いのでもっと情報を発信してほしい。
- どのような施策があるのか私には伝わってこない。門戸をもっと広くしてほしい。
- 問 60（関市の高齢者に対する施策で特に望むことは何ですか）の 12（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームの充実）、13（施設介護サービスの充実）等がどこにどれだけあるのかなど、詳細な情報を公の場所で見ることができるとありがたい（例えば図書館で調べられるとか）。
- 広報せきなどでもお知らせを載せてほしいです。
- 相談窓口では丁寧に聞いてから対応・説明してほしい。福祉課の窓口に行くこともほとんどない中、初めて相談するのに「知っている」ことが前提のように説明が進んでいき戸惑いました。
- 車の運転が困難になった場合、買い物や病院・銀行等への交通手段としてデマンドバスを利用したいと考えていますが、利用の仕方やルート等がわかりません。今の状況では必要ありませんが、今後必要になった時、わかりやすく知らせてほしいと思います。広報で通知しているとは思いますが、対象者に具体的に教えてほしいです。
- 説明会をしてほしい。
- 災害等があった時、テレビでやっていた災害トイレの具体的な使い方が知りたい。その他、エマージェンシーや携帯浄水器についてテレビだけではわからないので学びたいです。
- 別件ですが、一般家庭の火災警報器の義務化により町村が斡旋して取り付けたが、それ以降点検がないので作動状況がわからない。電池交換は必要ないのでしょうか。
- 現在、生活に不自由は感じないし、関市の施策については詳しくは知らないのですが特に意見はありません。場違いではありますが、困っていることがあります。スマホです。電話と同じかもしれませんが、突然バージョンアップのためログインせよとか、このままだと使えなくなるとかの警告が入ったりします。町内にすぐに相談できる窓口があると助かります。
- 関市の介護保険や高齢者福祉施策について、各々が自ら学び、知る必要がある。詳しく小冊子にするよう市は工夫され、熟知してもらえよう取り計らってほしい。
- 関市の高齢者向け福祉施設はいろいろあり名称は聞いたことがありますが、施設の場所・利用方法・連絡先がわかりませんので教えてください。よろしくお願いします。
- 介護に対する補助や相談窓口がわかる小冊子があればほしいです。広報せきがありますが、いろいろな情報があるため見落とししたり、読まない時もあります。
- どんな施策があるのかわからないので、戸別に内容を配布してもらえると助かります。
- いろいろ知らないことがあるようです。具体的な名称や場所がわかる方法を考えてみてください。
- 今、私は家事をしていますので、このようなことはあまり知りませんでした。今後、知りたいことばかりでした。どうか教えてほしいです。

(15) 行政 /33 件

- 私には車いすの息子が外にいまして、そちらの方が生きていく上で心配でありますので障がい者の方もよろしくお願いします。
- 健康づくりや介護予防のための教室、地域サロンなどがありとても助かっています。今後、ますます高齢者が増加し大変だと思いますが、一日でも長く自立・自律した生活ができるように、今後ともお願いしたいと思います。
- 関市はいろいろと整っていると思う。
- 現在、私は療育手帳 B2 の知的障がい者（40 歳以上 2 人）と同居しています。自分にもしものことがあった場合、2 人の子どもの支援体制があるのか大変心配しています。何か施策があるか教えてください。
- 高齢者健康福祉の充実にご尽力いただき感謝申し上げます。
- 民生委員として地域の高齢者宅を訪問してもう 7 年目になります。そして、自分自身も 74 歳になりました。地域サロン等では自分と同じ歳の方がたくさん参加してくれています。皆さんの笑顔が一番の私の頑張りどころになっています。高齢福祉課の皆さん、いつもありがとうございます。
- 関市（平成 17 年度 2 月の合併以前）の時より暮らしにくくなった。隅々まで行き届いていない。行政も隅々まで見ていてくれない。危機管理も衰えた。働き方改革の意味の履き違えなど。
- 後期高齢者の保険料が高すぎる。
- 高齢者の税金を安くしてほしい。
- 現在は店を頑張っています、その時はよろしくお願いします。
- お疲れ様です。当方が思う以上に皆様大変かと思います。今回の調査で改めていろいろなことに無関心で、わからないことだらけなのを実感しました。何の力にもなりませんどころか、近い将来人様に迷惑をかけないか心配です。財政上大変かと思いますが、関市がより良くなってほしいと思います。
- 一人暮らしの住民税が高すぎると感じます。所得税のみ声高に叫ばれますが、住民税は手付かずです。何故でしょうか。また、非課税世帯の方の分を私どもが負担している気がします。共助でなく公助を望みたいと思います。若い世代の方の意見・提案を聞く取り組みをされていますが、高齢者の意見を聞く取り組みがないと思われます。
- もう少し高度な講演会・社会学習の講座開催を希望します。
- 今まで割と健康に過ごしてきましたが、これからが心配です。皆が安心・安全に暮らしていける街になればいいと思います。
- お心遣いありがとうございます。ご苦労様です。
- 高齢者の病院の支払い負担をもう少し軽くしていただきたい。毎月 8000 円以上は辛い。
- 高齢者に対する支援等は、他の市町村よりいいかなと思っています。
- 今後、ご迷惑をおかけするばかりです。よろしくお願いいたします。
- 高齢者ばかりではなく、一般市民・学生に行き届いた行政にしていきたいです。
- 今のところ不要ですが、今後必要になったら相談したいと思います。よろしくお願いします。

- まだ家族も自分も何とか健康で、介護や施設など利用も経験もしていませんのであまり参考にならないと思います。これからお世話になると思います。高齢化社会へ向け、皆様のご尽力よろしくお願いいたします。
- いつかはお世話になります。
- 今は元気ですが、いつかはお世話になる時がくると思います。その時はお願いします。
- 老人でも働きたい方がいますが、紹介してもらおうと歳だからダメですとのこと。
- 今の時代は幸福すぎて、私の姑たちのお世話をさせていただいた時は何もなかったもので、これ以上のことは私にはわかりません。一昨年主人が亡くなる前も、十分な制度で助かりました。でも、私の体は今でも大変です。今の若い人たちも大変ですよ。これからの若い人たちが少しでも楽ができるようにしてほしいです。
- 身障者（寝たきり）の夫の介護をしているため、おむつ等の出費が大変なので福祉手当金を増額してもらえると助かります。
- B型、4級の身体障がい者ですが、もう少し市の補助や国からの支援をきめ細かくしてもらえないでしょうか。
- 急激な変化が多い時代になり、必要に迫られスマートフォンを持つことで操作がわからず、誰彼構わず助けを求めてほとんどノイローゼに近い状態で尋ねてこられた方がいました。私自身も電話とメール以外はよくわからないので、同居ではありませんが息子さんに教えてもらうことを促し電話番号を確認してもらい帰っていただきました。他人事ではなく、私自身もスマートフォンは苦手なストレスを感じます。様々な機器を活用する時代ですが、人を人として敬い接することができる関市であってほしいと願います。
- 高齢者が楽しく生活できる関市でありますように。
- 年金暮らしの高齢者の介護に関わる金銭的な援助等をさらに検討していただきたいです。
- 年金が2か月で31000円しかないのを助けてほしいです。
- シティバスを利用しています。とても助かります。
- 主人も2年前、週1デイサービスでお世話になり、本当にありがとうございました。1年後、私の妹も亡くなり、私1人になり、なかなか前の自分に戻れませんが、私なりに少しずつ頑張っていけるようにと思っています。いろいろとまたお世話をかけますが、よろしくご指導ください。

(16) 本アンケート /13件

- 私はこれまで認知症のことについてほとんど関心がなかったのですが、今回のアンケートでその対策の大切さを学びました。また、高齢者に対する思いやりのある関市政に感謝いたします。
- 今はまだ元気なので質問に答えにくい。
- まだ実感がないですが、このアンケートで少し考えていかないといけないなと思いました。
- 昨年末から新年にかけて入院・退院をしたばかりで、介護のことより健康面が心配。アンケートについて、健康に関する項目があった方がよいのでは。

- 現在は夫婦ともに元気で生活できています。もちろん子どもたちも近くにいることで不安はありませんが、この調査で改めてしっかり考える必要性のあることを気づかせてもらいました。ありがとうございました。
- 自分はあまり行動ができませんので回答もバラバラですが、いろいろご苦労様です。ありがとうございました。
- このようなアンケートには協力していきたいと思いますが、もう少し問を厳選し少なくしてほしい。60 問は疲れました。
- 一日一日を生きていくだけで、これから先が見えません。申し訳ありませんが、質問に対して回答ができません。
- アンケート結果はホームページにて公開ですか。結果からどのように対策するかが大事です。頑張ってください。
- 今は 65 歳で、まだまだできることがあります。年齢とともに考えが変わるので、3 年毎にアンケートを実施してはどうですか。
- この調査で自分が高齢者であるということを思わせられました。日頃、もっとこの先のことも含めて、いろいろなサービス等も知っていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 89 歳の老人なので十分な回答はできませんが、よろしくお願いします。
- 真剣に答えたのでとても疲れました。このアンケート結果を必ず生かしてくださるようお願いします。パソコンを持っていない者はいろんな情報がなかなか取り入れられず、そんなことなどがあるのかと人から聞くほどです。

14 コグニチェックリストの判定結果

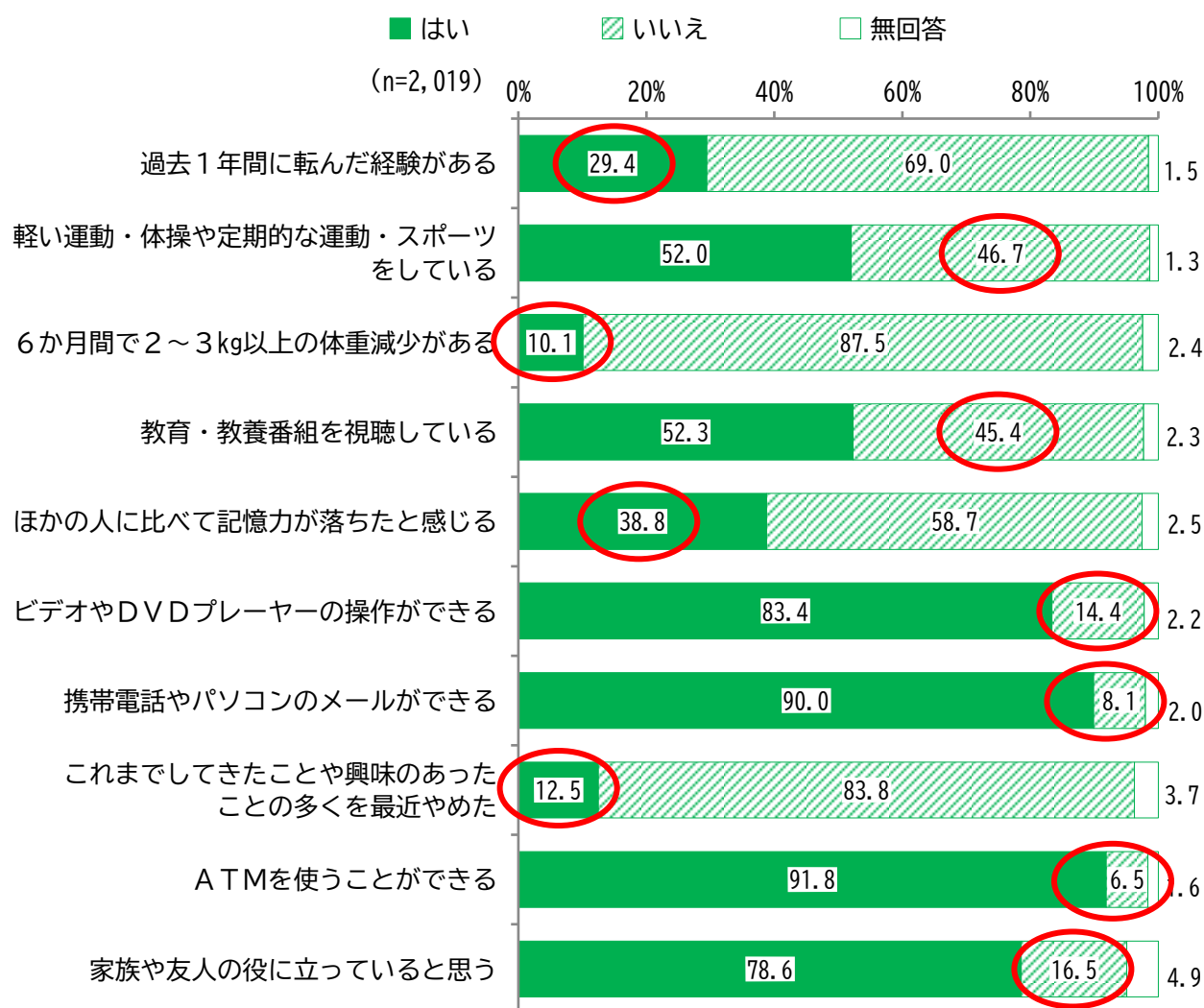
14-1 コグニチェックリストの判定結果……………

愛知県コグニチェックリスト（設問番号は本アンケートにおける番号）

- 問6 過去1年間に転んだ経験がありますか。
問5 ④軽い運動・体操や定期的な運動・スポーツをしていますか。
問15 最近6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。
問18 ⑨教育・教養番組を視聴していますか。
問17 ④ほかの人に比べて記憶力が落ちたと感じますか。
問18 ⑩ビデオやDVDプレーヤーの操作ができますか。
問18 ⑪携帯電話やパソコンのメールができますか。
問36 ③これまでやってきたことや興味のあったことの多くを、最近やめてしまいましたか。
問18 ⑫ATMを使うことができますか。
問18 ⑯家族や友人の役に立っていると思いますか。

- ▶ 愛知県では、国立長寿医療研究センターと共同で、高齢者の認知機能低下のリスクをチェックするリスト（「コグニチェックリスト」）を作成しました。このチェックリストは、10個の設問に回答することにより、高齢者のふだんの行動が認知機能の維持にどの程度望ましい状態であるかを判定するものです。
- ▶ 本アンケートにおいてもこの10個の設問を配置し、各設問を「はい」「いいえ」で回答してもらい、リスクにつながる回答が10問で2つ以上あてはまる場合は「認知機能低下のリスクがある」としています。なお、コグニチェックリストは主に65歳から74歳までの前期高齢者を対象にしたデータをもとに作られているため、本アンケートの集計結果も前期高齢者に限定して提示します。
- ▶ リスクにつながる回答に着目すると、「軽い運動の実施」（46.7%）や「教育・教養番組の視聴」（45.4%）における該当が多くなっています。
- ・ 過去1年間に転んだ経験がある（はい※）：29.4% ※「何度もある」「1度ある」の計
 - ・ 軽い運動・体操や定期的な運動・スポーツをしている（いいえ）：46.7%
 - ・ 6か月間で2～3kg以上の体重減少がある（はい）：10.1%
 - ・ 教育・教養番組を視聴している（いいえ）：45.4%
 - ・ ほかの人に比べて記憶力が落ちたと感じる（はい）：38.8%
 - ・ ビデオやDVDプレーヤーの操作ができる（いいえ）：14.4%
 - ・ 携帯電話やパソコンのメールができる（いいえ）：8.1%
 - ・ これまでしてきたことや興味のあったことの多くを最近やめた（はい）：12.5%
 - ・ ATMを使える（いいえ）：6.5%
 - ・ 家族や友人の役に立っていると思う（いいえ）：16.5%

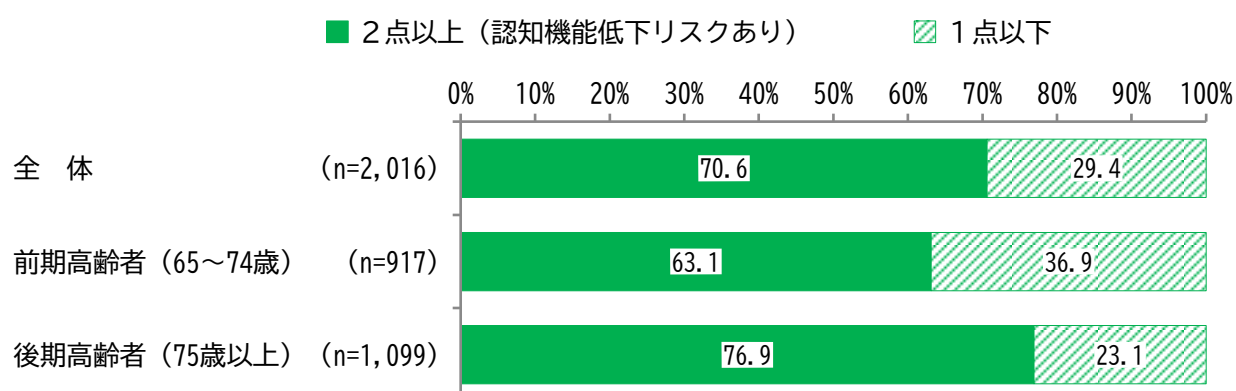
図表 14-1-1 コグニチェックリストの判定結果【前期高齢者】



※赤い楕円は認知機能低下リスクにつながる回答を指しています。

➤ リスクにつながる回答をした場合を1点として集計し、年齢2区分別でみると、前期高齢者（65～74歳）では「2点以上」が63.1%、「1点以下」が36.9%となっています。

図表 14-1-2 コグニチェックリストの判定結果（該当点数）



15 老研式活動能力指標の判定結果

15-1 手段的日常生活動作（IADL）の自立度……………

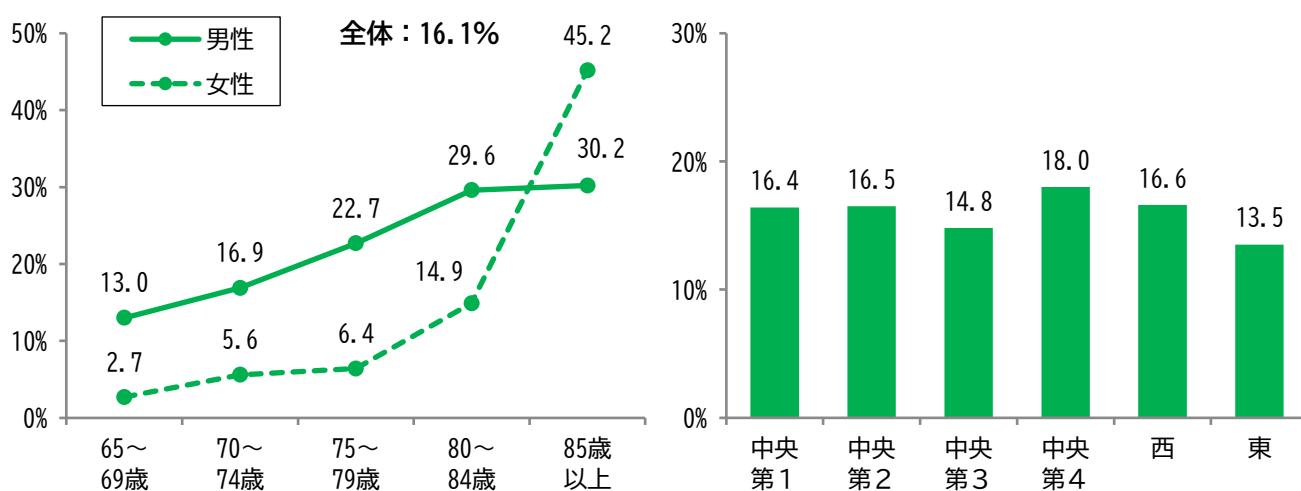
「老研式活動能力指標」は、高齢者の比較的高次の生活機能を評価する指標です。高齢者の手段的日常生活動作（IADL）の自立度、知的能動性、社会的役割の3側面について、基礎となる13の設問（本調査に設置）の回答を点数化し、その点数に応じて「低い」「高い」と判定して評価します。

「手段的日常生活動作」とは、交通機関の利用や電話の応対、買い物、食事の支度、家事、洗濯、服薬管理、お金の管理など、単純な運動能力ではなく、日常生活を問題なく送る上で必要な活動を行う能力を意味します。

- 手段的日常生活動作の自立度の低下者の割合は、全体で16.1%となっています。
- 性・年齢別でみると、男女ともに年齢が高いほど低下者の割合が高くなっています。85歳未満では男性の方が高く、85歳以上では女性の方が高くなっています。
- 日常生活圏域別でみると、低下者の割合は中央第4圏域で最も高くなっています。

判定条件		
問18	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	左記の5つの設問において「できるし、している」または「できるけどしていない」を回答された場合を1点とし、5問合計で、 <u>4点以下：低い</u> 5点：高い と判定します。
①バスや電車を使って1人で外出していますか		
②自分で食品・日用品の買物をしていますか		
③自分で食事の用意をしていますか		
④自分で請求書の支払いをしていますか		
⑤自分で預貯金の出し入れをしていますか		

図表 15-1 手段的日常生活動作の自立度の低下者の割合【性・年齢別、日常生活圏域別】



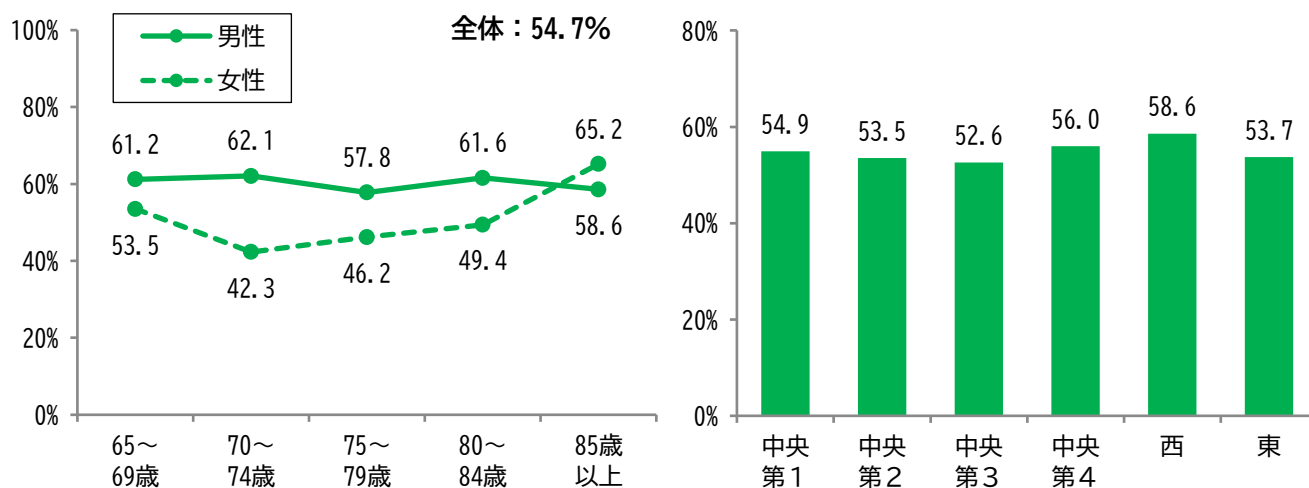
15-2 知的能動性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「知的能動性」とは、役所の書類の作成、新聞や本などの読書、健康情報への関心など、余暇や創作などの知的な活動を楽しむ能力をいいます。

- 知的能動性の低下者の割合は、全体で 54.7%となっています。
- 性・年齢別でみると、女性では 70 歳以上で年齢が高いほど低下者の割合が高くなっています。85 歳未満では男性の方が高く、85 歳以上では女性の方が高くなっています。
- 日常生活圏域別でみると、低下者の割合は西圏域で最も高くなっています。

判定条件		
問18 ⑥年金などの書類が書けますか	1 はい 2 いいえ	左記の4つの設問において「はい」を回答された場合を1点とし、4問合計で、 <u>3点以下：低い</u> 4点：高い と判定します。
⑦新聞を読んでいますか		
⑧本や雑誌を読んでいますか		
⑬健康についての記事や番組に関心がありますか		

図表 15-2 知的能動性の低下者の割合【性・年齢別、日常生活圏域別】



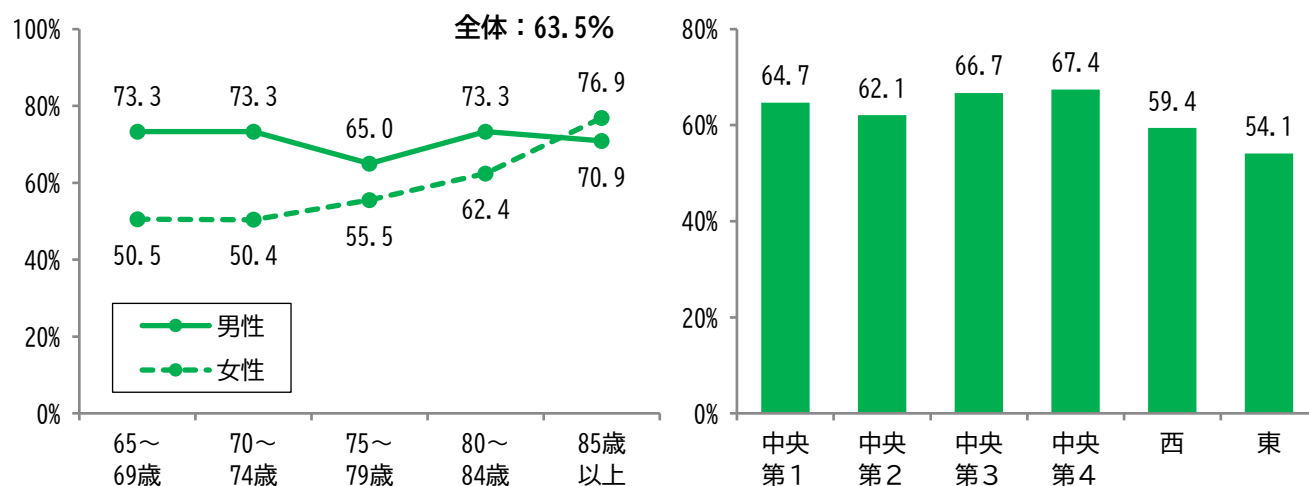
15-3 社会的役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「社会的役割」とは、友人宅への訪問、他人の相談、見舞いなど、地域で社会的な役割を果たす能力をいいます。

- 社会的役割の低下者の割合は、全体で 63.5%となっています。
- 性・年齢別でみると、女性では年齢が高いほど低下者の割合が概ね高くなっています。85歳未満では男性の方が高く、85歳以上では女性の方が高くなっています。
- 日常生活圏域別でみると、低下者の割合は中央第4圏域で最も高くなっています。

判定条件		
問18 ⑭友人の家を訪ねていますか	1 はい 2 いいえ	左記の4つの設問において「はい」を回答された場合を1点とし、4問合計で、 <u>3点以下：低い</u> 4点：高い と判定します。
⑮家族や友人の相談にのっていますか		
⑰病人を見舞うことができますか		
⑱若い人に自分から話しかけることがありますか		

図表 15-3 社会的役割の低下者の割合【性・年齢別、日常生活圏域別】



関市
高齢者の生活と介護に関する調査
調査結果報告書

発行年月：令和8年5月

編集・発行：関市 高齢福祉課

〒501-3894

岐阜県関市若草通3丁目1番地

TEL：0575-23-8127

FAX：0575-23-7748